

令和7年度(令和6年度実施分)
指定管理者管理運営状況評価表

立川市公の施設指定管理者評価委員会

【立川市のコスト削減状況の項目について】

令和6年度は、前年度に引き続き、物価高騰が大きく影響を及ぼした年となったため、指定管理者に対し必要に応じて協議を行うことで、光熱費等の補填を実施しました。

例年、「立川市公の施設指定管理者管理運営状況評価表」では、指定管理者導入前の経費と導入後の指定管理料及び市への納付金を比較することで、導入前後でのコスト削減状況を記載してきましたが、令和7年度（令和6年度実施分）につきましては、前年度に引き続き、物価高騰という特殊な状況下での運営となったことから、各施設の正確なコスト削減効果の評価を行うことが困難であると判断し、本項目を評価しないこととしています。

指定管理者制度導入施設一覧（R7年3月時点）

施設名(募集単位)		施設数	導入月	直近の更新月	現期間終了月	指定期間	公募	指定管理者	主管課
市民会館		1	H18.4	R6.4	R11.3	5年	非	(株)合人社計画研究所ほか3社	地域文化課
子ども未来センター		1	H24.12	R6.4	R11.3	5年	非	(株)合人社計画研究所ほか3社	地域文化課
柴崎市民体育館		1	H22.4	R2.4	R7.3	5年		野村不動産ライフ&スポーツ・パートナーズ共同事業体	スポーツ振興課
泉市民体育館		1	H26.4	R6.4	R8.3	2年	非	シンコー・立川体協・アズビル共同事業体	スポーツ振興課
幸児童館		1	H21.4	R4.4	R8.3	4年	非	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課
高松児童館		1	H24.4	R4.4	R7.3	3年	非	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課
若葉児童館・若葉学童保育所		2	H25.4	R5.4	R8.3	3年	非	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課
西砂児童館・松中学童保育所		2	H25.4	R5.4	R8.3	3年	非	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課
羽衣児童館・羽衣学童保育所		2	H26.4	R6.4	R7.3	1年	非	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課
富士見児童館・南富士見学童保育所		2	H26.4	R6.4	R7.3	1年	非	(株)明日葉	子ども育成課
錦児童館・錦学童保育所		2	H27.4	R2.4	R7.3	5年		(株)明日葉	子ども育成課
上砂児童館・上砂第三学童保育所		2	H27.4	R2.4	R7.3	5年		(株)明日葉	子ども育成課
斎場		1	H18.4	R6.4	R9.3	3年	非	(公社)立川市シルバー人材センター	福祉総務課
総合福祉センター		1	H18.4	R4.4	R9.3	5年	非	(福)立川市社会福祉協議会	福祉総務課
柏地域福祉サービスセンター		1	H18.4	R4.4	R9.3	5年	非	(福)至誠学舎立川	介護保険課
羽衣地域福祉サービスセンター		1	H18.4	R4.4	R9.3	5年	非	(福)恵比寿会	介護保険課
上砂地域福祉サービスセンター		1	H18.4	R4.4	R9.3	5年		(福)敬愛会	介護保険課
自転車等駐車場(第1ブロック)		19	H18.4	R6.4	R11.3	5年		CYCLE PARK 立川共同企業体	交通企画課
自転車等駐車場(第2ブロック)		5	H18.4	R6.4	R11.3	5年		サイカパーキング(株)	交通企画課
駐車場		3	H18.4	R6.4	R11.3	5年		タイムズ24(株)連合体	交通企画課
学習等 供用施設	滝ノ上会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市滝ノ上会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	こんびら橋会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市こんびら橋会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	高松会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市高松会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	若葉会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市若葉会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	こぶし会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市こぶし会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	羽衣中央会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市羽衣中央会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	天王橋会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市天王橋会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	柴崎会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市柴崎会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	さかえ会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市さかえ会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	西砂会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市西砂会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	上砂会館	1	H18.9	R6.4	R9.3	3年	非	立川市上砂会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
ハケ岳山荘		1	H21.4	R4.4	R9.3	5年		(株)レストラン・ピガール	生涯学習推進センター
幸・錦図書館		2	H22.6	R5.4	R10.3	5年		(株)図書館流通センター	図書館
西砂・高松・若葉図書館		3	H25.4	R5.4	R10.3	5年		(株)図書館流通センター	図書館
柴崎・上砂・多摩川図書館		3	H27.4	R5.4	R10.3	5年		(株)ヴィアックス	図書館
導入施設数		70							

目 次

令和6年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

ー文化スポーツ部ー

1. たましんRISURUホール（市民会館）	1
【地域文化課（合人社計画研究所グループ）】	
2. 子ども未来センター	6
【地域文化課ほか（合人社計画研究所グループ）】	
3. 柴崎市民体育館	23
【スポーツ振興課（野村不動産ライフ&スポーツ・パートナーズ共同事業体）】	
4. 泉市民体育館	27
【スポーツ振興課（シンコー・立川体協・アズビル共同事業体）】	

ー子ども家庭部ー

5. 幸児童館	31
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）】	
6. 高松児童館	35
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）】	
7. 若葉児童館・若葉学童保育所	40
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）】	
8. 西砂児童館・松中学童保育所	48
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）】	
9. 羽衣児童館・羽衣学童保育所	56
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）】	
10. 富士見児童館・南富士見学童保育所	64
【子ども育成課（株式会社明日葉）】	
11. 錦児童館・錦学童保育所	72
【子ども育成課（株式会社明日葉）】	
12. 上砂児童館・上砂第三学童保育所	80
【子ども育成課（株式会社明日葉）】	

ー福祉部ー

13. 斎場	89
【福祉総務課（公益社団法人立川市シルバー人材センター）】	
14. 総合福祉センター	93
【福祉総務課（社会福祉法人立川市社会福祉協議会）】	

－保健医療部－

15. 柏地域福祉サービスセンター…………… 97
【介護保険課（社会福祉法人至誠学舎立川）】
16. 羽衣地域福祉サービスセンター…………… 101
【介護保険課（社会福祉法人恵比寿会）】
17. 上砂地域福祉サービスセンター…………… 105
【介護保険課（社会福祉法人敬愛会）】

－産業まちづくり部－

18. 自転車等駐車場（第1ブロック）…………… 109
【交通企画課（CYCLE PARK 立川共同企業体）】
19. 自転車等駐車場（第2ブロック）…………… 113
【交通企画課（サイカパーキング株式会社）】
20. 駐車場…………… 117
【交通企画課（タイムズ24株式会社連合体）】

－教育部－

21. ハヶ岳山荘…………… 121
【生涯学習推進センター（株式会社レストラン・ピガール）】
22. 学習等供用施設（滝ノ上会館ほか10施設）…………… 125
【生涯学習推進センター（各館管理運営委員会）】
23. 幸図書館…………… 169
【図書館（株式会社図書館流通センター）】
24. 西砂図書館…………… 173
【図書館（株式会社図書館流通センター）】
25. 高松図書館…………… 177
【図書館（株式会社図書館流通センター）】
26. 錦図書館…………… 181
【図書館（株式会社図書館流通センター）】
27. 若葉図書館…………… 185
【図書館（株式会社図書館流通センター）】
28. 柴崎図書館…………… 189
【図書館（株式会社ヴィアックス）】
29. 上砂図書館…………… 193
【図書館（株式会社ヴィアックス）】
30. 多摩川図書館…………… 197
【図書館（株式会社ヴィアックス）】

令和6年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

施設名	(1)施設の設置 目的達成に関する 取り組み	(2)業務の履行 状況	(3)サービスの質 に関する事項	(4)施設・設備の 維持管理状況	(5)個人情報保 護規定等の遵守 状況に関する事 項
たましんRISURUホール(市民会館)	A	A	A	A	A
子ども未来センター ※1	A/A/A/-	A/A/A/A	A/A/A/A	A/A/-/-	A/A/A/A
柴崎市民体育館	A	A	A	A	A
泉市民体育館	A	A	A	A	A
幸児童館	A	A	A	A	A
高松児童館	A	A	A	A	A
若葉児童館・若葉学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
西砂児童館・松中学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
羽衣児童館・羽衣学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
富士見児童館・南富士見学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
錦児童館・錦学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
上砂児童館・上砂第三学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
斎場	A	A	A	A	A
総合福祉センター	A	A	A	A	A
柏地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
羽衣地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
上砂地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
自転車等駐車場(第1ブロック)	A	A	A	A	A
自転車等駐車場(第2ブロック)	A	A	A	A	A
駐車場	A	A	A	A	A
ハヶ岳山荘	A	A	A	A	A
立川市滝ノ上会館	A	A	A	A	A
立川市こんぴら橋会館	A	A	A	A	A
立川市高松会館	A	A	A	A	A
立川市若葉会館	A	A	A	A	A
立川市こぶし会館	A	A	A	A	A
立川市羽衣中央会館	A	A	A	A	A
立川市天王橋会館	A	A	A	A	A
立川市柴崎会館	A	A	A	A	A
立川市さかえ会館	A	A	A	A	A
立川市西砂会館	A	A	A	A	A
立川市上砂会館	A	A	A	A	A
幸図書館	A	A	A	A	A
西砂図書館	A	A	A	A	A
高松図書館	A	A	A	A	A
錦図書館	A	A	A	A	A
若葉図書館	A	A	A	A	A
柴崎図書館	A	A	A	A	A
上砂図書館	A	A	A	A	A
多摩川図書館	A	A	A	A	A

※1 評価欄は、左から 施設全般の管理運営に関する業務及び自主事業／子育て支援業務／市民活動支援業務／文化芸術活動支援業務 を表す。

※2 評価欄は、左から 児童館運営管理／学童保育所運営管理 を表す。

※その他特記事項は、仕様書、提案書、協定書等で定められた事項以外の事項を記載しているため評価対象外。

(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項	(7)地域貢献に関する事項	(8)コンプライアンスに関する事項	(9)立川市のコスト削減状況	総合評価	施設名
A	A	A	—	A	たましんRISURUホール(市民会館)
A/A/B/A	A/A/A/A	A/A/A/A	-/-/-/-	A/A/A/A	子ども未来センター
A	A	A	—	A	柴崎市民体育館
A	A	A	—	A	泉市民体育館
A	A	A	—	A	幸児童館
A	A	A	—	A	高松児童館
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	若葉児童館・若葉学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	西砂児童館・松中学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	羽衣児童館・羽衣学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	富士見児童館・南富士見学童保育所
A/B	A/A	A/A	-/-	A/A	錦児童館・錦学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	上砂児童館・上砂第三学童保育所
A	—	A	—	A	斎場
A	A	A	—	A	総合福祉センター
A	A	A	—	A	柏地域福祉サービスセンター
A	A	A	—	A	羽衣地域福祉サービスセンター
B	A	A	—	A	上砂地域福祉サービスセンター
B	A	A	—	B	自転車等駐車場(第1ブロック)
A	A	A	—	A	自転車等駐車場(第2ブロック)
A	A	A	—	A	駐車場
A	A	A	—	A	ハヶ岳山荘
A	A	A	—	A	立川市滝ノ上会館
A	A	A	—	A	立川市こんぴら橋会館
A	A	A	—	A	立川市高松会館
A	A	A	—	A	立川市若葉会館
A	A	A	—	A	立川市こぶし会館
A	A	A	—	A	立川市羽衣中央会館
A	A	A	—	A	立川市天王橋会館
A	A	A	—	A	立川市柴崎会館
A	A	A	—	A	立川市さかえ会館
A	A	A	—	A	立川市西砂会館
A	A	A	—	A	立川市上砂会館
A	A	A	—	A	幸図書館
A	A	A	—	A	西砂図書館
A	A	A	—	A	高松図書館
A	A	A	—	A	錦図書館
A	A	A	—	A	若葉図書館
A	A	A	—	A	柴崎図書館
A	A	A	—	A	上砂図書館
A	A	A	—	A	多摩川図書館

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
たましんRISURUホール(立川市市民会館)	非公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市民の福祉の増進と文化の向上を図るため、公平かつ公正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルを活用し理解度の向上及び再確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応できるように予約システムが運用されている。	A		
事業の継続性の担保	職場内のコミュニケーションを重視し、OJTを活用することにより、職員の質の向上に努め、安定した事業が実施されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:347日(休館日:毎月第3月曜日及び12/29～1/3) 開館時間:9:00～22:00 職員配置:26人 (正社員・契約社員・パート) 統括責任者1人 舞台技術8人 受付業務12人 維持管理5人 臨時職員賃金:時給1,120円以上 (2024年10/1以降1,170円) 計画通り適正に実施されている。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 施設利用者数は増加傾向にあり、適切に運営されている。 文化芸術を楽しむ機会の提供や来館者向けのサービスが向上しており、事業計画に基づき、適切に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計:334,551人(105.1%) 大ホール:166,090人(108.0%) 小ホール: 39,695人(96.2%) 展示室・サブホール・ギャラリー・会議室 : 85,537人(107.3%) 各窓口 : 26,988人(99.6%) 市民ロビー等その他:16,241人(99.1%) おおむね前年度と同等以上の利用実績であり、事業が順調に推移している。	A		
運営企画	文化芸術を楽しむ機会を提供し、地域のにぎわいを創出するため、指定管理業務仕様書に基づき実施されている。 人件費及び物価の高騰が進む中で、工夫をしながら前年度と同程度の事業展開ができたことは評価できる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:223,393,154円 (うち指定管理料222,222,660円) 支出:220,058,021円 事業収支:3,335,133円 人件費比率:66.3% 指定管理料を含め適正に執行されている。 自主事業納付金:936,394円 外部委託費が計画を下回ったことにより、収支はプラスとなっている。	A	事業収支は、物価高騰等の影響がある中でも運営の工夫によりプラスとなっている。 指定期間中の事業の継続性は確保されている。 協定書に基づき、適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	公立文化施設賠償責任保険、公立文化施設利用者見舞費用保険、公共施設貸館対応興行中止保険 最大 身体5億円、請負賠償10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	舞台設備保守点検、清掃、守衛・設備管理	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	挨拶・応対・服装等について、ビジネスマナーマニュアルを活用し、実施されている。	A	各種研修を実施し、良好な接客が提供されている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施しており、アンケートにおける職員対応の評価も高い。 積極的な広報・PR等を行い、利用情報の提供が行われている。 所管課及び地域文化振興財団との定期的な連絡調整会議を実施し、連携されている。	A
マニュアルの整備	ビジネスマナー・危機管理・受付・施設保全マニュアルが整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	接遇マナー、舞台安全、コンプライアンス、個人情報保護研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回第3水曜日に連絡調整会議を実施。 所管部署との緊急連絡網が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、その結果がホームページで公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	・リーフレットだけでなく商業施設のビジョンや多摩モノレールの車内広告を実施。 ・ホームページでは館内ストリートビューによる周知も実施。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成。	A		
公平・公正利用の確保	施設利用システムを活用し、公平・公正に実施されている。	A		
業務の点検	随時点検が実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕は件数が増加傾向にある中、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設保全マニュアルに沿って適切に点検し、損傷・不具合等に対し、適切に処理されている。	A			
保安・警備	毎日巡回点検するなど、適切に管理されている。	A			
小規模修繕	経年劣化により、小規模修繕の件数が増えているが、事業に支障がないように適切に実施されている。	A			
備品管理	備品台帳を作成し、適正に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	利用申し込みの管理の徹底等、個人情報の適正な取り扱いが指導されている。	A	適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等に基づき業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は施錠して保管されている。	A			
再委託の禁止	市へ報告せずに業務を第三者へ委託していない。	A			
研修・教育の実施	コンプライアンス研修の中で個人情報についての研修が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定が整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情は特になかった。 危険予知については、適切に事故防止がなされている。 マニュアルが整備され、対応体制も確立されている。	A	
事故の予兆に対する対応	危険予知活動票を作成し、未然の事故防止に取り組んでいる。	A			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	案件が発生した際の報告、関係者と連携した対応についても問題はなかった。				
事故防止対策の取り組み状況	危険予知活動票を活用し、事故防止対策の取り組みが行われている。				
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	利用者アンケートによる要望把握や文化協会などの地域との連携、意見交換に取り組んでいる。	A	地域や関係機関と適切に連携されている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
特になし。					

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
施設の設置目的に沿い、立川市市民会館条例及び立川市市民会館条例施行規則を遵守し、担当部署である地域文化課への報告、連絡、相談等を速やかに行い、立川市地域文化振興財団との連携を図ることにより、適正かつ円滑に管理運営業務を実施した。また、感染症を理由とした施設の使用制限等の必要はなくなったが、不安を持つ利用者もいることを踏まえ、地域文化課と協議しながら、施設の適正な管理と有効活用に努めた。			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
○利用者数・利用率ともに増加傾向であるが、月によっては利用者数が減少しており、課題と捉えている。 ○施設運営にあたっては、大きなクレームもなく、適正な管理運営体制であることが認められる。 ○施設予約システムの更改を控える中、市が実施するワーキンググループにも参加し、協力したことは大いに評価できる。 ○施設設備の維持、管理についても仕様書に基づき適切に行い、修繕等にも速やかに対応していることは評価できる。	A	施設利用者数は、おおむね増加傾向にある。 施設の維持管理に必要な保守点検や修繕も適切に実施されている。 施設所管課や関係団体とも連携するとともに、事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和6年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市子ども未来センター	非公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	地域文化課	A	A
2	子育て支援業務	子ども家庭センター・保育課	A	A
3	市民活動支援業務	市民協働課	A	A
4	文化芸術活動支援業務	地域文化課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

子育て、教育、文化芸術活動及び市民活動を支援するとともに、地域の活性化を図るという子ども未来センター条例に定める設置目的を理解し、指定管理業務仕様書に従って、本施設における公共サービスや自主事業を円滑に提供されている。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評 価 内 容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
管理運営	1	地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、公共サービスが円滑に提供されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルの作成・更新を行い、理解度の向上及び再確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応できるように予約システムが運用されている。	A		
事業の継続性の担保	各種マニュアルによる教育や引継を実施し、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:365日(まんがぱーくは12/29-1/3営業) 開館時間:8:30～22:00(まんがぱーくは平日10:00～19:00、土日祝日10:00～20:00) 職員配置:契約社員 9人 契約社員賃金:時給1,200円以上 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 総利用者数は、コロナ禍以前の水準には戻っていないが、前年度と同等以上の利用状況となっている。 前年度に比べて運営企画数はやや減少したが、関係団体と連携した事業により、周辺地域のにぎわいづくりに貢献した。	A
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年比 利用者延べ人数 246,165人(101.2%) 【内訳】 施設貸出利用者数 44,068人(105.4%) まんがぱーく利用者数 75,252人(107.5%) 広場イベント来場者数 13,500人(60.8%) 広場来訪者数 33,473人(113.6%) その他利用者数 79,872人(100.0%) おおむね前年度と同等以上の利用実績であり、事業が順調に推移していることがうかがえる。広場イベント開催回数が減少したことに伴い、イベント来場者数が減少したが、天候に恵まれなかったことが一因である。	A		
運営企画	地域のにぎわい創出につながる事業として、指定管理者協定書に基づき実施された。 前年度に比べ運営企画数が減少し、協定書に定めるイベント開催回数に達しなかったが、主催者の都合で中止となったイベントもあり、やむを得なかったものといえる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:118,574,245円、支出:119,733,820円 (うち指定管理料54,197,000円) 事業収支:▲1,159,575円 人件費比率:43.8% 利用者数がコロナ禍前の水準に及ばず、人件費や物価の高騰が進む中で収支に影響が出ている。 自主事業納付金:3,653,325円	A	前年度に比べて収入は増加しているが、コロナ禍以前の水準には戻っていない。また、人件費や物価が高騰する中で事業収支はマイナスとなっているが、指定期間中の事業の継続性は確保されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	請負賠償責任保険(子ども未来センター全体が対象) 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応している。	A			
第三者への委託状況	指定管理仕様書に基づき、清掃、廃棄物処理、機械警備、建物定期点検、各種設備保守、植栽管理業務、駐車場保守管理業務、イベント警備が実施されている。	A			
新たな取り組みの状況	外国の文化発表や食の提供などの交流イベントが主催者の都合で中止となったが、地域のにぎわいを創出する新たなイベントの開催に向けて取り組んだことは評価できる。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	適切に挨拶・応対・服装等、実施されている。	A	職員の対応は良好に行われている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき業務が実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議が実施されており、情報が共有されている。	A	
マニュアルの整備	整備されているマニュアルに基づいて適正に実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	随時実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議が実施されている。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等が記載され連携体制が確立されている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページで公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成し、配布されている。ホームページで施設利用案内、行事案内が行われている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画書・月次報告書を作成。市への提出と、求めに応じて閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築されている。	A			
業務の点検	四半期毎に実施されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 防犯対策を強化し、保安・警備が適切に行われている。 小規模修繕が仕様書等に基づき適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設保全マニュアルに沿って適切に点検し、損傷・不具合等に対し、適切に処理されている。	A			
保安・警備	毎日巡回点検するなど、適切に実施されている。	A			
小規模修繕	不良箇所について、仕様書等に基づき速やかに修繕対応されている。	A			
備品管理	備品台帳を作成し適正に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて、適正に職員へ指導されている。	A	個人情報保護規程により、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等に基づき業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は施錠して保管されている。	A			
再委託の禁止	市へ報告せずに業務を第三者へ委託していない。	A			
研修・教育の実施	適切に実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定が整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情は特になかった。 危機管理マニュアルが整備され、対応体制が確立されている。	A	
事故の予兆に対する対応	事件・事故の予防に関する内容を含んだ危機管理マニュアルを定め、適切に対応できるよう準備されている。	A			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制が構築され、周辺関連機関への連絡体制が整備されている。主要駅からも近いオープンスペースがあるため、様々な来所者があるが、不審者対応について取り組んでおり、評価できる。				
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域及び地域住民とは友好な関係を築いており、引き続き連携をとっていくことを期待している。	A	地元商店街や地域団体との連携について積極的に取り組まれている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
設備関係の経年劣化が進んでいるため小規模修繕が増えつつあるが、大きなトラブルによる支障が出ないよう対応に努め、年度を通じて概ね適切な施設運営ができたと考える。 また、広場イベントとしては、恒例となったまんがぱーく大市を軸に近隣商店街との連動イベントを合わせて10回のイベントを開催した。併せて在日ミャンマー人との交流イベント2回開催も進めたが、想定外の主催者事情により開催直前で中止となり、年間回数目標未達となった。次年度はこれを挽回すべく、地域活動との連携や利用者に歓迎される企画の実現に取り組みたい。				
今後も行政の指導の下、安全・安心な管理運営を常に意識し、より一層市民に喜ばれる施設となるよう努めていきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
○施設保全業務については、仕様書等に基づいて適切に行われている。 ○施設運営について、大きなクレームもなく、適正な管理運営体制であることが認められる。 ○運営企画については、指定管理者仕様書に定めるイベント回数に達しなかったが、主催者の都合で中止となったイベントがあり、やむを得ないものといえる。 ○地域や文化団体との連携も積極的に行っており評価できる。	A	利用者数は、コロナ禍以前の水準までは戻っていないが、前年度と同等以上の実績となっている。全般的にこれまでの取組が地域に定着しており、関係機関や地域との連携が進んでいる。 施設管理・運営について、事業計画書等に基づき、適切に行われていると判断し、A評価とする。		

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
子育て支援業務	2	子ども家庭センター、保育課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務の仕様書及び年間事業計画に基づき、施設の管理及び子育て支援拠点事業の運営が適切に行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	当該施設の設置目的及び管理運営上の基本的な事項等を理解するための研修や会議が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	イベントの事前告知を行い、柔軟に運営することで、利用者に対し公平・公正に対応するシステムが構築されている。	A		
事業の継続性の担保	記録、会議、研修を十分に行い情報共有を図り、引継ぎ期間を設け、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:348日 開館時間:8:30～17:00(子育て支援事務室は、提案よりも、平日1時間、土日30分開館時間を延長) 職員配置:正職員及び臨時職員 15人 臨時職員賃金:時給1,300円 計画通り実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年度比 利用者延べ人数 25,542人(102.5%) 【内訳】 支援啓発 8,691人(93%) 子育てひろば 14,117人(109%) 一時預かり保育 2,734人(101%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 全体の利用者数は前年度に比べ増加しており、特に子育てひろばの利用が伸びている。	
運営企画	グループ活動室管理、子育て講座・子育てイベント(ママ&ベビーヨガなど)、父親向けイベント、季節ごとのコンサート、年齢別サークル、子育て情報誌「ほほえみ」の発行、事業協力(見守り保育)、ひろばであそぶ、壁でお絵かき、地域連携、季節の制作、各種講座、季節の壁面制作、誕生会など。 様々な企画が実施されることで、親同士の交流の場ともなっている。	A	事業については、事業計画書に基づいた講座イベントが概ね実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	【3事業合計】 収入:70,227,371円、支出:70,459,218円 (うち指定管理料 70,227,371円) 事業収支:▲231,847円 人件費比率:75% 子育てひろばにおける新規イベントの開催に伴い、職員配置に係る経費が増加したことから、収支はマイナスとなっている。	A	新規イベントの開催やそれに伴う職員配置にかかる経費により事業収支はマイナスとなっているが、指定期間中の事業の継続性は確保されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	団体総合補償制度費用保険 支払限度額:300万円 損害保険加入状況・不可抗力発生時のリスク分担 及び対応状況が適切である。	A		
第三者への委託状況	印刷業務、丁合・製本業務を委託。	A		
新たな取り組みの状況	これまでにない取り組みの実施が、新たな来訪者の イベント参加につながっている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートでは「よかった」とする回答が多 く、親切で正確かつ丁寧な対応ができています。	A	職員の接遇は、研修 や朝礼を通して、適切 に対応されている。 月に1回関連部署を集 めて、連絡調整会議 を実施しており、情報 が共有化されている。 適切に周知され、公 平・公正な利用が確 保されている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアル、危機管理マニュアル(防災対応、 地震対応、不審者対応、緊急時対応、苦情対応) が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	各種業務研修、接遇研修、危機管理研修、衛生関 連研修等が行われている。	A		
所管部署との連携・連 絡	月に1回連絡調整会議を開催されている。 緊急時対応マニュアルが事務室内に掲示されてい る。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを年2回実施し、館内掲示にて結 果が公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	施設案内リーフレットや通信を作成し、配布してい る。ホームページでも施設利用案内が周知されて いる。	A		
事業計画・報告書の公 表	事業運営に支障がない範囲で公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	ホームページ、チラシ等で広く周知するなど、公 平・公正に利用できるシステムが構築されている。	A		
業務の点検	職員会議を定期的に行い、業務の振り返りが共有 されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	-	備品管理は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	-		
保安・警備	評価対象外	-		
小規模修繕	評価対象外	-		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて、適切に職員への指導が行われている。	A	個人情報保護規定により、適切に対応されている。	A
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例及び法人の個人情報保護規定に基づき、適切に業務が執行されている。	A		
適正な管理	記録媒体・個人パソコンの持ち込みを禁止し、入職時に個人情報の取扱いについて誓約書が交わされていることで、適切に管理されている。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託されていない。	A		
研修・教育の実施	責任者を中心に危機管理等研修に参加するとともに、適時研修が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	条例及び個人情報保護規定に基づき、ルールが整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	子育てひろばを利用していた乳児が水時計の内用液(水と油)を誤飲したおそれのある事案が発生した。発生直後に中毒110番に相談するなど、事後対応は適切にされている。	A	事案の発生について、適切に事後対応がされている。 事故防止策の取組みについては、マニュアルを整備し、適切に対応されている。	A
事故の予兆に対する対応	適切に対応できている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	事故につながり得る事象等を予見し、適切に対応できている。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、災害時の避難対応・不審者対応などの取り組みができている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	適切に行われている。	A	地域や関係団体と適切に連携されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
敷地内の花壇の整備	四季折々の花木が植えられ、良好な景観が形成されている。敷地内の花壇周辺は親世代や子ども達のふれあいの場となっている。			
総合受付補助機能	市民からの各種問い合わせに対応し、総合受付の補助的な役割を担っている。正面玄関近くに事務室があることに起因しているが、丁寧な対応が行われている。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
【啓発】子育て家庭の孤立化防止や育児への父親の参加促進、「子育ては夫婦だけでなく、祖父母を含めた地域全体で行うもの」という視点を大切にしながら、イベントの企画・運営を行った。家族や三世代で楽しめる内容とすることで、地域のつながりや子育てへの多世代の関与を促進する取り組みとなった。子育て情報誌「ほほえみ」では、行政と連携して取材・記事作成を行う体制を構築し、双方の理解を深める機会となった。一時はSNSの普及により紙媒体の利用が減少傾向にあったが、内容の充実や参加型の編集方針により、再び読者の関心を集め、復活の兆しを見せた。子どもたちが生き物と直接触れ合うことを重視したイベントは、多くの参加者に好評であり、特に父親に人気の高いプログラムとなった。命の大切さや自然への関心を育む貴重な機会として、今後も継続的な実施をしていく。				
【ひろば】入園時期の利用者減を見据え、子育て支援啓発のホースセラピー、小動物ふれあい体験、身体測定などのイベント開催日程に合わせて集客し、主に0歳児の新規登録者が増加した。誕生会、壁面制作、リトミック、音楽会、英語イベントなどの開催により親子で触れ合う楽しさを味わった。「お父さんと一緒」「ファミリーひろば」イベントでは、父親の育児参加を促した。読み聞かせ、花壇の手入れで地域ボランティアと協働し、子育て世代とシニアなど多世代が触れ合う機会となった。高松児童館、羽衣児童館子育てひろば巡回により、子育て推進課、子ども家庭支援センターと連携した。前年比一割増の14,117人が来館し、利用者同士での交流や指導員への子育て相談ができ、親子で安心して過ごす場となった。				
【一時預かり】利用者は前年度比較で21人の増加があった。今年度から料金の細分化が実施され4時間未満の利用者が大幅に増加し、利用者からも利便性が上がったことで好評を得ている。リフレッシュの利用者が増加した背景にも同じように短時間利用に伴う料金の細分化が大きな要因となった。配慮が必要な子どもや家庭、多国籍家庭など多種多様な利用がある中で可能な限り利用者に寄り添って対応を続けた。年2回の利用者アンケートからも一時預かり保育への感謝や必要性が多く伝えられ、次年度もより多くの利用者が安心して利用できるよう職員間での情報共有や研修に努めている。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
【啓発】子育てにかかわる多くの家族・世代の参加を促進することで、イベント及び講座の参加者数の増加につながった。これにより、子育て中の保護者にとって地域における孤立化を防いただけでなく、事業に参加したことで子育ての楽しさを知り、保護者自身の自己肯定感を高めることもでき、子育て支援啓発事業の目的を達成できたと評価する。	A	利用者数は子育てひろばを中心に前年度に比べ増加している。	A	
【ひろば】新規登録者の獲得に向けて様々な取り組みを行い、人気の講座やイベントを企画することで利用者の増加につながった。また父親の育児参加促進にも力を入れており、父親の参加しやすいイベントを企画したことも、利用者増の一因となっている。近隣子育てひろばの巡回を行うことにより、エリアで連携した子育て支援を行えるようになった。		利用者のアクシデント対応に関する事案があったが、指定管理者として適切に対応されている。		
【一時預かり】令和6年度の利用者数は2,713人(前年比21人[1%]増加)と、2年連続での増加となった。利用料金の細分化が令和6年度から行われたことにより、利用者のニーズに今まで以上に合致した形を整えることができたことが主な要因と思われる。そのことに加え、満員の日程でも空きのある短時間に利用できるように工夫したことや別日の提案を行うなど、事業者によるきめ細やかな対応があったことも評価できる。今後も多様化するニーズに合わせて柔軟に対応し、安心して子どもを預けられる体制を整えていくことに期待する。		事業計画書等に基づき適切に事業を実施していると判断し、A評価とする。		
利用者のアクシデントへの対応や事故防止に向けた取組が適切に行われている。これらを踏まえて、1次総合評価は「A」とする				

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評 価 内 容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
市民活動支援業務	3	市民協働課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、本施設における市民活動支援機能が円滑に提供されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	仕様書の読み合わせや定期的な業務チェックにより理解度の向上及び再確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、募集要項に則り公平に利用登録を行っている。	A		
事業の継続性の担保	全てのコーディネーターに業務内容を安定的に実施するための教育体制がとられている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:359日 開館時間:9:00～22:00 職員配置:正職員3人(稼働2.5人)、本部よりサポート正職員1人 ※正職員のうち1名及びサポート正職員1名について、子ども未来センター以外の業務も兼務している。給与についても最低賃金以上であり適正に支給されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 協働事務室の利用者数及び利用回数は、前年度より増加している。また、年度内のプログラム実施件数も最も多くなっている。 運営企画は、さまざまなイベントや団体活動へのサポートが適切に実施されている。	A
利用状況	【利用状況】()内は前年度比 プログラム実施数 462件(119%) 参加者数 11,699人(100%) 〔内訳〕 協働事務室 2,498人(134%) プログラム 9,201人(94%) 利用状況は、特に協働事務室の利用者数及び利用回数で前年度実績を上回っている。市民活動及び指定管理者の各プログラムへの参加者数は前年度を下回ったが、イベントの日程や悪天候が要因であると考えられる。プログラムの実施件数はこれまでに最も多い年となったが、中止となったプログラムも前年度より10件増加したため、今後は広報活動への注力等の工夫が求められる。	A		
運営企画	市民活動団体やボランティア活動に関すること、またそれらへのサポート内容について、掲示板や、SNSを利用して適切に周知したことによって、令和6年度においても新規登録団体を6団体としていることは、評価に値する。登録後についても、スキルアップを目的とした講座を、外部講師を招き開催することで、団体の運営力の強化につながる取り組みを行い、イベントでは2名のサポーターが円滑な運営をサポートし、団体の活動を支援することができている。 また、イベントの広報活動においては様々な媒体を利用して広く市民を募る取り組みが行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:16,019,300円 (うち指定管理料16,019,300円) 支出:15,991,285円 事業収支:28,015円 人件費比率:72.0% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A	事業収支はプラスとなっている。指定管理者業務全体で、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	行事参加者にかかわる傷害保険支払限度額:1事故500万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	第三者への委託は実施していない。	—		
新たな取り組みの状況	市民活動支援の円滑な業務推進のための新たな取り組みの実施を積極的に行っていると評価できる。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適時教育が実施されており、接客対応、服装や名札の着用などについては基本事項として適切に行われている。また、プログラムの実施サポートや相談対応に満足しているという主旨の意見が多数寄せられている。	A	アンケートでは、プログラムの内容について、高い評価を得ている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき業務が実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化がされている。	A
マニュアルの整備	整備されているマニュアルに基づいて適正に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	年1回の社内研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回の連絡調整会議、分科会の他にも適時電話、メールでの連絡・調整が行われている。	A		
利用者アンケート等の実施	プログラム参加者、プログラム実施団体に対してアンケートが行われ、実施団体に公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	各市民活動支援機能パンフレット、プログラムのカレンダーなどが発行され、またホームページやSNSでも広く周知されている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出するとともに、求めに応じて閲覧できるようにされている。	A		
公平・公正利用の確保	募集要項に基づき、公平な利用登録が行われている。	A		
業務の点検	毎週定例会を実施し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—	—	—	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	評価対象外	—			
小規模修繕	評価対象外	—			
備品管理	評価対象外	—			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員へ指導されている。	A	個人情報保護規程により、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適切に実施されている。各種条例等の規定に基づき業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、厳重に保管がされている。	A			
再委託の禁止	業務を第三者に委託されていない。	A			
研修・教育の実施	適切に実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程が整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	コミュニティプログラムにおいて、販売行為や情報発信のために利用者の許可がなく写真が使われていた事案については、事故や苦情を予防するため、団体向けのガイドラインの作成や、参加者の安心安全の確保に向けた体制の構築が必要である。	B	販売行為や情報発信のために利用者の許可なく写真が使われていた事案については、今後の再発防止に取り組んでいただきたい。	B	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	参加者の手に少し熱めのお茶がかかり、危うく怪我を負わせるような事態となった。今後については、参加者の年齢に応じた安全管理の配慮を行うなど、運営には十分注意する必要があると認識されている。				
事故防止対策の取り組み状況	特になし。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	幅広い地域団体や企業とのコラボレーションに取り組んでいることと、前年度には行われていなかったボランティア活動に新たに取り組んでいることを評価する。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は、コミュニティプログラムの実施件数が過去最多となる462件が実施された。要因は、定期プログラムの種類や実施頻度の増加であり、新旧の団体が精力的に活動しており日常的にぎわいが創出されている。一方、プログラム実施中の安全管理に関しては、作成したマニュアルのもと、再発防止に努めたい。令和5年度から打ち合わせをしていた『錦みよし会』とは、夏の協働イベントにて連携を図ることができた。また、出張プログラムの実施や、新たな地域団体、企業等と情報交換をする機会が得られた。協働イベントでは改めて市民協働について団体に理解を求めつつ、新たな協働が生まれるように丁寧に支援を行った。令和7年度は、これまで構築した地域団体、企業等との関係性をさらに深めつつ、新たな協力団体の発掘や登録団体が連携しやすいしくみづくりに取り組んでいきたい。				
施設担当課評価	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
	令和6年度のプログラム実施数は前年度より73件増加しにぎわいの創出につながり、定期プログラムの種類や頻度が増加し過去最多となった一方で、参加者数は前年度と比較し、約800人減少している。この要因としては春の協働イベントでは雨天となり規模が縮小されたことと、夏の協働イベントの日程がお盆休みの帰省時期と重なったことが考えられるが、団体の活動支援と新規登録団体獲得に向けた取り組み、また、イベントの広報活動での取り組みの強化など、指定管理者として事業の活性化への積極的な取り組みが評価できる。広報活動では、InstagramやX、LINEなどの多様な手段を用いたものの、イベントの最小催行人数に満たなかったことを要因とするイベントの中止も23件あったため、今後については広報期間をより長く設定するなど、参加者が参加しやすい環境を整えることが必要になると考えられる。 また、2回開催された団体同士の協働イベントにおいては、定期プログラムとは違ったテーマの企画が生まれ、他団体との協働が創出されるなど、あらたな取り組みのきっかけとなるイベントとなり、市民活動の活性化に向けた取り組みの結果であると評価できる。 令和7年度も、地域団体や企業等との連携を深めつつ、市民活動団体の連携の促進と人材の育成、誰もが参加しやすいコミュニティ活動を支援し、さらなるにぎわいの創出を期待する。	A	市民活動が本格的に再開する中で、支援が適切に行われている。 事業計画書等に基づき、施設の目的に沿った、効果的な事業がなされたと判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
文化芸術	4	地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	評価対象外	—		—
職員が施設の設置目的を十分に理解している	評価対象外	—		
利用者の公平・公正利用の確保	評価対象外	—		
事業の継続性の担保	評価対象外	—		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	評価対象外	—	多くの講座を開催したことで、必要開催数を達成できている。	A
利用状況	【利用状況】 文化芸術講座参加者数 933人 (前年度比82.8%) 1開催あたりの平均参加人数 R5 12.8人/R6 12.4人 講座を75回開催し、必要開催数の30回を大きく上回っていることは評価できる。	A		
運営企画	文化芸術活動支援業務として、「子ども未来センター美術部」、「カッティングシートで子ども未来センターを飾っちゃおう」、「まんが絵の描き方教室」、「演劇ワークショップ」、「まんがペン入れ教室」、「ヨーヨーワークショップ」等を実施されている。 まんが絵の描き方教室など、施設の特色を活かしたプログラムから、演劇、ヨーヨーワークショップまで、多様な文化芸術活動を支援するプログラムを実施したことは評価できる。 また、石田倉庫やたちかわ創造舎など、市内の文化芸術分野の団体と連携を持ちながら実施している点も評価できる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:7,326,000円、支出:7,931,000円 (うち指定管理料:7,326,000円) 事業収支:▲605,000円 人件費比率:43.0% 人件費の上昇が収支に影響を与えているが、前期に比べ収支差は小さくなっている。	A	にぎわい創出のための文化芸術プログラムを事業計画以上に行ったことで、事業収支はマイナスとなっているが、指定管理者業務全体では、安定した管理運営が行われている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	普通傷害保険 支払限度額:1億円(センター全体対象の請負賠償責任保険で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・応対・服装等、実施されている。	A	利用者の立場に立った接客がされている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき業務が実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化がされている。	A
マニュアルの整備	整備されているマニュアルに基づいて適正に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議が実施されている。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等が記載され連携体制が確立されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページで公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成し、配布されている。ホームページで施設利用案内、行事案内が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・月次報告書を作成。市への提出と、求めに応じて閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築されている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—		—	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	評価対象外	—			
小規模修繕	評価対象外	—			
備品管理	評価対象外	—			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて、適正に職員へ指導されている。	A	個人情報保護規程により、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等に基づき業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は施錠して保管されている。	A			
再委託の禁止	市へ報告せずに業務を第三者へ委託していない。	A			
研修・教育の実施	適切に実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定が整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する苦情等は、特になかった。	A	
事故の予兆に対する対応	事件・事故の予防に関する内容を含んだ危機管理マニュアルを定め、適切に対応できるよう準備されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制が構築され、周辺関連機関への連絡体制が整備されている。主要駅からも近いオープンスペースがあるため、様々な来所者があるが、不審者対応について取り組んでおり、評価できる。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域及び地域住民とは友好的関係を築いており、引き続き連携をとっていくことを期待している。	A	地域及び地域住民との連携がとられている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A		
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度も音楽・絵画・創作など幅広い内容で各種プログラムを開催できた。 今後も石田倉庫やたちかわ創造舎など、立川市内の施設や団体との連携を継続するとともに、新たな連携体制構築、多様なプログラムの企画運営、より面白い講座の開催に努めたい。				
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
○共催団体の事情により、前年度よりも講座の開催回数が減ったため、参加者数は減っているが、開催回数は75回で、必要開催数30回を上回っていることは評価できる。	○まんが絵の描き方教室など、施設の特色を活かしたプログラムから、演劇、ヨーヨーワークショップまで、多様な文化芸術活動を支援するプログラムを実施したこと、石田倉庫やたちかわ創造舎など、市内の文化芸術分野の団体と連携を持ちながら実施したことは評価できる。	A	地域の文化芸術活動拠点として認知されている。	A
○まんが絵の描き方教室など、施設の特色を活かしたプログラムから、演劇、ヨーヨーワークショップまで、多様な文化芸術活動を支援するプログラムを実施したこと、石田倉庫やたちかわ創造舎など、市内の文化芸術分野の団体と連携を持ちながら実施したことは評価できる。			利用者数はやや減少したが、それでも必要開催数を大きく上回る回数の講座が開催されている。	
○まんが絵の描き方教室など、施設の特色を活かしたプログラムから、演劇、ヨーヨーワークショップまで、多様な文化芸術活動を支援するプログラムを実施したこと、石田倉庫やたちかわ創造舎など、市内の文化芸術分野の団体と連携を持ちながら実施したことは評価できる。			事業計画書等に基づき適切に事業が実施されていると判断し、A評価とする。	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
野村不動産ライフ&スポーツ共同事業体	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	公募提案書の事業計画をベースに管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	社員を対象に仕様書、公募提案書の内容を確認し設置目的の理解を深めている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	全ての利用者の方へ公平・公正にご利用いただくため、その都度提案が行われている。	A		
事業の継続性の担保	複数名で業務に携わることで安定したサービス提供が行われている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:346日 開館時間:9:00～22:00 職員配置:正社員・契約社員13名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給1,170～1,330円 ※研修期間は1,170円	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 86,298人(102.5%) 団体利用 73,436人(112.9%) 教室利用 25,637人(111.0%) 合 計 172,171人(107.6%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、コロナ禍以前の水準には戻っていないが、団体利用を中心にいずれも前年度に比べて増加している。	
運営企画	参加しやすいイベント等の企画を実施されている。	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:210,753,318円、支出:246,617,684円 (うち指定管理料:149,786,994円) 事業収支:▲35,864,366円 人件費比率:44.1% 物価高騰の影響に対し、指定管理料の補てん(9,520,000円、上記指定管理料に含む)を行った。 事業の継続性は確保されている。 自主事業納付金:6,493,201円	A	物価高騰の影響により、コロナ禍以前と比較して利用料金収入が大幅に減少している。また、自主事業については、利用者数の回復に伴い、市への納付金も前年度と同等以上となっており、市歳入に貢献している。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を確保している。) 協定書に基づき、リスク分担して対応	A	適正にリスク分担して 対応されている。 様々な体験会やイベ ントの開催により、利 用者サービスの向上 に取り組まれている。	A
第三者への委託状況	清掃業務、プール水水質検査・簡易専用水道水検査、電話交換設備保守点検、自家用電気工作物保安全管理、エレベータ設備保守点検、自動ドア点検、建築設備定期検査、特定建築物定期調査、空調機点検業務、吸収式冷温水機保守点検、スタジオ用吸収式冷温水機保守点検、温水ボイラー保守点検業務、プール水処理設備保守点検、プール減菌装置保守点検、空調用自動制御装置保守点検、煤煙濃度測定検査、空気環境測定業務、害虫防除及び生息調査業務、膜屋根保守点検、電動開閉式ドーム点検、機械警備業務、植栽管理保守業務、消防用設備保守点検、放送設備保守点検、受水槽設備等清掃、貯湯槽清掃、雑排水槽点検清掃、汚水槽・湧水槽点検清掃、プール還水槽清掃	A		
新たな取り組みの状況	体力測定や着衣泳体験会のほか、オリンピック水泳選手による水泳指導のイベントを開催し利用者のサービス向上に取り組んでいる。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者の評価はおおむね良好な評価を得ている。	A	日常的に意見を受け 付け、利用者の声を 運営に活かされてい る。 業務マニュアルを整 備し、マニュアルに 沿って業務が実施さ れている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	研修を定期的に実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の業務調整会議の開催とともに、日常的な連絡・調整をされている。	A		
利用者アンケート等の実施	日常的意見を受け付け、利用者の声を運営に活かしている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを施設内に設置するとともに、ホームページにより、適宜情報を発信されている。	A		
事業計画・報告書の公表	企業の内部情報、経営ノウハウを除き、原則公開されている。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システムにより、公平・公正な利用を確保されている。	A		
業務の点検	チェック表を作成し日次業務点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業計画に基づき、適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕は、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	シャワー故障取替工事(複数箇所)、エアコン故障交換工事、幼児プール用薬注ポンプ故障交換工事、25mプール用薬注接続部劣化交換修繕、全館系統冷温水発生器No.1フレームロッド故障交換修繕、全館系統冷却塔 ファンベルト劣化交換修繕、全館系統冷温水発生器No.1インヒーター交換修繕、エアコン故障部品交換修繕、25mプール用ろ過ポンプ及び幼児用プールろ過ポンプのグラントパッキン劣化交換修繕、水循環ポンプNo.2系統マグネットスイッチ故障交換修繕、防火扉閉鎖不良修繕、25mプール用ろ過ポンプ漏水修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日次・月次での確認が行われている。	A	個人情報マニュアルに基づき適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護の法令を十分に教育・理解し業務が遂行されている。	A		
適正な管理	研修により対策の徹底がされている。	A		
再委託の禁止	個人情報の取扱いに係る再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	社内研修及び施設内での日常的な教育が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護マニュアルが整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	雨漏りや利用者の衛生環境に影響のある設備不具合に対して、適切に対応されている。	A	施設・設備の不具合発生時にも適切に対応されている。 事故の予兆に対する取り組みや事故防止対策が適切に行われている。	A
事故の予兆に対する対応	事故につながる恐れがある箇所について、所管課と協議し、対応されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	配線の劣化により電気火災につながるおそれのあった事案に対して、適切に通報するなどの対応がされている。			
事故防止対策の取り組み状況	適切な事故防止対策が実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	市内の教育機関との連携や地域団体との連携活動が行われている。		A	地域や関係団体等との連携・協力をされている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。		A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—		—	—	—
◆ その他特記事項					
スタンプラリー	トレーニングジムの利用者が規定回数の利用によりスタンプが貯まると20分間のパーソナルトレーニングを受講できるサービスを実施				
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
利用人数・利用料金共に前年度を上回る結果となりましたが、コロナ禍以前の2019年度と比較すると8割程度の結果となりました。 運営面では、泉市民体育館指定管理者とも情報共有を随時行い両体育館の運営に活かした。事業については昨年度よりも増設し、たくさんの方にご参加いただくことができた。また、新たなイベントを企画実施し多くの方にご参加いただけた。施設の維持管理に関しては、発生予防を第一に考え限られた修繕予算の中で優先順位をつけ貴市と協議の上修繕を実施いたしました。					
</					

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市泉市民体育館	非公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
シンコー・立川体協・アズビル共同事業体	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に沿った管理運営をおこなうため、毎月提案業務の履行確認が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	市民の社会体育の普及振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するための「公の施設」の役割を理解するために、日常的に共有及び研修が実施されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	すべての利用者が公平・公正に利用できるシステムが構築されている。	A		
事業の継続性の担保	職員の継続率向上のため、勤務体制の強化、業務の効率化、職員へのアンケートやヒアリング、職場環境の整備が実施されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:334日 開館時間:9:00～23:00 職員配置:正社員・契約社員7名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給1,351円～	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、コロナ禍以前の水準には戻っていないが、個人利用や教室利用で前年度から増加している。 提案事項は事業計画書等に基づき、適切に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 105,969人(116%) 団体利用 132,290人(89%) 教室利用 37,492人(118%) 合 計 275,751人(102%) コロナ禍後の市民の行動変容による利用者離れの影響や、第二体育室バスケットゴール改修工事による利用制限がある中で、合計では前年度を上回る利用実績を残している。	A		
運営企画	地域プロスポーツチームと連携し、「みる」スポーツ「ささえる」スポーツの面で地域に貢献されている。健康推進課など市と連携した事業に継続して協力している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:233,626,938円、支出:229,812,367円 (うち指定管理料:186,207,350円) 事業収支:3,814,571円 人件費比率:48% 水道光熱費の不足と修繕費の残金を精算した。 自主事業納付金:959,267円 令和5年度を上回る自主事業の納付金があった。	A	事業収支は、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。 多摩都市モノレールの車体広告による施設PRや、プロスポーツチームとの連携推進に積極的に取り組まれている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円(仕様書の水準を超えている。) 協定書に基づき、リスク分担して対応	A		
第三者への委託状況	プール水質検査、冷温水発生機保守点検、電光表示設備保守点検、機械警備業務、エレベーター設備保守点検、プール滅菌装置点検、自家用電気工作物保安全管理業務、電話交換設備保守点検、消防用設備保守点検	A		
新たな取り組みの状況	多摩都市モノレール車体広告に掲載するなど新たな取り組み等により施設PRを積極的に実施していることを高く評価する。プロスポーツチーム連携によるスポーツ推進として冠大会の開催など積極的にスポーツの推進に取り組んでいる。	S		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用ルールに納得しない利用者に対しても丁寧に説明するとともに、業務調整会議で利用者からの意見と対処法の報告を行い、必要な情報共有が行われている。	A	職員の対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 職員研修を行い職員の接遇及びスキルの向上に取り組まれている。 対応に注意を要する案件について、市への適切に情報共有がされている。 施設利用者数向上に向けた広報・PR等の取組について高く評価できる。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	社内研修、日常研修を積極的に実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	対応に注意を要する案件については市に個別に報告するなど、定例報告以外も適切に対応されている。	A		
利用者アンケート等の実施	日常的に意見を受け付け、利用者の声を運営に活かしている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	FM立川への出演や市外の商業施設でのイベントに出店するほか多摩都市モノレール車体広告掲載するなど積極的な取り組みを高く評価する。	S		
事業計画・報告書の公表	企業の内部情報、経営ノウハウを除き、原則公開している。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システムにより、公平・公正な利用が確保されている。	A		
業務の点検	社で定めるPDCAサイクル及び社内監査により改善に取り組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	チェックリストを作成し、適切に実施されている。	A	事業計画書・協定書に基づき、チェックリストやマニュアル等を整備し、適切に実施されている。 小規模修繕は、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	お手洗い洗面電子センサー修繕、プール熱交換配管漏水修繕、プール更衣室引戸修繕、第一仕切りネット修繕、プールスピーカー修繕	A		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	内部監査員による調査・監督が行われている。	A	個人情報保護マニュアルに基づき適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護を十分に教育・理解し業務を遂行されている。	A		
適正な管理	全スタッフと個人情報に関わる同意通知を結び防止策を講じている。	A		
再委託の禁止	個人情報の取扱いに係る再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	社内研修及び施設内での日常的な教育が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護マニュアルが整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	体調不良を訴える利用者に対して慎重かつ適切に対応されている。	A	救急対応が必要な利用者に対して、迅速かつ適切に対応されている。 施設・設備の不具合発生時にも利用者に対して適切に対応されている。 マニュアルや訓練を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	マニュアルや訓練を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	夏季の空調設備の故障に対し、熱中症対策としてタブレットを配布する等の予防対策を行い、トラブルに適切に対応されている。			
事故防止対策の取り組み状況	安全管理マニュアルや救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の方や来館者との積極的なコミュニケーションがとられている。 関係団体との連携を継続して行われている。	A	地域や関係団体等と連携、協力されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
広報・PR活動	武蔵村山イオンモールにおいて開催された「スポーツフェス」で、立川市泉市民体育館としてブースを出店し、AI姿勢測定会を実施することで施設の周知活動を行った。			
イベントの拡充・賑わいの創出	大会開催時に立川観光コンベンション協会紹介のキッチンカーを呼び、イベントの盛り上げに貢献した。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
立川市民のスポーツ及びレクリエーション、社会体育の普及のために泉市民体育としての役割や施設の魅力発信に注力しました。WEB広告(リスティング広告・ディスプレイ広告)やSNSを活用した情報発信をおこないました。併せて、立川を南北に繋ぐ多摩都市モノレールの車体広告の掲載、登り旗の設置などあらゆる媒体にて、施設の認知向上活動の結果、個人利用前年対比116%増となりました。地域連携も積極的におこないました。地域を巻き込んで、市民の健康増進、市民が日常的にスポーツに楽しめる環境づくり、コミュニティ創出の取り組みをおこなっております。地域連携プロスポーツ団体との共同イベント、立川ダイス公開練習や選手による小学生クリニックや、立川アスレティックF.C.によりホームゲーム戦時に、子供達によりオープニングパフォーマンスやエスコートキッズを行い「見るスポーツ」同日時にユニバーサルスポーツモルック体験ブースを設置し「体験するスポーツ」の場として施設を有効活用しました。出張型運動指導である「生活習慣予防講座」や地域の健康ボランティアである「健康ささえ隊」への運動指導、ららぽーとのある立飛駅にて「ポッチャの体験会」、「地域の健康フェア」など様々な機会に泉市民体育館として参加をしてきました。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
市内外の商業施設でのイベントに参加するほか、FMたちかわへの出演や多摩都市モノレールの車内広告等、多様で積極的な広報活動が実を結び、個人利用者数が増加したことを評価する。プロスポーツチームとの連携による「みる」「ささえる」スポーツの提供、市各種健康事業への協力を行い、地域に貢献している。 施設の維持管理面では、保守点検等を適切に業務実施したことに加え、機器不良が懸念される設備についての改善提案を行い、安定した施設運営に寄与し修繕費を計画値以下に抑えて運営したことを高く評価する。 維持管理に関する各種経費の上昇を料金に反映することが難しい制度のなかで、黒字収支としたうえで市民に多様なサービスを提供したことを評価し、A評価とする。	A	第二体育室バスケットゴール改修工事による利用制限の影響がある中でも、積極的に施設PRに取り組み、利用者数は前年度からは増加している。 プロスポーツチームとの連携により、地域貢献にも取り組まれている。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。		

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和4年4月1日～令和8年3月31日(4年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン・マニュアルを基準とした運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営上の基本的な事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布、利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を残すことで継続性が維持されている。また、職員の異動等についても、引継ぎ期間を十分にとることで継続性が維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 開館時間:9:00～20:00(貸館22:00まで) 職員配置:常勤4名、非常勤4名 常勤給与:225,000円～／月 非常勤賃金:時給1,165円～ 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 15,546人(95.9%) 団体利用 1,760人(102.7%) 館外行事 326人(195.2%) 合 計 17,632人(97.5%) 利用者数は前年度並みである。	A	利用者数は、概ね前年度と同程度の水準となっている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	入学進級おめでとう会、子どもの日、地域との連携などを実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:39,471,849円(指定管理料) 支出:38,321,812円 事業収支:1,150,037円 人件費比率:76.5% 適正に事業が執行されている。	A	事業収支は、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。 自然に触れる体験や防災デイキャンプなどの新たな取り組みが実施されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、樹木剪定、非常通報装置保守点検を実施。	A		
新たな取り組みの状況	自然に触れる体験や防災デイキャンプなど、児童が様々なことを体験できる事業が実施されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報発信がされている。 独自ホームページにより情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的確認が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施がされている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。独自ホームページにより情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	修繕は適切に行われている。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	事業本部、事業所副所長、エリアマネジャーが巡回して確認されている。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報の取り扱い規定に沿って管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議、研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	工作行事でレジンを使用したことについて、内容の事前周知不足やアレルギーへの配慮に対する保護者からの指摘があったため、今後注意していただきたい。 また、写真利用不可の利用者の写真を法人ホームページに誤掲載した事案があった。再発防止に努めていただきたい。 その他に利用者が怪我をした事案があったが、保護者への連絡等も含めて適切に事後対応されている。	A	事案判明後の対応については、適切な対応と再発防止策がとられている。 事故の予兆に対する対応は適切に行われている。 定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	利用者が安心して利用できるよう対応されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	柏町・栄町・幸町青少年健全育成地区委員会等への参加、関係機関と連携されている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」「ボーリング講習会」「炭焼き体験会」を開催。			
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
幸50周年夕涼み会にはさいわい町地域懇談会や幸学習館地域運営協議会などでつながった団体の方々をはじめ、数多くの地域の方にブースやコーナーを担当してもらうなどのご協力を頂き、総勢300名を超える規模でアニバーサリーをお祝いすることが出来た。この行事を通じて50年という時間のなかで、幸児童館が地域に於いていかに認知され、支えて頂いているかを改めて感じられた。 施設管理においては屋外灯交換に際して電球が廃番になっていることが判明した。通常利用する子どもたちの他、貸館で夜間に利用する地域の方への安全面にも配慮して優先して修繕を行った。館庭植樹の倒木があり、フェンスが曲がり、歪むといった事象が起きた。倒木の予想は難しかったかと思うが、今一度安全管理に対して見直す教訓となる出来事だった。 今後も子どもたちにとっての居場所としての機能面を第一に考えながら運営の質を高め、利用者にとっては居心地よく快適であり、職員にとっては個々のスキルアップにつながるような施設を目指したい。また、アウトリーチにも一層力を込めて取り組み、児童館を知らない子どもたちにも知ってもらう工夫を進めたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
乳幼児や小学生、中学生だけでなく団体による施設利用など、様々な年齢層が利用しており、その中でも大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 また、地域の会議にも積極的に参加し、意見交流をする機会を設け地域との連携を大切にすることで、地域との信頼関係も確立されている。 今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館となるよう、より一層の改善改革に取り組んでみたい。	A	積極的に地域行事や関係機関との連携も行っており、地域における児童館の役割が認知されている。 仕様書等に基づき管理・運営状況は適切であると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン・マニュアルを基準とした運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営上の基本的な事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布、利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を残すことで継続性が維持されている。また、職員の異動等についても、引継ぎ期間を十分にとることで継続性が維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 開館時間:9:00～20:00(貸館22:00まで) 職員配置:常勤4名、非常勤8名 常勤給与:225,000円～／月 非常勤賃金:時給1,165円～ 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 前年度に比べていずれの利用者数も増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 14,192人(105.3%) 団体利用 794人(149.0%) 館外行事 429人(1,340.6%) 合 計 15,415人(109.7%) 前年度に比べ、利用者数は増えている。	A		
運営企画	新1年生歓迎会、こどもの日企画、地域との連携行事、他児童館との合同行事、自然体験事業、子ども実行委員会などが実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:38,465,170円(指定管理料) 支出:36,498,502円 事業収支:1,966,668円 人件費比率:74.3% 適正に事業が執行されている。	A	事業収支は、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	適正にリスク分担して対応されている。	
第三者への委託状況	定期清掃、害虫駆除、絨毯クリーニング、非常通報装置、カーテンクリーニング、ガスヒューポン保守点検を実施。	A	外国料理づくりの体験や自然体験などの新たな取り組みが実施されている。	
新たな取り組みの状況	外国料理づくりの体験や自然体験、児童館活動の展示など、児童が様々なことを体験できる事業が実施されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 児童館ホームページを活用し情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的に確認が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施がされている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページ、独自ホームページにより情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	各所不良による小規模修繕は適切に行われている。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	事業本部、事業所長、エリアマネジャーが巡回して確認されている。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報の取り扱い規定の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議、研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	夏祭りの実行委員を担う児童の家庭でのカード作成作業について、保護者よりご意見をいただくことがあった。児童との円滑なコミュニケーションや保護者への丁寧な説明を心掛けていただきたい。その他に利用者がバランスを崩して怪我をした事案が2件あったが、どちらも適切に事後対応されている。	A	保護者とのコミュニケーションの中で、苦情となる事案があった。また、施設内で利用者が怪我をする事案があったが、適切に事後対応されている。 定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	乳幼児が安心して利用できるよう対応されている。				
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	高松町・曙町青少年健全育成地区委員会等への参加や、高松会館、学習館との連携がとられている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」「ボーリング講習会」「炭焼き体験会」を開催。			
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
コロナウイルス感染症が落ち着き、行事人数や内容を以前に近い形で児童館運営を行ってきた。クッキングや集団遊び、行事を楽しめるように企画した。 夏は暑さをしのぐ、また、豪雨を避ける為に来館する利用者もあり、地域での一時的な安全場所としても周知されている事を実感した。その際に過ごせる環境を今後も考慮していく。 地域交流会では、行事の内容と一緒に参加していただく事で直接、利用児の様子を見ていただく事ができた。地域の方の協力による行事ではハロウィンでの練り歩きの機会に店舗を知り、近隣とのつながりで何かがあった際に駆け込める場所にもなっている。 地域のお手玉の団体の方との行事を行い、持参したゲーム機で遊ぶだけでなく、昔遊びに触れる機会を設けた。ゲーム機を持って来なくても、児童館の玩具で遊べるようにお手玉やメンコ、コマ等、楽しく、挑戦できる環境設定をした結果、繰り返し来館してくれる児童が増えた。 子育てひろばを利用する乳幼児親子が多く、利用しやすい雰囲気作りを心掛けた。土日や夕方の乳幼児の利用にもつながり、異年齢で過ごすことができるようにコーナー分けや譲り合いができようにも心掛けた。今後も幅広い年齢が過ごすことができるように配慮していく。 中学生が部活動を終えた後に来館する姿が見られた。気分転換や放課後の友達と過ごす場所として利用してもらえている為、18時以降の時間帯の雰囲気作りも大切にしていく。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
乳幼児、小学生、中学生と様々な年齢層の子どもたちの利用が増加しており、その中でも大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 また、地域の会議にも積極的に参加し、意見交流をする機会を設け地域との連携を大切にすることで、地域との信頼関係も確立されている。第二小学校複合施設の設計についても、児童や乳幼児の安全面を配慮しての意見もいただいている。 今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館となるよう、より一層の改善改革に取り組んでみたい。		A	地域団体や関係機関との連携により、地域に根付いた活動が実施されている。 事業計画書に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和6年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市若葉児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
評価理由等： 平成25年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した若葉児童館は、令和6年度で指定管理期間通算で12年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行った。また、併設の若葉学童保育所でも土曜日の延長保育を継続実施し、ともに安定した運営に取り組んだ。	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
若葉児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン・マニュアルを基準とした運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営上の基本的な事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布、利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を残すことで継続性が維持されている。また、職員の異動等についても、引継ぎ期間を十分にとることで継続性が維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 開館時間:9:00～20:00(貸館22:00まで) 職員配置:常勤4名、非常勤9名 常勤給与:225,000円～/月 非常勤賃金:時給1,165円～ 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、概ね前年度と同程度の水準となっている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 18,649人(99.9%) 団体利用 208人(116.2%) 館外行事 847人(101.8%) 合 計 18,649人(99.9%) 利用者数合計は前年度並みである。	A		
運営企画	新入生向け事業、各年代向け事業、地域との連携、子どもの企画参加事業などを実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:56,216,618円(指定管理料) 支出:52,416,842円 事業収支:3,799,776円 人件費比率:74.9% 適正に事業が執行されている。	A	事業収支は、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、樹木剪定、非常通報装置保守点検等を実施。	A		
新たな取り組みの状況	児童館活動の展示など、児童が様々なことを体験できる事業が実施されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的に確認が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施がされている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。独自ホームページにより情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	各所不良による小規模修繕は適切に行われている。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	事業本部、事業所長、エリアマネジャーが巡回して確認されている。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報の取り扱い規定の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議、研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	遊びの中での利用者の怪我に対し、迅速に応急救置を行い、保護者への連絡、事情説明、謝罪等の適切な事後対応がとられている。	A	利用者が怪我をした事案があったが、事後対応は適切に実施されている。 定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	トランポリンの撤去に対しては残念がる声も多いが、利用者の安全確保の観点から適切に対応されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	青少年健全育成地区委員会等への参加など、地域との連携がとられている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」「ボーリング講習会」「炭焼き体験会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				
他館との合同事業	法人が運営する市内児童館5館合同で文化祭を開催。利用児童の作品展示を行う。				
地域との協力	立川ふれあいこどもまつりにて児童館ブースを提供。				
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
年間を通して多数の利用者との関わりがあった。過ごしやすい気候の時期は館庭遊びを好む高学年児童が、学童児童と一緒に遊ぶことを目当てにした利用が多くあった。中高生の利用が定着しており、そのほとんどが気の合う仲間と好きなことをしたり、職員に話を聞いてもらったりする場所としての利用だった。そのため行事への関心が低く、中高生向け行事の企画、実施は今後も大きな課題となった。また、不登校や部活動不参加の中学生の家庭以外の居場所としての利用があった。児童館運営協議会・地域交流会を通して、関係機関や地域の方々に児童館について改めて知っていただくことができた。 職員体制が安定したが、事故、怪我、トラブルの少ない運営ができた。職員間で日常における情報共有を徹底し、危険回避について話し合いを重ねたこと、利用者との関係性が築けていることによる結果と考える。多面的な行事運営に努めるとともに、利用者より希望が多かったクッキング、1年生タイム、遊☆涼み会、中高生タイムにおいて実施した。参加者からとても楽しかったと好評だったため、今後回数を増やすことも検討したい。 施設管理の面では、予定外の大きな修繕が発生したが、主管課に相談しながら進めることができた。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等			
乳幼児、小学生、中学生と様々な年齢層の子どもたちが利用しており、その中でも大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 また、地域の会議にも積極的に参加し、意見交流を図る機会を設け地域との連携を大切にすることで、地域との信頼関係も確立されている。 今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館となるよう、より一層の改善改革に取り組んでみたい。	A	積極的に地域行事や関係機関との連携も行っており、地域における児童館の役割が認知されている。 事業計画書等に基づき、管理・運営は適切に行われていると判断し、A評価とする。		A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
若葉学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン・マニュアルを基準とした運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営上の基本的な事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布、利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を残すことで継続性が維持されている。また、職員の異動等についても、引継ぎ期間を十分にとることで継続性が維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:291日 開館時間:9:00～19:00 職員配置:常勤2名、非常勤3名 常勤給与:225,000円～／月 非常勤賃金:時給1,165円～ 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、前年度からやや減少している。 事業計画書に基づき、併設の児童館と連携しながら、さまざまなイベントを企画・実施されている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】0内は対前年度比 定員数:40名 延べ利用人数:4,608名(87.0%)	A		
運営企画	伝承遊び、お誕生日会、工作、親子交流会などを実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外（若葉児童館にて一括して評価）	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、樹木剪定、非常通報装置保守点検等を実施。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的確認が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内の設置、市ホームページにより情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A			
業務の点検	適宜業務点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	特になし。	—			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	定期的に事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適切に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報の取り扱い規定の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、外部研修に参加されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	遊びの中での利用者の怪我に対し、迅速に応急救置を行い、保護者への連絡、事情説明、謝罪等の適切な事後対応がとられている。	A	利用者が怪我をした事案があったが、事後対応は適切に実施されている。		A
事故の予兆に対する対応	利用者が安心して利用できるよう対応されている。		事故の予兆に対する対応は適切に行われている。		
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A	定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。		
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	児童館と協力して地域との連携がされている。	A	適切に地域との連携がとられている。		A
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
職員の体調不良により、職員配置が不安定な1年だったが児童館と協力し合いながら運営することが出来た。また、子どもたちの協力もあり、行事運営がスムーズに行えたと感じる。 若葉学童保育所は『上級生が下級生の面倒を見る』『上級生を敬う』が自然と出来ていて、喧嘩もなく穏やかな日々を送ることが出来た。特に夏休みに行った縁日遊びでは、5、6年生を中心に班活動として景品作りやゲームのルール決めなどを行っていた。上級生の意見だけではなく、下級生の意見を吸い上げる場面が見られ、一人ひとりの意見が反映された行事になっていた。 新しい取り組みとして、買い物おやつを行った。育成室内をお店として、おもちゃのお金を使って好きなおやつを購入していた。まだ2桁の計算が苦手な児童がいたため、上級生と下級生でペアを組み、一緒に買い物をするようにした。「どんなおやつが食べたい」「一緒に計算してみようか」など上級生が優しく声をかける場面が多く見られた。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
学童保育所として様々なイベントを企画していることに加え、児童館との併設であることを活用して児童館イベントにも参加するなど、楽しい学童保育所運営を実施されている。 大きな事故やトラブルもなく学童運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 今後も子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。		A	児童館と合同行事を実施するなど併設のメリットを生かしつつ運営されている。 児童の状況把握しつつ、事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和6年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市西砂児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	西砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	松中学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
評価理由等： 平成25年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した西砂児童館は、令和6年度で指定管理期間通算で12年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行ってきた。 また、併設の松中学童保育所では、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んでいる。	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
西砂児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン・マニュアルを基準とした運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営上の基本的な事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布、利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を残すことで継続性が維持されている。また、職員の異動等についても、引継ぎ期間を十分にとることで継続性が維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 開館時間:9:00～20:00(貸館22:00まで) 職員配置:常勤4名、非常勤6名 常勤給与:225,000円～/月 非常勤賃金:時給1,165円～ 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、概ね前年度と同程度の水準となっている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 15,821人(94.8%) 団体利用 342人(88.4%) 館外行事 840人(146.9%) 合 計 17,003人(96.4%) 利用者数合計は前年度並みである。	A		
運営企画	夕涼み会、ふれあい松明まつり、にしすなこどもまつりなど、地域と協力した事業を実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:61,473,984円(指定管理料) 支出:60,215,094円 事業収支:1,258,890円 人件費比率:75.5% 適正に事業が執行されている。	A	事業収支は、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、樹木剪定、非常通報装置保守点検等を実施。	A		
新たな取り組みの状況	児童館活動の展示など、児童が様々なことを体験できる事業が実施されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への職員の対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的確認が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施がされている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。立川市ホームページ、独自ホームページにより情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A		
業務の点検	責任者により業務点検を適宜実施している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	各所不良による小規模修繕は適切に行われている。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	事業本部、事業所長が巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報の取り扱い規定の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議、研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	児童館利用申請書類の提出対応が遅れる事案があったが、事務処理ルール共有や責任者による確認の徹底等により、再発防止策が講じられている。 中学生の利用が増えたことで子どもの声量に対する苦情があったが、利用者への声掛けや館内へ注意喚起を掲示する等の対応がとられている。 その他に利用者の怪我の事案等が発生しているが、適切に事後対応されている。	A	児童館利用申請書類の提出対応遅れ、近隣からの苦情、利用者がけがをするといった事案があったが、それぞれ適切に事後対応されている。 定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	利用者が安心して利用できるよう対応されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	青少年健全育成地区委員会等への参加など、地域との連携がとられている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	—
◆ その他特記事項					
地域連携 子どもの居場所	松中小学校中規模改修工事に伴い、夏休み期間中に松中小「放課後子ども教室くるプレ」の登録児童を児童館にて受け入れ、くるプレ職員と協力し、通常利用者に加えて一日当たり平均54名程度の児童の見守り保育が行われた。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」「ボーリング講習会」「炭焼き体験会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				
地域連携 子どもの居場所	地域の子ども食堂団体に協力。児童館利用申請を受け、冬休み・春休みに各1回開催された出前子ども食堂の受け入れと受け付け業務などに協力されている。				
子どもたちの将来に向けた取り組み	東京都ドッジボール協会主催大会への参加。市内対抗ドッジボール大会で実績を収めた子どもたちに、さらなる技術向上はもちろん、地域にとどまらないハイレベルのチームと対戦することによる経験が提供されている。				
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
各種行事をはじめ、地域連携を中心に企画の幅を広げることができた。中でも併設学童保育所保護者会共催の夕涼みイベントおよび春のこどもまつりは、地域の協力のもと当館の2大イベントとして確立しつつある。 不登校の児童生徒の受け入れや、配慮の必要な児童生徒についての情報共有など、様々な機関と連携しながら、子どもたちにとって心地よい居場所を目指して運営を続けてきた。家庭事情に課題を抱える利用者への対応では、慎重な対応が求められるケースも続いたが、利用者に寄り添った関わりによって、不安定な状況を脱することが出来た。不登校児童の受け入れは学校と連携しながら現在も継続している。 施設管理としては、小規模修繕が前年に続いて進めることが出来た。 今後も子どもたちにとって安心安全な場所であることを最優先に、運営の質を高め、拠点施設として子どもたちが伸び伸びと過ごす環境が保証されるには何が大切なのかを常に意識していきたい。					
施設担当課評価			2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
乳幼児、小学生、中学生と様々な年齢層の子どもたちが利用しており、その中でも大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 また、地域の会議にも積極的に参加し、意見交流をする機会を設け地域との連携を大切にする中で、地域との信頼関係も確立されている。 今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。		A	積極的に地域行事や関係機関との連携も行っており、地域における児童館の役割が認知されている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施し、適切に管理・運営がなされていると判断しA評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
松中学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン・マニュアルを基準とした運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営上の基本的な事項等の確認が行われている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布、利用方法の統一化が進んでいる。	A			
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を残すことで継続性が維持されている。また、職員の異動等についても、引継ぎ期間を十分にとることで継続性が維持されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開館日数:291日 開館時間:9:00～19:00 職員配置:常勤3名、非常勤3名 常勤給与:225,000円～／月 非常勤賃金:時給1,165円～ 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、概ね前年度と同程度の水準となっている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
利用状況	【学童保育所利用者】〇内は対前年度比 定員数:60名 延べ利用人数:13,260名(96.6%)	A			
運営企画	保護者との連携事業、児童館との連携事業などを実施。	A			
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外（西砂児童館にて一括して評価）	—			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	特になし。	—			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的確認が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内の設置、市ホームページにより情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A			
業務の点検	適宜業務点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	特になし。	—			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	管理責任者を定め、管理表を使用している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適切に執行されている。	A			
適正な管理	適切に執行されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	会議での確認や法人内研修の実施している。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	児童が学童に向かう途中に交通事故(打撲)に遭う事案が発生した。学童施設外での出来事ではあったが、職員が現場に急行して児童のケアに当たる等、迅速かつ適切な対応が行われたことは高く評価できる。	A	利用者が施設外での交通事故によりけがをする事案があったが、迅速な対応がされたことは高く評価できる。 定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	利用者が安心して利用できるよう対応されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力して地域との連携がされている。	A	日常的に地域との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
4月時点で在籍児童70名中1～2年生が54名、加配児童3名(うち1名は特別支援校在籍)という、前年に続きに気の抜けない状況での保育となった。6月以降、くるブレ移行による退所児童が出たがすぐに待機児童が入所、1年間通して70名定員を割ることが殆ど無かった(2月3月のみ69名)。1～5年生まで幅広い学年が在籍する中、特に、家庭事情や保護者のかかわりに端を発するとみられる、配慮の必要な行動を示す児童も非常に多かった。問題行動に目を向けるのではなく、その背景を考慮し、学童内で出来る子どもや保護者への支援として何が必要か、複合施設の強みを生かし、学童・児童館の職員全員体制で見守りを継続した。 運営については、保護者会共催の大型行事「にしすなまつな夕涼み会」においては、青少健をはじめとする地域の協力を得ることができ、また学童親子遠足も3年連続で実施することが出来た。 今後もご家庭に代わって子どもの安全を守るという学童保育の基本に立ち返り、子育て現場の原点を見失わず、子どもたちにとって安心安全な場所であることを最優先に運営を続けていきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
学童保育所として様々なイベントを企画していることに加え、児童館との併設であることを活用して児童館と協力してイベント開催するなど、楽しい学童保育所運営を実施されている。 大きな事故やトラブルもなく学童運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 今後も子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。	A	児童館と合同行事を実施するなど併設のメリットを活かしながら運営されている。 安全管理についても、適切に取り組まれている。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営は行われていると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和6年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市羽衣児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	羽衣児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	羽衣学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
評価理由等： 平成26年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した羽衣児童館は、令和5年度で指定管理期間通算で10年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行ってきた。 また、併設の羽衣学童保育所でも、特に配慮を必要とする児童を保育しながらも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んでいる。	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
事業名称	事業番号	施設担当課
羽衣児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン・マニュアルを基準とした運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営上の基本的な事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布、利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を残すことで継続性が維持されている。また、職員の異動等についても、引継ぎ期間を十分にとることで継続性が維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 開館時間:9:00～20:00(貸館22:00まで) 職員配置:常勤3名、非常勤10名 常勤給与:225,000円～/月 非常勤賃金:時給1,165円～ 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は前年度と比較し、個人利用を中心に増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【利用者数】〇内は対前年度比 個人利用 13,879人(115.7%) 団体利用 65人(94.2%) 館外行事 410人(273.3%) 合 計 14,354人(117.6%) 利用者数は前年度と比べ増加している。	A		
運営企画	子どもの日スペシャル、クッキング、地域との連携などを実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:58,229,000円(指定管理料) 支出:57,930,538円 事業収支:298,462円 人件費比率:78.5% 適正に事業が執行されている。	A	事業収支は、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。 地域の菓子店によるおやつ作り体験などの新たな取り組みが実施されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、樹木剪定、非常通報装置保守点検等を実施。	A		
新たな取り組みの状況	地域の菓子店からおやつ作りを教わったり、児童が様々なことを体験できる事業が実施されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的に確認が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施がされている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。独自ホームページにより情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	修繕は適切に行われている。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	事業所所長が巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報の取り扱い規定に沿って管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議、研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	利用者が持参した貴重品に関する事故事案があった。利用者の貴重品の管理等、今後も気を付けて指導していただきたい。 その他利用者の怪我の事案等について、適切に対応されている。	A	利用者の貴重品の管理等については、今後も十分に注意する必要がある。利用者が怪我をした事案については、適切に対応されている。	A	
事故の予兆に対する対応	利用者が安心して利用できるよう対応されている。		事故の予兆への取り組みが適切に行われている。		
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A	マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。		
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域会議への参加など、連携されている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
学童保育所との連携	見守りの中で学童の児童と関わりと共に、学童保育所職員との情報共有、連携強化に努めている。(昼礼・毎月の会議)				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」「ボーリング講習会」「炭焼き体験会」を開催。				
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
運営上の行事などはコロナ禍前と同じ取り組みが可能になったが、放課後子ども教室などが地区で実施され、前年度に利用していた小学生の利用者は少なくなった。突発的な大雨や、遠くに出かけた際の帰り道などに立ち寄る児童も見られ、地域の居場所として認知されている。 見守りが必要な児童が来館することも多く、子ども家庭支援センター、民生児童委員や児童相談所など関係各所と対応する1年となった。それ以外の地域との連携は、児童館祭りで地域アンテナショップで活動しているオカリナの会、おてだまの会が実技を発表する機会も作れた。錦町の星槎国際高等学校よりボランティアを受け入れ、新たに地域にて活躍したい貢献したい人たちの関係が出来た1年となった。施設状況としては修繕や破損物品などの廃棄を行い、精査を継続して行っている。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
乳幼児、小学生、中学生と様々な年齢層の子どもたちが利用しており、その中でも大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 また、地域の会議にも積極的に参加し、意見交流をする機会を設け地域との連携を大切にすることで、地域との信頼関係も確立されている。 今後その関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。		A	利用者数は、前年度は放課後子ども教室くるプレを第六小学校に導入した影響から減少したが、今年度は個人利用を中心に増加に転じた。 地域や保護者と協力したさまざまな行事が展開され、地域への貢献度も高い。 事業計画書に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
事業名称	事業番号	施設担当課
羽衣学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン・マニュアルを基準とした運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営上の基本的な事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布、利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を残すことで継続性が維持されている。また、職員の異動等についても、引継ぎ期間を十分にとることで継続性が維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:291日 開館時間:9:00～19:00 職員配置:常勤3名、非常勤4名 常勤給与:225,000円～／月 非常勤賃金:時給1,165円～ 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、前年度と比べて増加している。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数:60名 延べ利用人数:12,467名(119.2%)	A		
運営企画	新入生歓迎会、誕生会、工作、クリスマス会などを実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外（羽衣児童館にて一括して評価）	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、樹木剪定、非常通報装置保守点検等を実施。	A		
新たな取り組みの状況	グリーンカーテンと同時進行でスイカの栽培体験を実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供をし、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的な確認が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内の設置、市ホームページにより情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A			
業務の点検	適宜業務点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	床面破損の修繕を実施。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	管理責任者を定め、管理表を使用している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報の保護が遵守されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適切に執行されている。	A			
適正な管理	適切に執行されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	会議での確認や法人内研修の実施、外部研修に参加されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		

(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	保護者から受け取った申請書類の提出遅延の事案が発生したが、保管場所の整理整頓等を徹底することで再発防止策が講じられている。 その他、利用者による物品破損や怪我の事案については、事後対応を適切にとられている。	A	保護者から受け取った申請書類の市への提出が遅延する事案や、利用者がけがをする事案があったが、事後対応は適切にとられている。	
事故の予兆に対する対応	児童の安全のための対応がとられている。		児童の交通安全については、個別指導と全体周知が適切に実施されている。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	児童の交通安全に関する理解促進のため、個別指導や全体周知が適切に行われている。		定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。	
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力して地域との連携がされている。	A	地域住民との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
羽衣ダンサーズ	学童内でダンスを踊りたい児童を募り、児童館大型行事にて発表をする。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
併設館としての長所を活かし、児童館と共に支援の必要な児童の対応など情報共有を深め、遊びの工夫やイベントなど協力し関わった。職員も難しさを感じながら集団保育の良さを活かし、利用者の気持ちに寄り添いつつ対応してきた。そのため職員間の情報共有の時間を大切に。保護者との関係については学童運営の理解を頂きながら、個人面談や日々のお迎え対応で児童の成長や悩み等相談を頂くこともあり、良好な関係を構築することができた。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
学童保育所として様々なイベントを企画していることに加え、児童館との併設であることを活用して児童館イベントにも参加するなど、楽しい学童保育所運営を実施されている。 大きな事故やトラブルもなく学童運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 今後も子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。		A	児童館との併設の強みを生かしながらさまざまな行事が展開されている。 保護者から提出された書類の取り扱いに関する事案発生後は、保管状況も改善されている。 事業計画書に基づき、安定した運営がされていると判断しA評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和6年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市富士見児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	富士見児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	南富士見学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
評価理由等： 平成26年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した富士見児童館は、令和6年度で指定管理期間11年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行った。また、併設の南富士見学童保育所でも、多くの児童を保育しながらも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んだ。	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市富士見児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
富士見児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画書を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A			
事業の継続性の担保	情報の共有と記録媒体によるデータ管理を徹底、また、職員の退職や異動に際しては、十分な引継ぎ期間を設け、業務の継続性が維持されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開館日数:332日 開館時間:9:00～20:00(貸館22:00まで) 職員配置:常勤4名、非常勤9名 常勤給与:200,000円～／月 非常勤賃金:時給1,113円～ (10月以降時給1,163円～) 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A	
利用状況	【利用者数】〇内は対前年度比 個人利用 10,767人(99.1%) 団体利用 237人(91.5%) 館外行事 139人(43.7%) 合 計 11,143人(97.4%) 前年度に比べ、利用者数は横ばいとなっている。	A	利用者数は、概ね前年度と同程度の水準となっている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。		
運営企画	入学・工作企画、季節行事、保護者との連携行事、他児童館との合同行事などを実施。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:54,827,991円(指定管理料) 支出:54,827,991円 事業収支:0円 人件費比率:85.9% 適正に事業が執行されている。	A	事業収支は、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:10億円(仕様書の水準を超過) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	非常通報装置、施設清掃、消防設備保守、空調設備保守、緑地管理、建築設備定期検査を実施。	A			
新たな取り組みの状況	プロダンサーによるダンス指導や運動行事など、児童が様々なことを体験できる事業が実施されている。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供を行っている。	A	
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的に確認が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内の設置、市ホームページ、独自ホームページにより情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A			
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	特になし。	—			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	本部、エリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報の取り扱い規定の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、外部研修に参加されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情等は発生していない。	A	
事故の予兆に対する対応	児童の安全のための対応がとれている。				事故の予兆に対する対応は適切に行われている。
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A	定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。		
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	青少年健全育成地区委員会への参加、学校、民生委員児童委員等との連携がされている。	A	地域の行事や会議等への出席により地域との連携がとられている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」運営に協力、参加している。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				
他館との合同での事業協力	錦児童館と連携をとり、立川ふれあいこどもまつり実行委員会主催の「立川ふれあいこどもまつり(6年度3月9日開催)」にイベントブースを開設、協力している。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
令和6年度の児童館運営では、児童たちが安心して過ごせる居場所の確保を第一に考え、日々の活動や環境づくりに取り組んできた。児童一人ひとりの性格や発達段階に応じた関わりを意識しながら、遊びや日常のやりとりを通じて、自然と関係性が育まれるような雰囲気づくりを心がけていた。季節や行事に応じた活動や制作、外遊びや異年齢交流など、児童たちの主体性を引き出す多様な体験の機会を設け、社会性や自己表現の育成を目指した。今年度初めて開催したミニサッカー大会では、ルールやゲーム時間を工夫したことで、サッカー経験のない児童も楽しむことができ、全体として有意義な活動となった。スタッフ間での情報共有やミーティングも継続的にを行い、日々の運営方針や対応に齟齬が生じないよう留意してきた。日々の記録や申し送りを通じて小さな変化にも目を向け、支援の質を維持するための丁寧な積み重ねを意識していた。また、安全面についても日常的な施設内外の点検を実施し、問題が見つかった際には速やかに対応を行う体制を整えてることができた。			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
プロダンサーを講師に呼んでのダンス体験など、事業者として体験型のイベントを企画し、楽しい児童館運営を実施されている。 様々な年齢層の子どもたちが利用する中でも大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 また、地域の会議にも積極的に参加し、意見交流をする機会を設け地域との連携を大切にすることで、地域との信頼関係も確立されている。 今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。	A	地域のイベント等に積極的に参加し、地域との関係を構築するための取組が行われた。 事業計画書等に基づき管理・運営は適切に行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市富士見児童館	非公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
南富士見学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画書を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所のしおり配布、入所説明会や夏季保育説明会での周知により利用方法の統一化が進んでいる。	A			
事業の継続性の担保	情報の共有と記録媒体によるデータ管理を徹底、また、職員の退職や異動に際しては、十分な引継ぎ期間を設け、業務の継続性が維持されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開所日数:291日 開所時間:9:00～19:00 職員配置:常勤4名、非常勤4名 常勤給与:200,000円～／月 非常勤賃金:時給1,113円～ (10月以降 時給1,163円～) 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、前年度と比べて減少している。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A	
利用状況	【学童保育所利用者】〇内は対前年度比 定員数:40名 延べ利用人数:6,639名(69.3%)	A			
運営企画	オリエンテーション、季節行事、お楽しみ会などを実施。	A			
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(富士見児童館にて一括して評価)	—			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	評価対象外(富士見児童館にて一括して評価)	—			
新たな取り組みの状況	プロダンサーによるダンス指導は児童館とともに事業を実施したほか、オンラインでの指導による実験も実施されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的に確認が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内の設置、市ホームページ、独自ホームページにより情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A			
業務の点検	適宜業務点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	壁紙補修を実施されている。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	本部、エリアマネジャーが巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	鍵付きキャビネットでの管理やデータのパスワード管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	会議での確認や法人内研修の実施、外部研修に参加されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	利用者の保護者が正門前に自動車を停めていたことに対する苦情があった。全保護者へ自動車利用に関する注意喚起を行うなどの対応が適切にとられている。	A	保護者の駐車マナーについては、注意喚起を行うなど適切な対応がとられている。 定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。		A
事故の予兆に対する対応	児童の安全のための対応がとれている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	児童館と協力して地域との連携されている。	A	地域や関係機関との連携がとられている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
特になし。					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
今年度の学童運営では、子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりに重点を置き、日々の業務に取り組んできた。子どもの変化や個性を丁寧に捉え、年齢や特性に応じて柔軟な支援を行うことを常に意識していた。活動内容については、子ども自身が主体的に関われるよう工夫を凝らし、日々の生活の中で自立心や社会性を育めるような環境を整えてきた。スタッフ間の情報共有にも力を入れ、安定したチーム体制の中で支援の質の維持・向上を図っていた。 安全管理についても定期的な見直しを行い、マニュアルや動線確認、備品の管理などを通じてトラブルの未然防止に取り組んできた。日常的な確認・振り返りを通じて、現場の対応力を高める意識を全員で共有していた。 今年度の取り組みを通じて得られた経験や課題意識は、今後の運営や他事業においても十分に活かせるものであると考えている。蓄積した実践や仕組みづくりの視点をもとに、引き続き子どもにとってより良い環境を提供できるよう、事業全体としての成長につなげていきたい。					
施設担当課評価			2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
プロダンサーを講師に呼んでのダンス体験など、事業者として体験型のイベントを企画し、楽しい学童保育所運営を実施されている。 大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 今後も子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所となるよう、より一層の改善改革に取り組んでほしい。		A	児童館との併設の強みを生かしながら、さまざまな行事が行われた。 事業計画書等に基づき、適切に運営されていると判断しA評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和6年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	錦児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	錦学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成27年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した錦児童館は、令和6年度で指定管理期間10年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、一年を通して安定的な児童館運営を行った。また、併設の錦学童保育所でも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んだ。

評価ランク

S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
錦児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画書を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報の共有と記録媒体によるデータ管理を徹底、また、職員の退職や異動に際しては、十分な引継ぎ期間を設け、業務の継続性が維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 開館時間:9:00～20:00(貸館22:00まで) 職員配置:常勤4名、非常勤9名 常勤給与:200,000円～／月 非常勤賃金:時給1,113円～ (10月以降時給1,163円～) 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 12,023人(106.4%) 団体利用 0人(0.0%) 館外行事 299人(95.8%) 合 計 12,322人(105.8%) 前年度に比べ、利用者数は増加している。	A	利用者数は、前年度に比べて個人利用を中心に増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	入学・こどもの日企画、子ども会議、季節行事、学習館との連携行事、地域との協力活動などを実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:51,643,810円(指定管理料) 支出:51,786,660円 事業収支:▲142,850円 人件費比率:81.9% 適正に事業が執行されている。	A	事業収支は、ややマイナスとなったが、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:10億円(仕様書の水準を超過) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	非常通報装置、施設清掃、消防設備保守、空調設備保守、緑地管理、建築設備定期検査、エレベータ保守を実施。	A			
新たな取り組みの状況	児童がプロダンサーによるダンス指導を体験できる事業を実施されている。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供を行っている。	A	
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的に確認が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内の設置、市ホームページ、独自ホームページにより情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A			
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	特になし。	—			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	本部、エリアマネジャーが巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報の取り扱い規定の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、外部研修に参加されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	ランドセル来館を実施していない学校行事の振替休日に来館した児童とのコミュニケーションの中で、児童がランドセル来館と一般利用とを混同していることに気付かず、やや配慮が不足している対応があった。保護者へ状況を説明する等により、事後対応は適切にとられている。	A	利用者である児童とのコミュニケーションの中で、やや配慮が不足する部分があったが、事後対応は適切にとられている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施している。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	青少年健全育成地区委員会や地域懇談会へ参加し、連携されている。	A	地域の行事や会議等への出席により地域との連携がとられている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」運営に協力、参加している。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				
他館との合同での事業協力	富士見児童館と連携をとり、立川ふれあいこどもまつり実行委員会主催の「立川ふれあいこどもまつり(6年度3月9日開催)」にイベントブースを開設、協力している。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
令和6年度の児童館運営においては、児童一人ひとりが安心して過ごせる環境づくりを第一に、日々の保育・支援・運営に取り組んできた。季節行事や日々の遊び、異年齢交流や制作活動など、児童の多様な体験や主体的な関わりが育まれるよう、環境整備と職員の関わり方の両面から工夫を重ねた。特に、日々の遊びや会話の中から児童の興味・関心を丁寧に汲み取り、活動に反映させていくことを意識しながら、居心地のよい空間づくりに努めた。また、安全管理や衛生面での点検、保護者対応、関係機関との連携についても、マニュアルに基づき適切な対応に努めた。運営の中では、職員間での情報共有や申し送りを丁寧に行い、日々の小さな変化にも気づける体制を重視してきた一方で、運営を振り返る中で、個別配慮のあり方や一部対応の不十分さを課題として認識する場面もあった。すべての児童が安心して自分らしく過ごせるための関わり方や環境設定については、継続的な見直しと改善が必要であると感じている。これらを真摯に受け止め、法人としての運営体制や職員育成の面でも改善に取り組んできた。			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
プロダンサーを講師に呼んでのダンス体験など、事業者として体験型のイベントを企画し、楽しい児童館運営を実施されている。 様々な年齢層の子どもたちが利用する中でも大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 また、地域の会議にも積極的に参加し、意見交流をされる機会を設け地域との連携を大切にすることで、地域との信頼関係も確立されている。 今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。	A	毎年の恒例行事に加え、地域との連携企画等、多様な運営企画が実施されている。 事業計画書等に基づき適切に管理運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評 価 内 容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	施設担当課
錦学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画書を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	入所説明会や夏季保育説明会、個人面談等での利用方法の周知や学童保育所のしおり等の通知が実施されている。	A		
事業の継続性の担保	情報の共有と記録媒体によるデータ管理を徹底、また、計画的に時間を設けスケジュールを組み、引継ぎ継ぎ業務の継続性が維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数:291日 開所時間:9:00～19:00 職員配置:常勤4名、非常勤4名 常勤給与:200,000円～／月 非常勤賃金:時給1,113円～ (10月以降 時給1,163円～) 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、前年度と比べてやや減少している。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 適正にリスク分担して対応されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】0内は対前年度比 定員数:60名 延べ利用人数:10,434名(93.7%)	A		
運営企画	入所歓迎会、季節行事、クリスマス会などを実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外（錦児童館にて一括して評価）	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:5億円(仕様書の水準を超過) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外（錦児童館にて一括して評価）	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	利用者に対しては、丁寧に対応されている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的の確認が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内の設置、市ホームページ、独自ホームページにより情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A			
業務の点検	適宜業務点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	カウンター下の扉や出入り口を修繕した。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	本部、エリアマネジャーが巡回して確認されている。	A	個人情報に関するルールは、研修やマニュアルに基づき、適切に取り扱われている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	鍵付きキャビネットでの管理やデータのパスワード管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	会議での確認や法人内研修の実施、外部研修に参加されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	当日に保護者のお迎えに変更となった児童が、誤ってお迎えの前に降所してしまう事案があった。職員間での情報共有、役割分担が不十分だったため、再発防止に向けて改善を徹底してほしい。また、児童の学童での過ごし方に関する相談を保護者から受けた際、職員とのコミュニケーションの中で十分な理解が得られず、苦情等につながるものが3件あった。きっかけとなった事象そのものよりも、その後の職員対応への疑問や不満から苦情やご意見につながったものであり、利用者の不安に寄りそった丁寧な説明を心掛ける必要がある。	B	児童の降所誤りについては、再発防止に向けた改善を行っていただきたい。 また、保護者からの苦情等については、利用者の不安に寄りそった丁寧な説明を心掛けていただきたい。	B
事故の予兆に対する対応	危険のある箇所の防止対策がとられている。	A	定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	危険のある箇所の防止対策がとられている。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。定期的な避難訓練も実施されている。			
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力して地域との連携がされている。	A	地域住民や関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度の学童保育所運営では、児童が安心して過ごせる放課後の環境づくりを軸に、日々の支援と活動の質の向上に努めてきた。特に、児童同士の関わりや自主性が自然に育まれるよう、遊びの構成や声かけの工夫、異年齢交流の促進などに重点を置き、日常的な場面を通じて社会性や情緒の発達を支えることを目指してきた。また、年間を通じて季節ごとの行事や制作活動、をバランスよく取り入れ、家庭と連携を図りながら児童の生活リズムや心身の安定を支えてきた。日々の申し送りや会議などを通じて、チームとしての支援の統一感にも意識を向けていた。一方で、運営を振り返る中で、職員の関わり方や支援の質がすべての児童にとって十分であったか、環境が個別のニーズに応えられていたかを再確認し、改善すべき点も見えてきた。法人としても、今回の経験と得られた学びを次の実践に活かし、より柔軟で丁寧な支援を展開できるよう努めていきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
年間を通して子どもたちの安心できる居場所としての児童館運営が行われていたが、学童の安全管理の中で、職員の対応について誤解を受けるなどの課題が見受けられた。安全、安心な居場所づくりに必死になるがゆえに、相手の気持ちを考える余裕がなかったように思われる。 今後も子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。		A	児童館との併設のメリットを生かして行事が実施されている。 児童の降所誤りや保護者からの苦情等については、職員間の情報共有や児童・保護者との意思疎通に改善を必要とする部分がある。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和6年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	上砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	上砂第三学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成27年度より児童館と併設学童保育所とを一体で指定管理者制度を導入した上砂児童館は、令和6年度で指定管理期間10年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、一年を通して利用者や学童保育所保護者、地域関係団体からの苦情やクレームもなく、安定的な児童館運営を行った。また、併設の上砂第三学童保育所でも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んだ。

評価ランク

S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
上砂児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画書を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化がされている。	A		
事業の継続性の担保	情報の共有と記録媒体によるデータ管理を徹底、また、職員の退職や異動に際しては、十分な引継ぎ期間を設け、業務の継続性を維持されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 開館時間:9:00～20:00(貸館22:00まで) 職員配置:常勤4名、非常勤15名 常勤給与:200,000円～/月 非常勤賃金:時給1,113円～ (10月以降 時給1,163円～) 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、概ね前年度と同程度の水準となっている。 毎年の恒例行事に加え、地域との連携企画等、多様な運営企画が実施されている。	A
利用状況	【利用者数】0内は対前年度比 個人利用 25,284人(100.4%) 団体利用 0人(0.0%) 館外行事 811人(96.7%) 合 計 26,095人(100.3%) 利用者数は非常に多い。	A		
運営企画	映画会、マンカラ大会などに加え、企業との連携行事、キャリア教育などを実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:51,113,743円(指定管理料) 支出:51,909,312円 事業収支:▲795,569円 人件費比率:90.5% 適正に事業が執行されている。	A	事業収支はマイナスとなったが、指定期間中の事業の継続性は担保されている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:10億円(仕様書の水準を超過) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	非常通報装置点検・保守、空調設備保守、リサイクル資源回収、消防用設備点検を実施。	A		
新たな取り組みの状況	パイロットや音大生など、経験者の話を聞き将来について考えるイベントや企業とコラボして体験型事業が実施されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、それに沿って業務が実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に結果が公表されている。 利用案内の発行・独自ホームページの活用により、情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的確認が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内の設置、市ホームページ、独自ホームページにより情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル・事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	天井張り替え、給湯器修繕等が実施されている。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	本部、エリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報の取り扱い規定の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、外部研修に参加されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情等は発生していない。 定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域との連携がされている。	A	地域住民や関係機関との連携がとられている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
4月はランドセル来館の申込者が定員35人のところ、75人と増えた。ランドセル置き場や下駄箱等を増やし、受け入れ準備でばたばたしたが、大きな混乱もなく過ごすことができた。職員の協力体制もあり、新しいイベントの企画を増やすことができた。 また、子どもたちも積極的にイベントに参加する姿が見られた。 施設管理の面において、定期的なチェックを行っていたが、視聴覚室での突然の天井石膏ボードの一部落下や排水溝のつまりによる水の逆流が起きた。今後も早めの発見に務め、対応していく。 エアコン5台の交換が無事終了し、暑さによる熱中症等の対応が1件もなかった。			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
企業とコラボして体験型のイベントを企画したり、子どもたちに将来について考えられるような講座を開催したりと、楽しい児童館運営が実施されている。 様々な年齢層の子どもたちが利用する中でも大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 また、地域の会議にも積極的に参加し、意見交流をする機会を設け地域との連携を大切にすることで、地域との信頼関係も確立されている。今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。	A	地域のための児童館として、役割が認知されており、地域との協力体制が構築されている。 事業計画書等に基づき、適切に管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
上砂第三学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画書を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	入所説明会や夏季保育説明会、個人面談等での利用方法の周知や学童保育所のしおり等の通知が実施されている。	A		
事業の継続性の担保	退社・異動時には後任者へ書類や口頭で引継ぎを行い、継続性を維持している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数:291日 開館時間:9:00～19:00 職員配置:常勤4名、非常勤0名 常勤給与:200,000円～／月 非常勤賃金:時給1,113円～ (10月以降 時給1,163円～) 計画どおり適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、概ね前年度と同程度の水準となっている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな行事が行われた。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】0内は対前年度比 定員数:60名 延べ利用人数:12,535名(96.6%)	A		
運営企画	入所歓迎会、季節行事、ハロウィンパーティーなどを実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (上砂児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:5億円(仕様書の水準を超過) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外 (上砂児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	衛生面を考慮し、麦茶をペットボトルにし、食器の使用を廃止することで、食器洗いの人員が不要となり、保育の人員が確保できている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に対応されている。	A	利用者に対しては、丁寧に対応されている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。 利用案内の発行・独自ホームページの活用により、情報提供が行われている。	A	
マニュアルの整備	各種業務マニュアルが設置されており、定期的確認が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内の設置、市ホームページ、独自ホームページにより情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用しやすいように環境整備に取り組んでいる。	A			
業務の点検	適宜業務点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき実施されており、施設は清潔な状態に保たれている。 施設周辺の美化も積極的に行われている。	A	マニュアル・事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	特になし	—			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	本部、エリアマネジャーが巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	鍵付きキャビネットでの管理やデータのパスワード管理が実施されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員に周知されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情等は発生していない。 定期的な避難訓練の実施を含め、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	安全対策がとられている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	児童館と協力して地域との連携がされている。	A	地域や関係機関との連携がとられている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
特になし。					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
前年度実施していた児童館と学童の行き来をイベントだけでなく学童の自由時間すべてをその対象とした。R6年度の児童は比較的自主的な行動ができたと判断し、実施したが今後の実施に関しては児童の様子を見て検討。 おやつ回りの見直しを行い、よりマニュアルに近いかたちでの運用ができるようになった。 児童と新卒職員の意見を入れ込み、双方が動きやすい生活同線となった。新卒職員が2名配属され、それぞれの意見を取り込むことで無駄な動きを省き、話し合いの場を多く儲けられるようになった。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
大きな事故やトラブルもなく児童館運営ができたことは、子どもたちの安心できる居場所として、しっかりと安全管理がなされていたといえる。 今後も子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。		A	児童館との併設のメリットを生かしながら、行事が実施されている。 事業計画書等に基づき、適切に管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市斎場	非公募	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
公益社団法人 立川市シルバー人材センター	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	斎場使用や料金など斎場条例等に基づき、適正に管理されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	葬祭事業所長と本部事務局事業係担当者との定期的なミーティングを通じ、理解の浸透に取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	式場及び葬儀日程の予約はすべて先着順とし、公正・公平な利用が確保されている。	A		
事業の継続性の担保	職員等の退職・異動には十分な引継期間を設けるとともに、引き継ぎ後もサポートの取れる体制を確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開業日数:365日 開業時間:8:30～20:00 職員配置状況:葬祭事業所長1名、管理・市営葬儀従事会員18名、経理3名、受付5名、清掃3名 賃金単価:嘱託 月額200,000円 会員(配分金) 時給1,170円～1,420円	A	基本的事項については、事業計画通り実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 斎場利用件数:314件(98.7%) 市営葬儀利用件数:282件(101.1%) 1階式場:貸出数282回(101.4%) 2階和室:貸出数49回(100.0%) 霊安室:貸出数1,068回(109.0%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 利用件数は、概ね前年度と同程度の水準となっている。	
運営企画	市民マップへ紹介記事を記載(2.2万枚) 市民便利帳へ紹介記事を掲載 市営葬儀説明会、施設見学の実施(12回) 市営葬儀個別説明会の実施(24回) 出張市営葬儀説明会の実施(6回) 市営葬儀説明チラシの市内全戸配布(1回)	A	事業計画に基づき、市営葬儀説明会など利用者の獲得に向けた取組が行われている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:117,779,133円、支出:115,806,054円 (うち指定管理料:22,626,000円) 事業収支:1,973,079円 人件費比率:32.50% 外部委託費比率:2.84%	A	事業収支は、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	シルバー人材センター総合保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	施設警備、消防設備保守、定期清掃、コピー機保守、ゴミ収集、安全運転講習、自動ドア保守、広告掲載、古木剪定、施設検査	A			
新たな取り組みの状況	通夜振る舞い、精進落とし食事の試食会を兼ねた市営葬儀説明会(1回)	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	適切に対応している。アンケート結果でも良好な結果となっている。	A	朝礼等を通して、接遇に関する確認を行っており、アンケート結果においても、職員の対応は良好である。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務が実施されている。 利用は申し込みの先着順としており、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	業務マニュアル「立川市の葬儀」を整備し、これに基づき、適切に対応されている。	A			
研修・教育の実施状況	会議やミーティングを通じ、啓発と指導が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	所管部署とは業務連絡会議等により随時、連絡・調整が行われている。 本部事務局担当職員への連絡は、常時可能となっている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、シルバー人材センターホームページや施設内にて掲示・公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行するとともに、シルバー人材センターホームページ等で周知されている。	A			
事業計画・報告書の公表	シルバー人材センター全体の事業計画・報告書を事務所に備えている。	A			
公平・公正利用の確保	式場予約等、全て先着順とし、公平・公正な利用が確保されている。	A			
業務の点検	会員との会議や面談にて、適正に実施されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき適切に実施しており、常に衛生的な状態となっている。	A	マニュアル等も整備されており、事業計画書・協定書に基づき、清掃や施設、設備の保守点検が適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。簡易な修繕は、随時対応されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	マニュアル等の整備をし、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A			
保安・警備	適切に管理・運営されている。	A			
小規模修繕	壁紙張替え修繕が実施されている。	A			
備品管理	備品台帳を作成し、常時点検が行われている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	葬祭事業所長の指導の下、適切に実施されている。	A	個人情報保護要綱を制定し、要綱に沿って適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	法人として、個人情報保護要綱を制定し、業務執行されている。	A			
適正な管理	一定期間を経過した書類は、本部事業係において管理されている。	A			
再委託の禁止	市の承諾のない再委託はしていない。	A			
研修・教育の実施	会議やミーティングを通じ、啓発を実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護要綱を制定し、適正に管理されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する苦情等は、特になかった。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A	
事故の予兆に対する対応	桜の古木が剪定されたことで、枝の落下事故を防止されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを整備し、会議・ミーティング・講習会への参加を通じて対応策を指導するとともに、葬祭事業所長を中心にした対応体制を確立されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	施設の性格上、地域に開かれた運営は難しい。	—	—	—	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度の立川市斎場利用申請件数は314件となり4件減少しました。利用の内訳は、業者葬儀利用件数84件(前年79件)、市営葬儀利用件数282件(前年279件)で市営葬儀の内訳は斎場利用葬儀198件(前年199件)、自宅葬儀1件(前年0件)、直葬83件(前年80件)の利用件数となりました。 事業収支の収入につきましては、管理代行収入・葬祭用品売払収入・葬祭関連商品収入のいずれも前年比で増収となりました。特に葬祭関連商品収入の返礼品利用が増えたことが増収の一因となっております。 支出では、東京都最低賃金の引き上げなどによる人件費増加、諸経費高騰による影響もあり増加した科目もありましたが、施設等において大きな不具合もなく修繕費等は抑えられたため収支については1,973,079円のプラスとなりました。 令和7年度におきましても葬儀の小規模化、人件費・物価高騰などにより立川市斎場の運営は厳しい状況になると思われますが、当センターとしましては、多くの市民に市営葬儀を利用して頂くため一層の周知・サービスの向上と効率的な管理運営に努めてまいります。				
施設担当課評価	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
	葬儀規模の縮小・家族葬や直葬の増加といった動きが継続しており、市内には葬儀業者も多くあることから、安価な葬儀プランによる獲得競争が起きている。こうした状況に対応するために、現地(斎場)や各地の学習等供用施設等における説明会を数多く開催し、市内全戸に対する市営葬儀のチラシ配布等により、民間葬儀社と同等の葬儀を安価に行うことができる市営葬儀のメリットを積極的にPRし、利用促進されている。また、通夜振る舞いの食事会も説明会に合わせて行い、食事の質についても啓発されている。アンケートの回答結果では、市営葬儀利用者で「斎場を以前から知っていた」が42%となっている。引き続き利用者数の増加に向けた取り組みを期待する。 施設・設備については老朽化が進んでおり、定期的な点検や適宜の修繕等を行いながら使用している状況であるが、令和6年度は不具合も少なく、小規模修繕も1件の対応ですんでいる。施設設備や備品の大きな不具合や事故等が起きた際などを含め、市所管課との連絡、調整は問題なく行われている。 高齢者数は年々増加しており、斎場利用に対する市民ニーズは高く、利用者アンケートにおいても「とてもよかった」「よかった」「とても満足」「満足」の割合が9割程度となっており、価格・待遇両面において市民の福祉サービスとして非常に高い支持を得ていることから、より一層の周知に取り組むことやさらなる効率的な施設管理運営に向けて様々な検討をし、対応されることを期待する。 指定管理者として市民への周知、サービス向上に取り組み、適切な施設整備や効率的な管理運営が行われていることからA評価とする。	A	利用件数は、概ね前年度と同程度の水準となっている。 事業収支は、概ね収支計画どおりとなっており、安定した施設運営がされている。 事業計画書等に基づき、適切に提案内容が実施され、サービス水準が確保されていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市総合福祉センター	非公募	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 立川市社会福祉協議会	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画や設置目的に沿って、適切に管理されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理部門係内での定期的な会議等で、基本的な事項の理解されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	館の利用目的に合わせて公平・公正に利用できるよう、申込み開始時期を設定されている。	A		
事業の継続性の担保	複数名の職員を配置し、業務の共有が行われている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	【センター管理業務】 開所日数:293日 開所時間:8:30～19:00 常勤職員(嘱託)1名、非常勤職員1名 非常勤:時給1,113円(4月～9月) 時給1,163円(10月～3月) 【生活介護支援事業所】 開所日数:243日(知的障害者) 243日(身体障害者) 開所時間:9:00～15:30 正規6名、嘱託10名 非常勤9名:時給1,170円 【高齢者デイサービス事業】 開所日数:243日 開所時間:9:15～16:30 正規1名、嘱託2名 非常勤8名:時給1,218円～(介護職) 時給1,655円～(看護師)	A	基本的事項については、計画通り適切に実施されている。	A
利用状況	【センター管理業務】()内は対前年度比 延べ利用者数:22,323名(107.0%) 【知的障害者デイサービス】()内は対前年度比 延べ利用者数:4,800名(96.1%) 【身体障害者デイサービス】()内は対前年度比 延べ利用者数:2,862名(81.2%) 【高齢者デイサービス事業】()内は対前年度比 延べ利用者数:5,357名(102.2%)	A	職員配置については、事業の運営状況に合わせた配置となっている。	
運営企画	【知的障害者デイサービス】 プール活動、臨床美術、季節行事、避難訓練 【身体障害者デイサービス】 理学療法、作業療法、臨床美術、季節行事、避難訓練 【高齢者デイサービス事業】 体操、書道、音楽、散歩・外気浴、敬老会、クリスマス会、忘年会、新年会、作品展、出前サービス利用、和太鼓の演奏会、富士見町文化祭作品展示、富士見保育園の訪問、踊りの会等	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
			利用者数は、前年度に比べて施設の貸館等の利用は増加している。その他サービス利用では、身体障害者デイサービスがやや減少したものの、概ね前年度と同程度の水準となっている。	
			運営企画は、利用者やその家族のニーズに応え、多くのイベントを実施している。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	【センター管理業務】 収入: 74,479,676円 (うち指定管理料74,470,000円) 物価高騰の影響を受けて、水道光熱費が不足することから指定管理料を補填した。(5,451,000円) 支出: 75,571,073円 事業収支: ▲1,091,397円 【生活介護支援事業】 収入: 123,256,367円 支出: 122,853,719円 事業収支: 402,648円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 【高齢者デイサービス事業】 収入: 53,198,030円 支出: 57,937,865円 事業収支: ▲4,739,835円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし)	A	センター管理業務は、物価高騰の影響により、前年度に引き続き支出が収入を上回っている。 高齢者デイサービス事業は、前年度と比べ収入は増えたものの、職員の処遇改善加算等による人件費の増加の影響により、支出が収入を上回っている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	事業活動包括保険 支払限度額: 1事故3億円 保険期間中の上限なし 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	適正にリスク分担して対応されている。	
第三者への委託状況	プール運営業務、警備業務、自家用電気工作物 保安全管理業務、プール可動式床システム保守点検、消防用設備保守点検、防火設備定期点検、発電設備保守点検、設備運転管理、空調設備保守、衛生設備保守、建築物環境衛生管理、エレベーター保守点検、自動ドア保守点検業務、清掃業務、送水管防食装置保守点検業務、中央監視盤保守点検、建築設備定期検査業務、除草作業業務、樹木剪定作業業務、給排水衛生設備清掃及び産業廃棄物収集運搬業務、産業廃棄物(汚泥)処理業務、産業廃棄物(廃プラ・金属)処理業務、一般廃棄物(可燃ごみ)処理業務、プール等受付業務、運営一般管理、送迎運行業務、電話交換機設備保守	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇マニュアルに基づき、適切に対応するとともに、職員ミーティングにおいて共有されている。	A	アンケートにおいて、職員の評価も高く、接遇に関しては、良好に行われている。 各種法令を遵守するとともに、関係組織に加盟し研修等に参加されている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果が公表されている。 施設利用についての広報・情報提供は適切に実施されている。	A
マニュアルの整備	接遇マニュアル、電話受付マニュアル、出退勤時館内点検・手順マニュアル、介護職員業務マニュアルを整備し、適切に対応されている。	A		
研修・教育の実施状況	年5回全体研修を実施。別途、階層別、業務別研修を実施。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的な報告のほか連絡・調整を月に数回行っている。また、非常時等は、ただちに市へ連絡する体制が取られている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回実施し、公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	ホームページに施設案内・事業所を事業ごとに掲載されている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書が公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用申し込み日を定めることで、公平・公正な利用が確保されている。	A		
業務の点検	常に点検されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A	清掃や施設・設備の保守点検は、事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕については、緊急性や優先度を判断しつつ、迅速に対応されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A			
保安・警備	適切に実施されている。	A			
小規模修繕	地下一階3番警戒配線調査改修費、破損タイルモルタル補修工事、外部フェンス支柱補強工事、外部フェンスパネル復旧工事、真空ヒーター部品交換、ドア修繕(2階デイスービストイレ)、ドレンポンプ交換、ボランティアルーム空調機修繕、美和シンダー分解修理、空調室内機分解洗浄(エラーP5対応)、中央監視装置消耗品修繕、照明修繕6台、排煙窓ハンドル、避難口誘導灯交換、消火器交換、汚水ポンプ・雨水ポンプ電子サーマル交換作業修繕、1階流し台水栓分解図面及び部品品番調査、鋼製建具修繕工事、トイレ修理 1F女性トイレ便座パッキン交換、生活介護 手洗い場排水管路詰まり修繕作業、プール排水口詰まり修繕作業(切り分け作業含む)、プールのろ過装置修繕 塩素注入ポンプ交換、ブラインド修繕、トイレブース補修工事、擁壁修繕工事、トイレ配管訪問調査、絨毯敷き詰め工事	A			
備品管理	適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A	立川市社会福祉協議会個人情報保護規程により、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A			
適正な管理	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A			
再委託の禁止	個人情報に関する再委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	職員会議等の場において、個人情報保護規程を周知されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	立川市社会福祉協議会職員参集マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを定め、立川市及び関係機関との連絡体制を整備している。 避難訓練については、全館で年2回実施。生活介護支援事業所のコスモスにて12回、マンボウにて12回実施。高齢者デイスービスにて1回実施した。	A	災害発生時や事故発生時に備え、避難訓練を定期的実施し、体制が構築されている。		
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		

(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川市社会福祉協議会として、関係機関との連携を強化し、地域福祉の推進拠点として施設を有効に活用している。また、自治会の各支部会訪問などを実施することで地域課題を把握し、施設運営に生かしている。	A	積極的に地域や関係機関と連携されている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
前年度と比較し貸館の利用者数は増加した。法令等を遵守し、概ね実施計画に基づき管理・運営を行うことができています。 総合福祉センターの館内利用は、ボランティアや市民活動、介護、権利擁護、生活困窮等、多様な市民の来所相談が多い。また、市内障害者団体や市民グループの会合、介護支援専門員等の各種研修会や連絡会、市内関係機関が集まる地域ケア会議等において、幅広く地域福祉推進のために利用されている。 高齢化に伴い、設備の不具合も生じてきているが、その都度、対応可能範囲の修繕を行った。今後も市民にとって足が運びやすく、快適に利用できる総合福祉センターとなるよう、館内設備の改善やホスピタリティあふれる対応に取り組んでいきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
施設の維持管理については、各種マニュアルを整備し日々適切な業務執行が行われている。施設の老朽化に伴い設備等の不具合が多く発生しており、小規模修繕の対応頻度が多くなっている。修繕対応は、その都度実施し安全性を担保しており、利用者に影響がでないよう適切な対応がとられている。 総合福祉センター内の貸館、プールは制限なしで営業し、全体的に利用者が増加した。身体・知的障害者デイサービスについては、退所者がいたこともあり利用率は減少している。高齢者デイサービスは積極的に新規利用者の獲得に向けて取り組んだが、入院やショートステイ利用者が一定数いたため、利用者は微増にとどまっている。高齢者デイサービスの事業収支はなかなか改善できない状況が長く続いているため、課題や要因を分析し、さらなる利用者増に向けて対応をとっていくことを期待する。 様々なサービス提供やイベントの実施等、利用者や家族のニーズに応える活動を実施しており、障害者や高齢者が地域で安心した生活が送れることに寄与している。 利用者アンケートでは、施設等の利用しやすさや職員の接遇について良好な結果が出ており、引き続き、利用者に寄り添ったサービス提供を期待する。 全体としては、市や関係機関と問題なく連絡、調整を行い、地域における社会福祉の推進を図るという社会福祉協議会の役割を生かした良好な施設管理運営がなされ、地域等との連携がとられていることから、A評価とする。		A	利用者ニーズ等に応え、多くの運営企画が実施されている。 安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 積極的にイベントの実施などに取り組み、地域の福祉向上に貢献している。 事業計画書等に基づき、管理運営及びサービス提供が実施されていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柏地域福祉サービスセンター	非公募	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 至誠学舎立川	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	立川市との基本協定に基づき設置目的に沿った通所介護事業の管理運営のために、年度事業計画を作成し、実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	指定管理者としての業務内容を年度事業計画に明記した上で、日々の業務連絡会や朝礼等において職員に対し説明がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法・関連法令を遵守した人員・運営基準に則り運営されている。具体的なサービス提供に当たっては、介護支援専門員の作成する「居宅サービス計画」に基づき「通所介護計画」を作成し、利用者の同意の上でサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	新任・現任全職員を対象にした勉強会の開催、新任職員を対象にした研修の実施、業務チェックシートを活用した業務の質の担保等が行われている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般型通所介護(含介護予防)309日 認知症対応型通所介護309日 営業時間：8:30～17:30 (サービス提供時間 9:30～16:45) 職員配置:24人(正規3人、契約社員22人) 時給：介護職 1,180～1,280円 看護師・准看護師 1,470～1,770円 理学療法士・作業療法士 2,020円	A	基本的事項については、事業計画通り適切に実施されている。 利用者数は、前年度と比較して一般型通所介護がやや減少したが、全体としては概ね同程度の水準となっている。 事業提案書等に基づき、四季折々の行事を企画・実施し、利用者から好評が得られている。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護(含介護予防):5,029人(97.8%) 認知症対応型通所介護:3,161人(101.0%) 一般通所介護は近隣にリハビリ特化型デイやデイ併設のサービス付高齢者住宅などが増えた影響もあり、前年度を下回ったが、認知症対応型通所介護は前年度を上回った。全体としては継続的に高い稼働率を確保することができている。	A		
運営企画	夏祭り、長寿お祝い会、作品展、初詣、豆まき等の行事が実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:102,682,426円、支出:97,404,730円 事業収支:5,277,696円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:76.24% 一般通所介護の利用実績は前年度を下回ったが、認知症対応型通所介護の利用実績が前年度を上回っており、事業収支が安定している。	A	事業収支は収入が支出を上回っており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。 医療介護フェスでの医療との連携や、市主催の検討会議に委員として参加するなど、積極的に取り組まれている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:5,000万円(特約付1億円) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務、空調設備及び給湯設備保守点検、消防設備保守点検、床・窓ガラス清掃、機械警備、自動ドア保守点検、入浴用リフト保守点検	A		
新たな取り組みの状況	医療介護フェスでは医療との連携に取り組み、また、市主催の介護人材等確保のための検討会議では、委員として参加することで、介護人材確保に向けて積極的に行われたことを評価する。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	「ホームの手引き」に基づき適切に対応されている。 アンケートでは、利用者・家族の方々全員から「満足」「まずまず満足」と評価されている。	A	多様な業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 毎日業務終了後、自己点検票にて業務点検が行われている。 利用者アンケートを年1回実施し、利用者・家族へ発行している「柏だより」にて結果が公表されている。	A
マニュアルの整備	ルーチン業務マニュアル、相談員業務マニュアル、配膳マニュアル、服薬手順マニュアル、連絡係業務マニュアル、感染予防対策マニュアル、送迎マニュアルなどが整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	職場内研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	月次報告や随時の報告が行われている。非常時・事故等の連絡体制は、取り扱い要綱に基づき実施されている。	A		
利用者アンケート等の実施	アンケートを実施し、利用者・家族へ発行している「柏だより」にて結果が報告されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用者用・ケアマネジャー用のパンフレットを作成し、施設見学時等に渡しての説明やHPの公表もされている。	A		
事業計画・報告書の公表	閲覧用として施設内に設置されている。	A		
公平・公正利用の確保	介護保険法を遵守し、公平・公正にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	毎日業務終了後、自己点検票にて行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	感染症予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め、日々の清掃業務の中で消毒が行われている。環境美化担当職員が定められている。	A	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒が行われている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	年度計画やマニュアルに基づき適切に保守点検が行われている。	A		
保安・警備	保管箱を設置し、鍵が管理されている。夜間は委託により機械警備を行い適切に実施されている。	A		
小規模修繕	ロビーや活動室などの修繕を行い、施設を適切に維持されている。	A		
備品管理	備品台帳を作成・管理し、年1回確認作業が実施されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人「個人情報に関する基本規程」に則り、管理人が監督をしている。	A	個人情報に関する取扱い、法人で定められた「個人情報に関する基本規程」に基づき対応されており、年に1度の職員研修も実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報の保護に関する法律施行条例を遵守し、日々の業務が遂行されている。	A		
適正な管理	法人「個人情報に関する基本規程」「個人情報に関する文書等管理規程」に基づき適正に管理されている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A		
研修・教育の実施	年1回の研修会が実施されている。	A		
個人情報に関する取扱いについて	法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	車で利用者を迎えに行った際、職員と利用者の家族で支えながら利用者が乗車したところ、車ステップに左足脛をぶつけ出血した。職員が直ぐに救急車を呼び家族付き添いで病院受診され、大事には至らなかった。デイサービスの利用再開後は、ステップ乗車でないタイプの車に変更し再発防止に取り組まれている。	A	利用者が迎えの車に乗車した際にけがをする事案が発生しが、応急対応や事後の再発防止策は適切に実施されている。 日常的な事故防止対策の取り組みは、適切に実施されている。 マニュアルや各種訓練を通じて事故防止対策に取り組まれている。	A
事故の予兆に対する対応	「ヒヤリ・ハット報告書」に基づき、事故防止の取り組みが行われている。また、送迎ドライバーによる「送迎連絡会」を実施し、送迎における事故を防止する取り組みが行われている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	状況を分析し、事故の発生を未然に防ぐための対策が講じられている。			
事故防止対策の取り組み状況	「ホームの手引き」「柏センターセクションマニュアル」に基づき、事故防止の取り組みが行われている。年3回の防災訓練が実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域包括支援センター等と関係機関との連携を行い、地域のニーズに応えている。地域住民から緊急要請があった際の職員派遣、認知症高齢者の徘徊対応、障がい者への対応など、地域貢献を行うなど地域住民との信頼関係を構築していることを評価する。	A	地域の自治会・地域包括支援センター等との連携を行い、地域のニーズに応えている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
今年度は新型コロナウイルス等の感染症に大きな影響を受けることなく、趣味活動、年中行事、ボランティア活動など新型コロナウイルス感染拡大前の事業運営スタイルに戻して、営業を継続することができた。 利用者人数については、近隣にリハビリテーション特化型デイサービス、デイサービス併設のサービス付き高齢者住宅などが増えたこともあり、通所介護は年間平均59.23%と昨年比約1.21%ダウンと稼働を下げる結果となり、厳しい経営環境が続いている。一方で認知症対応型通所介護は、近隣に競合他社が少ないこともあり、前年度比1.13%アップと稼働を上げる結果となり、年間平均85.24%と引き続き高稼働率を維持することができた。 法令順守については、行政の集団指導、立川市通所サービス事業者連絡会への参加等を通じて、日頃の事業運営の振り返りを行うと共に、最新情報を入手して、適切な事業運営が実施できるように取り組んだ。 立川市から指定管理を受けている地域福祉サービスセンターの役割として、地域で高齢者が安心して暮らるように通所サービスの提供に加えて、地域のよろず相談、見守り活動、ボランティア活動など、引き続き積極的に地域社会に貢献できるよう努めていきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
令和6年度は新型コロナ感染症拡大前の事業運営スタイルに戻して営業を継続できたとのことであるが、これは感染症対策をしっかりと講じていた結果と思われる。一般型通所介護は近隣にリハビリテーション特化型デイサービス、デイサービス併設のサービス付高齢者住宅等が増えた影響もあり前年比2.2%減となったが、認知症対応型通所介護は昨年比1%増となり、高稼働率を継続している。令和7年3月に実施した利用者アンケートの結果を見ると100%の方から「まずまず満足」以上の評価を得ていて満足度の水準は高く、家族からも高評価を得ている。法令遵守のところでは、市や東京都の集団指導を管理者や相談員が受講することで、介護保険制度で通所介護に求められている事項を再確認している。ケアサービスの維持・改善の所では、利用者の身体状況に変化があれば家族やケアマネに報告し、その日の連絡会で介護手順やケア方法を職員で検討し最適なケアサービス提供できるよう取り組んでいることについても高く評価することができる。以上のことから総合評価をAとする。	A	利用者数は一般型通所介護が前年度から僅かに低下したが、認知症対応型通所介護は高い水準を維持しており、事業は安定している。	A	
		四季折々のイベントや利用者のニーズに合わせた行事が展開されている。		
		利用者が迎えの車に乗車する際にけがをする事案が発生したが、応急対応や再発防止の取り組みは適切に行われている。		
		事業計画書等に基づき、適切に事業が運営されていると判断し、A評価とする。		

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣地域福祉サービスセンター	非公募	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 恵比寿会	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	運営方針・規定に基づき、人員配置や施設管理が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入社時に施設の説明や地域特性が説明されている。第三者評価機関監査を実施し、目的に沿った取り組みが行われているか調査し改善につなげられている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市内の利用希望者に適切に対応できるように、居宅事業所と連携が緊密にされている。	A		
事業の継続性の担保	専任の機能訓練指導員(理学療法士)を配置し専用職種の指導のもとに在宅生活を支援し、継続に務めるための業務平準化がされるようマニュアルの作成と更新がされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:一般型通所介護(含介護予防)255日 認知症対応型通所介護308日 営業期間:8:30～17:40(サービス提供時間:9:00～17:00) 職員配置:24名(正規:5名 契約:19名) 時給:介護職 1,163～1,165円 介護福祉士 1,177～1,255円 看護師・准看護師 1,956円 その他職員 1,163円 障害者雇用での自立訓練対象者 1,163円	A	基本的事項については、事業計画通り実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護(含介護予防):7,665人(103.9%) 認知症対応型通所介護:2,083人(131.9%) 利用者数合計:9,748人(108.8%) サービスのブラッシュアップにより、新規利用者の獲得に取り組んでいる。特に認知症デイは楽器の演奏、作業療法等により個別性、安心を重視したケア提供を行い利用者が増加している。	A	利用者数はいずれも前年度を上回っており、特に認知症対応型通所介護型が大きく増加している。 複数回の外出イベントを含めて、様々な企画や活動が実施されている。	
運営企画	工夫を凝らした活動を提供したり、外出イベントを4回実施して前年度同様に活動的に運営を行ったことを評価する。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:113,489,689円、支出:101,109,101円 事業収支:12,380,588円(利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:77.51%	A			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	損害賠償保険 支払い限度額:5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	事業収支は収入が支出を上回っており、安定した施設運営がされている。		A
第三者への委託状況	電気設備保守、警備設備保守、清掃業務、消防設備点検、貯水槽点検、自動ドア保守、リハビリ機器点検、植栽せん定・除草を適切に実施した。	A	適正にリスク分担して対応されている。		
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者、来所者への挨拶がされている。言葉使いに配慮し、マナー全般においては概ね好評である。	A			
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置するとともに内部監査が実施され、適宜見直しながら実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	法人全体やセンター独自の勉強会や研修、ミーティング等が実施されている。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。		
所管部署との連携・連絡	緊急連絡の体制を整備し、適宜、市と連絡・調整されている。	A	勉強会やミーティングを通じ、教育等が意欲的に実施されている。		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを年1回実施し、施設内掲示・ホームページ掲載等により結果が公表されている。	A	利用者アンケートを年1回実施し、施設内掲示・ホームページ掲載等により結果が公表されている。		A
広報・PR等の利用情報の提供	広報紙やホームページ、9月にはInstagramを開設することで、施設の利用サービス内容や利用者の情報を発信し、施設の認知度アップや新規利用者獲得に向け啓発が行われている。	A	第三者評価制度を実施し、業務の改善に取り組まれている。		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設内に掲示し、公表されている。	A			
公平・公正利用の確保	要介護度による区別を行わず、順次希望者が受付られている。	A			
業務の点検	第三者評価制度を実施し、改善の取り込みが行われている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	清掃等の年間計画に基づき実施されている。	A	施設状況を把握し、対応しながら管理・運営が行われている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	利用者の安全を第一に施設状況を把握し、設備維持管理計画に基づき実施されている。	A			
保安・警備	機械警備の機器を適切に保守管理されている。定位置での鍵を保管し、鍵保持者はチェック表で管理されている。また、毎日チェック表で施錠等の保安点検が行われている。	A			
小規模修繕	各所を修繕し、施設を適切に維持されている。	A			
備品管理	備品台帳を作成し管理されている。備品は良好な状態が保持されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	法人の個人情報管理規定により、各部署責任者を明確化し式・監督が行われている。	A	立川市個人情報の保護に関する法律施行条例を準用して適正に管理するとともに、学習会等で職員への周知が行われている。	A	
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報の保護に関する法律施行条例が準用されている。	A			
適正な管理	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適正に管理されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人学習会にて、再確認がされている。また、新人には入社時に研修が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適切に運用されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	利用者が施設内でトイレを利用時に転倒した事案と送迎車への乗車時に転倒した事案が発生したが、いずれも迅速かつ適切な対応がとられている。	A	利用者の転倒事案については、いずれも迅速かつ適切な対応がとられている。 日常的な事故防止への取り組みは行われている。 マニュアルや各種訓練を通じて事故防止対策に取り組まれている。	A	
事故の予兆に対する対応	インシデント、アクシデント報告書を作成し、法人本部にてリスク会議で確認して、課題検討するとともに、全職員で情報共有され事故報告が適切にされている。2週間後の改善策の振り返りも行いながら再発防止が行われている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき緊急連絡体制が確立されている。年1回のセンター全体での避難訓練、自営消防訓練にそった毎月の訓練が実施されている。また、利用者とともに炊き出し訓練が実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域の医療機関との連携が取れており、センター内の居宅介護事業や地域包括支援センターとも連携されている。また、施設見学やボランティアの受け入れなど、地域との結びつきを重視されている。利用者とも積極的に関わり関係性が取れている。	A	積極的に地域や関係機関と連携されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題なし。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
・一般型(総合)の稼働状況が令和5年度より上昇した。令和5年度の1日利用者数平均が28.7人だったが、令和6年度は29.9人となっている。新規利用者獲得は50人で令和5年度の49人と比べほぼ変わらないが、一週間に複数回利用する方が令和5年度より増えたことにより、利用者が増加したと考える。また、利用者数増加を見据え、令和6年5月から一般型定員数を35人から40人に変更した。 ・認知症対応型の稼働状況も令和5年度より上昇した。令和5年度の1日利用者数平均が5.1人のところ、令和6年度は6.8人となった。令和6年度で一般型から利用者6人が認知症対応型に移行したことや、複数のケアマネジャーに認知症対応型の活動内容や活動室等の環境を見学してもらう機会を実施。見学されたケアマネジャーから3人の新規利用依を受けしたことなどが利用者増加の要因の一つと考える。 ・外出イベントを年度通じて定期的を実施。利用者が楽しみを感じるほか、長距離を不安なく歩くなど、利用者にとって日頃の機能訓練の成果を感じる機会となった。 ・防災訓練を毎月実施している。うち8月は水消火器を用いた消火訓練、11月は火災想定による避難訓練を消防署に通達の上、実施した。両訓練とも利用者が参加された。				
施設担当課評価	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
一般型(総合)、認知症対応型ともに前年度より稼働状況が上昇している。一般型の新規利用者の獲得は前年度とほぼ変わらなかったが、一週間に複数回利用する方が増えたことが要因とのことであった。認知症対応型は、複数のケアマネジャーに活動内容や活動室の環境を見学してもらう機会を設けたことが利用者増加に繋がった要因と考えられるとのこと。また、外出イベントを定期的に行い、機能訓練の効果を測定する機会を多くする取り組みを行っている。Instagramの開設やフェロー宴など、新たな取り組みも実施してしていた。利用者が自宅での生活が継続できるサービスを提供していることや利用者が笑顔で生き生きと日々過ごせるレクリエーションの提供などを実施したことは、通所サービス事業所として高く評価することができる。以上のことを踏まえ、総合評価をAとする。		A	利用者数はいずれも前年度と比較して増加しており、安定した施設運営がされている。 利用者の転倒事案が発生したが、迅速かつ適切に対応されている。 事業計画に基づき概ね適切に管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂地域福祉サービスセンター	公募	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 敬愛会	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置の目的に沿い、概ね計画通り適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	スタッフミーティングの度に基本的な事項の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法を厳守し、利用者の公平・公正利用が確保されている。	A		
事業の継続性の担保	職員の働きやすい環境構築のため管理者による面談や研修等を行うことで退職者も少なく業務が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般型通所介護(含介護予防)256日 認知症対応型通所介護256日 営業時間：9:00～18:00 (通所サービス提供9:30～17:00) 職員配置：11人(正規5人、契約6人) 時給：介護職(無資格)1,163円 介護職1,190円 介護福祉士 1,290円 看護師 1,600円 その他職員 1,163円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、事業計画通り適切に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護(含介護予防)：3,894人(134.4%) 認知症対応型通所介護：1,657人(154.1%) 体組成計や体力測定を定期的実施し、脳トレにつながるレクリエーションや音楽を活用した活動等、利用者の増加につながる効果的な取り組みが行われている。	A	利用者数は一般型・認知症ともに前年比で大きく増加している。 四季に応じた行事が企画・実施されている。	
運営企画	外出行事や音楽療法を含め、1年を通して四季に応じた行事が実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:62,958,408円、支出:55,724,487円 事業収支:7,233,921円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:75% 収支はプラスで事業運営は確保されており、地域 の高齢者へサービス提供が行われている。	A	事業収支は収入が支出を上回っており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。 認知症予防のためのトレーニングツールや歩容測定ツールの導入など、新たな取り組みが行われている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	警備、自家用電気工作物保安管理、清掃、受水槽 清掃、消防用設備保守点検、防火対象物定期点 検、空調設備保守点検、建築設備保守点検、植木 せん定、ごみ処理、水道検査	A			
新たな取り組みの状況	認知機能のチェックとトレーニングが出来るツール を活用し、運動効果の把握に取り組まれている。また、 令和6年5月から歩容測定ツールを導入した 精度の高い体力測定が行われている。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	適切な挨拶・対応等がされている。	A	各種業務マニュアル を設置し、適正に事業 実施されている。 利用者アンケートを年 1回実施し、結果が施 設にて公表されてい る。	A	
マニュアルの整備	業務に応じた様々なマニュアルが設置され、業務 が実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	適宜研修や教育が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	所管部署と連絡・調整・連携がされている。 非常時・事故等の連絡体制が整備されている。	A			
利用者アンケート等の 実施	年1回アンケートを実施し、結果を施設に設置して 公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の 提供	パンフレットや法人ホームページで情報が提供さ れている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設に設置して公表されてい る。	A			
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムが構築されてい る。設置目的以外の利用はされていない。	A			
業務の点検	ミーティング等で業務点検が行われている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画に基づき実施されている。	A	事業計画等に基づき、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	各所を修繕し、施設を適切に維持されている。	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう管理されている。	A	研修・教育を実施している。個人情報に関する取り扱いマニュアルに基づき実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報の保護に関する法律施行条例等の規定に基づき、秘密の保持がされている。	A		
適正な管理	適正に管理されている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	適切に研修・教育が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報の取り扱いに関するマニュアル等が整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	帰宅願望の強い利用者が、職員が気づかないうちに施設を出て自宅に帰ってしまう事案が発生した。このことを受けて、玄関の開方式を変更するなど再発防止策が講じられている。	B	利用者が施設外に出てしまった事案は、結果として大事には至らなかったが、重大な事故につながるおそれがあった。再発防止策を適切に実施してほしい。 マニュアルや各種訓練を通じて事故防止対策に取り組まれている。	B
事故の予兆に対する対応	事故・ヒヤリハットを月一回の職員会議に報告し、各職員が原因・対策を確認されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	インスリンの自己注射が必要な利用者が、食事の直前になって注射をしていないことに気づくということがあった。万が一の事故を未然に防ぐために、食事前の職員による声掛けや自己注射の時間の記録等が行われている。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みが行われている。また、年1回消火器訓練、その他消火模擬訓練も実施し、消防法に乗っ取った訓練が年2回以上実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	関係機関との連携を行い、地域のニーズに応えている。 ひと涼みスポット・認知症カフェ・体操教室等地域住民への場所の提供を行い地域資源の案内等地域貢献されている。	A	積極的に地域や関係機関との連携を図られている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
受託3年目となり地域や近隣居宅事務所での知名度が上がった。お陰で当デイの特徴が口コミで伝わるようになり、当デイと親和性の高いご利用者の紹介を得ることができるようになった。一般デイ利用者が認知デイに移籍することによって認知力低下時も継続した介護を提供できるようになった。一般デイ利用者と認知デイ利用者が可能な限り同じ空間で過ごし、デイで過ごす時間がすべての利用者にとって安全な小社会となることを目指している。身体・心の健康にとどまらず、心の健康を維持できる施設であることを目指し続ける。この考えが多くの利用者や家族に理解してもらいつつあることを実感している。				

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第1ブロック)	公募	交通企画課
指定管理者名	指定管理期間	
CYCLE PARK立川共同企業体	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	条例・規則や事業計画に基づき、適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	自転車等駐車場としての施設の設置目標が理解されている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	WEB申込や決済を可能とするシステムの導入や申込者多数の場合の抽選などにより、公平・公正な利用が確保されている。	A			
事業の継続性の担保	新人研修後も常に経験者がフォローする体制がとられている。雇用の安定のため、勤務シフトの対応にも取り組んでいる。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間 職員数:地区責任者1名、統括場長1名、管理員61名 給与:契約社員1,250円 開館日数・時間、職員の配置など実施計画に基づき、適切に実施されている。	A	基本的事項については、仕様書及び事業計画通り適切に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A	
利用状況	【定期利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 4,030台 (103%) バイク合計 60台 (99%) 立川駅南口西:自転車499台 (102%) 立川駅南口第三:自転車129台 (99%) 立川駅南口第四:自転車135台 (97%) 立川駅南口立体:自転車255台 (96%) 立川駅南口第一タワー:自転車189台 (99%) 立川駅南口第二タワー:自転車267台 (99%) 立川駅北口第一:自転車726台 (106%) 西地下道:自転車476台 (101%) 西国立駅第一:自転車68台 (99%) 西国立駅第二:自転車107台 (108%) バイク11台 (97%) 西国立駅第三:自転車104台 (106%) 西立川駅:自転車179台 (96%) あけぼの口南臨時:自転車391台 (103%) 曙町一丁目東:自転車438台 (107%) 曙陸橋東:自転車69台 (150%) バイク49台 (100%)	A	基本的事項については、仕様書及び事業計画通り適切に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
	【一時利用 平均利用台数】()内は対前年度比 自転車合計 4,429台(98%) バイク合計 99台(115%) コトリンク:自転車738台(113%) バイク94台(116%) 立川駅南口立体:自転車186台(92%) 立川駅南口第一タワー:自転車26台(111%) 立川駅南口第二タワー:自転車66台(152%) 立川駅北口第一:自転車257台(92%) 西地下道:自転車240台(100%) 西国立駅第二:自転車214台(93%) バイク5台(100%) 西国立駅第三:自転車112台(102%) 西立川駅:自転車126台(108%) 立川北駅下:自転車1,432台(93%) 立川北駅西臨時:自転車155台(96%) あけぼの口南臨時:自転車243台(98%) 立川駅北口西地区:自転車675台(100%)	A	利用台数は、定期利用と一次利用ともに、前年度と比較して概ね同程度の水準となっている。	A
運営企画	利用者へのサービス向上に資する事業が実施されている。	A	事業収支は収入が支出を上回っており、安定した施設運営がされている。	
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:284,626,227円 支出:274,891,394円 事業収支:9,734,833円 人件費比率:49.8% 使用料収入:180,003,828円(前年度181,514,434円)	A	適正にリスク分担して対応されている。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	動産保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応している。	A		
第三者への委託状況	迅速な対応が可能となるように連携されている。	A		
新たな取り組みの状況	利用者サービスの向上に寄与する提案が行われている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に対応されている。	A	各マニュアルが整備され、適切に業務が行われている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を接遇の参考としている。 公平・公正な利用が確保されている。	A
マニュアルの整備	マニュアルを作成し、整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	研修を実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月、業務調整会議を開催し、緊急時の連絡体制の整備がされている。	A		
利用者アンケート等の実施	アンケートを実施し、公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行し、周知されている。	A		
事業計画・報告書の公表	公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正な利用がされ、また、目的外の利用となっていない。	A		
業務の点検	適切に実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	一部の施設で除草に関する問題があったが、全体としては仕様書に基づき適切に実施されている。	A	仕様書等に基づき、適切に管理されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設、設備の保守点検等については、全体的に仕様書に基づき適切に実施されている。不具合等が発券された場合の対応も適切になされている。	A			
保安・警備	施設内の巡回等により、未然防止に努めているほか、仕様書のとおりに実施されている。	A			
小規模修繕	仕様書等に基づき、適切に修繕が行われている。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報の取り扱いに関する研修が実施されている。	A	研修の実施により、個人情報の管理等について適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施されている。	A			
適正な管理	管理員向けの緊急連絡体制の確認及び個人情報の取り扱いに関する研修が実施されている。	A			
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A			
研修・教育の実施	個人情報保護マニュアルを配備し、個人情報の取り扱いに関する研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報の取り扱いに関するマニュアルを全管理室に配備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	管理員の高圧的な対応による利用者からの複数のクレームがあったが、当該管理員に対する指導やその後のフォローは適切に行われている。精算機の設定誤りにより一時利用料金を正しく徴収できていなかった事案は、利用者及び市に対して損害を与えた。市への使用料納付金過不足の事案については、公の施設の管理運営の認識が不足していたと思われる。いずれもあってはならない事案であり、再発防止策の徹底を求める。	B	管理員の対応に関する苦情については、当該管理員に対する指導等が適切に行われている。 利用料金の誤徴収や市への使用料納付金誤りは、公の施設としての信頼性に関わる事案であるため、徹底した再発防止策を求める。 マニュアルや各種訓練を通じて事故防止対策に取り組まれている。一方で、料金誤徴収等の事案から、管理体制の見直しが必要となっている。	B	
事故の予兆に対する対応	料金誤徴収や市への使用料納付金が過不足する事案が発生し、再発防止策を講じて事故の予防に取り組んでいる。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	一時的に利用者がEV内に閉じ込められる故障があったが、適切な対応により利用者への影響を最小限に抑えている。				
事故防止対策の取り組み状況	指定管理者が持つノウハウや実績などにより、事故の発生予防、発生時の対応がされている。また、災害発生時については、マニュアルの整備、訓練等による対応がされている。一方で、料金誤徴収等の事案から管理体制に課題があることが表面化しているため、再発防止に向けた見直しが必要となっている。	B			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	施設周辺の清掃等の実施や放置自転車クリーンキャンペーンへの参加等により地域との連携がされているほか、意見・要望等を把握し、改善に取り組んでいる。	A	地域との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
情報提供	WEB上で一時利用の利用・収入状況が確認できるクラウドサービスのアカウント提供(北口西地区、立川北駅下、西地下道・南口立体、西国立駅第三、西立川駅)			
自転車駐車場の建て替えについて	南口第一タワー及び南口第二タワーについて、今後かかる費用を算出するとともに共同企業体代表団体事業による施設の建て替えを提案された。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
・指定管理者の変更に伴い、立川市様はじめ前指定管理者と密に連携をとり、シームレスな引継ぎに努めました。 ・定期利用のWEB申込・決済システム導入及びほぼ全施設の駐輪機器(電磁ロック・自動ゲート等)の入替を実施しました。 ・恒久的な掲示物や路面標示を積極的に設置しました。 ・定期利用者に対する自転車保険の無料付保及びヘルメットロックの無料配布や定期利用のWEB申込・決済システムの導入など、積極的な利用者サービス等を実施しました。 ・西国立駅第一及び第二有料自転車駐車場において、料金の徴収漏れ及び過徴収が発生しました。機器の入替に際し、機械メーカーが料金設定を誤ったことによるもので、今後機器入替に当たっては、機器メーカーに対し、工場出荷時及び現場設置時の社内検査の徹底を指示するとともに、代表団体の担当職員も供用開始前に各種設定及び機器動作について詳細に検査・確認を行います。また、工事スケジュールがタイトになったことも影響したものと考えられるため、工程管理を十分に行うことで、再発を防止してまいります。 ・貴市への利用料金の納付に際し、納付誤り(過大納付(6件、275,510円)及び過少納付(4件、87,110円))がありました。事務担当の人員増員、体制及びチェックの強化を図るとともに月次報告だけでなく、日次報告も加えたエビデンスを貴市に提出することで再発防止を図ります。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
指定管理期間の初年度で、19箇所の自転車等駐車場の管理運営が行われている。施設利用上の支障は概ね無く、定期利用のWEB申込・決済システムを導入するなど利用者サービスの向上に務めた姿勢は評価できるが、機器入替時の設定誤りによる料金誤徴収は重大な事故で、利用者と市に損害を与えた。また、市への利用料納付金に過不足が生じた事案については、事務処理ミスが主な要因であり、公の施設の管理運営を担っているという意識が希薄であったのではないかと疑わざるを得ない。その他にも管理員の利用者対応に関するクレームが複数あった。いずれの事案についても今後の再発防止に取り組み、適正な管理運営を行うことを強く求める。		B	利用台数は、定期利用と一次利用ともに、前年度と比較して概ね同程度の水準となっている。 料金の誤徴収や市への納付金誤りが複数生じている。 利用者サービスの向上の取組は評価できるが、管理体制の改善並びに職員の接遇向上が必要であると判断し、B評価とする。	B

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第2ブロック)	公募	交通企画課
指定管理者名	指定管理期間	
サイカパーキング株式会社	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置目的に沿って、適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	専任の講師による研修の実施等により、職員の質が維持されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	機械式駐輪機器の導入により、公平・公正に利用できる環境が整備されている。	A		
事業の継続性の担保	事業継続に支障が生じないように、迅速な人員確保、適切な研修の実施等がなされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間 管理員数:統括責任者1名、場長2名、管理員16名 給与単価:時給1,163円、場長には月5,000円の手当	A	基本的事項については、仕様書及び事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【定期利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 1,413台 (101%) バイク合計 44台 (98%) 武蔵砂川駅第一:自転車752台 (99%) バイク23台 (92%) 武蔵砂川駅第二:自転車269台 (107%) バイク21台 (105%) 西武立川駅北口第二:自転車392台 (101%) 【一時利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 818台 (108%) バイク合計 23台 (105%) 西武立川駅北口:自転車255台 (116%) 西武立川駅北口臨時:自転車46台 (98%) 武蔵砂川駅第一:自転車411台 (106%) バイク11台 (110%) 武蔵砂川駅第二:自転車106台 (104%) バイク12台 (100%)	A		
運営企画	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:51,447,000円 支出:47,153,583円 事業収支:4,293,417円 人件費比率:47.8% 使用料収入 51,400,609円(前年度49,240,752円)	A	事業収支は収入が支出を上回っており、安定した施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。 事業計画書に基づく新たな取り組みについて、利用者のサービス向上に努めている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	「産業廃棄物処理」「コールセンター業務」「機械警備業務」「駐輪機器管理業務」「集金業務」を委託している。トラブル発生時等に迅速な対応ができるように連携しており、適切な状況である。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	オリエンテーションや現場指導など、適切に職員の対応がされている。	A	各マニュアルが整備され、適切に業務が行われている。 利用者アンケートを年1回実施し、3施設で掲示している。 入退場ゲートの設置により、公平・公正な利用が確保されている。	A
マニュアルの整備	定期更新機の操作方法、駐輪機器のトラブル対応マニュアルが整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	専門講師による管理員研修会を実施するなど、職員の研修がなされている。	A		
所管部署との連携・連絡	業務調整会議の開催(月1回)、緊急連絡網作成等により、適切に連携がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	管理している全駐車場でも年1回実施し、結果が場内掲示により公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	「駐輪場利用についてのしおり」を作成し、定期利用申し込み時に配布しているほか、ホームページで周知されている。	A		
事業計画・報告書の公表	適切に公表している。	A		
公平・公正利用の確保	入退場ゲートの設置により、公平・公正に利用できるシステムを構築している。また、設置目的外の利用はされていない。	A		
業務の点検	総括責任者により、点検が実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施されている。	A	仕様書等に基づき、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施されている。	A			
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施されている。	A			
小規模修繕	適切に交換等が行われている。	A			
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	管理者研修会において、個人情報管理者による講習を実施し、現地確認が行われている。	A	研修の実施により、個人情報の管理等について適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例の規定に基づき、適切に実施されている。	A			
適正な管理	鍵付き書庫を活用し、適正に管理されている。	A			
再委託の禁止	市の承諾がない再委託を行っていない。	A			
研修・教育の実施	管理員研修会において、個人情報管理者による講習が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	管理員研修会において、個人情報管理者による講習を実施し、マニュアル配布も行われている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 事故の予兆や事故防止対策への取り組みが適切に行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	利用者同士の接触事故防止に向け、自動音声案内機を導入されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	統括責任者からの危険箇所等の報告実施などにより事故防止に努めるとともに、いざというときに備えて現場指導やマニュアルの整備等が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	立川市地域見守りネットワークへの参加や、第一ブロック指定管理者との連携、高齢者の雇用、駐輪場周辺のごみ回収、草刈りなどにより地域連携に取り組んでいる。	A	地域と連携されている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
特になし。					

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
5年間の指定管理期間の初年度となり、立川市自転車等駐車場(第二ブロック)の運営管理に関しては、月間利用者数がほぼ前年度を上回る結果となった。 令和6年度7月から新紙幣が発行され想定以上に流通が早かったが、全現場において新紙幣対応の準備をしていたため、大きなトラブルに発展することなく運営できた。 弊社実施の駐輪場管理員研修会では施設に設置のあるAEDの使用方法を再確認し、人命救助への理解を深めた。 また、西武立川駅北口臨時路上駐輪場では機器設置から9年を経過しており、故障や不具合の原因になるため、駐輪機器一式の入替を実施し利便性向上へと繋がったと考える。			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
令和6年度からの指定管理期間の初年度であったが、前期からの継続事業者であり、安定した施設の運営されている。令和7年度も指定管理者が持つ様々なノウハウを活用し、引き続き適切な管理を行うとともに、多様化するニーズに応えることができるよう努めていただきたい。	A	利用台数は、前年度と比較して、定期利用は同程度の水準を維持、一次利用は自転車・バイクともにやや増加している。 新たな指定管理期間の初年度であったが、継続事業者として安定した運営がされたことは評価できる。 事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市駐車場	公募	交通企画課
指定管理者名	指定管理期間	
タイムズ24株式会社連合体	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に基づき管理運営が行われ、周辺の交通渋滞緩和に貢献されている。	A	公の施設の役割と、市の代行者の立場であることへの理解は深く、適切に業務が行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月、各駐車場責任者が集まり管理運営に関する情報や意見交換が行われ、それを職員に指導・伝達し、職員の意識が向上されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	各駐車場への管制機器等により、公平・公正に利用できる環境が整備されている。	A		
事業の継続性の担保	業務に精通した職員が配置されているほか、職員の交代にも対応できるように業務マニュアルを作成されており、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 リーダー:時給1,380円 一般職員:時給1,280円 人件費は計画通りの額内で適正に実施されている。	A	基本的事項は事業計画のとおり実施された。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用台数は前年度と比較して、時間貸は同程度の水準を維持、定期利用は緑川第五、第六駐車場の新規募集の停止の影響から減少している。	A
利用状況	【時間貸】()内は前年度数・対前年度比 合計180,250台(180,540台・99.8%) 北口第一:146,764台(148,402台・98.8%) 北口第一(二輪):8,665台(9,217台・94.0%) 緑川第五:13,062台(12,941台・100.9%) 緑川第六:11,759台(9,980台・117.8%) 【定期利用】()内は前年度数・対前年度比 合計1,698台(1,827台・92.9%) 北口第一:874台(851台・102.7%) 緑川第五:148台(171台・86.5%) 緑川第六:676台(805台・83.9%) 総料金収入は、171,436,181円(前年度173,155,783円、前年度比99.0%)となった。 前年度の業績と比較し、総料金収入は減少している。緑川第五、緑川第六駐車場の定期契約の新規募集の停止が一因と考えられる。	A		
運営企画	事業計画書に記載の事業は予定通り実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収支計画書による収入計画は、174,200,000円に対し、実績は171,436,181円となった。 支出計画は、52,445,000円に対し、実績は49,959,799円となった。 収益(収入-支出)は計画121,755,000円に対し、実績121,476,382円となった。 納付金については、基本納付金75,000,000円、超過納付金26,394,709円、合計101,394,709円となった。 (前年度は基本納付金75,000,000円、超過納付金20,425,391円、合計95,425,391円) 緑川第五、緑川第六駐車場の定期契約の新規募集を停止し、契約者が減少している中で収支計画は下回ったが、指定管理者選定時に超過納付金の比率を増やす提案がされたことで、前年度以上の納付水準となっている。	A	一部駐車場の定期利用の新規募集を停止する中で、収支計画を僅かに下回ったが、市への納付金は、基本納付金に超過納付金を加え1億円を超えており、概ね適正な水準だった。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	指定管理業務仕様書により、保険に加入している。 自動車管理者責任賠償保険、施設管理者賠償責任保険 1事故・1請求または1補償:5,000万円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	外周誘導、清掃、機械警備、諸設備管理・点検、消防設備点検	A		
新たな取り組みの状況	ポイント交換機については、利用者サービスの向上につながったと考える。その他の取組については、現指定管理期間内での実施が見込まれる。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	研修を実施し、挨拶、接遇、服装、利用者説明等について、接遇は問題なく行われている。	A	窓口業務の研修等、各種研修が実施され、接遇は適切に行われている。 仕様書や業務マニュアルに基づき、適切に業務が行われている。	A
マニュアルの整備	利用者対応等の業務マニュアルが整備され、業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員に対する研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の業務調整会議により情報が共有されている。緊急時の連絡体制が整えられている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートについて適切に実施されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	ホームページ、駐車場案内サイト等により、PRに取り組まれている。	A		
事業計画・報告書の公表	企業のノウハウ等の保護の観点から現地掲示はしていない。	A		
公平・公正利用の確保	全駐車場に管制機器を設置し、公平・公正に利用できる環境が整備されている。	A		
業務の点検	毎月、モニタリングチェックシートを作成し、市へ提出する機会において、業務点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	適切に維持管理されている。	A	適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	適切に保守点検されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	適切に実施されている。	A		
備品管理	適切に実施されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護の重要性が十分に認識され、事故防止が徹底されている。	A	個人情報の管理・研修実施などの体制が整えられている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定に基づき、適正に管理されている。	A		
適正な管理	契約者情報等は、厳重に管理されている。	A		
再委託の禁止	外部委託は市の承諾を得た上で、適正に実施されている。	A		
研修・教育の実施	全職員を対象に研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規程に基づき個人情報保護を実施されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者の車両誤操作による施設内設備への接触事故が1件発生したが、迅速かつ適切に対応されている。	A	施設内で利用者の誤操作による事故が発生したが、適切に対応されている。 各種マニュアルに基づき、事故防止に努めており、大きな事故等はなく、事故防止への取り組みは良好に行われている。	A
事故の予兆に対する対応	適切に安全確認が行われている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	各種マニュアルに基づき、事故防止に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	関係事業者との交通に関する懇談会に参加し、情報交換に取り組んでいる。 駐車場外周の歩道を清掃し、周辺美化に寄与されている。 また、大規模災害発生時に人的、場所的資源を提供できる体制となっている。 市営駐車場としてのイメージアップにつながっている。	A	仕様書で求めている項目ではないが、交通に関する懇談会への参加や周辺美化等に取り組むことで、施設のイメージアップにつながっている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
全体の利用実績につきましては利用台数は昨年比99.7%、利用金額は昨年比99.0%となり、緑川第五、第六駐車場の定期契約の新規募集を停止し、契約者が減少している中でも昨年同様の実績を残すことが出来ました。一方で、提携店舗への利用料請求やサービス券の販売額は減少傾向が継続しており、この点につきましては引き続き周辺店舗に対し新規提携の営業を行うなど、収入額向上に向けて施策を行ってまいります。 管理面におきましては、予算内で各種の修繕を実施し、施設の安全性を高めるとともに、トイレの自動水栓化の実施や、3階、4階にスロープを設置し、段差を解消するバリアフリー推進等、利用者満足度の向上を目指す修繕も実施いたしました。各所で老朽化も目立ってきてはおりますが、今後も委託企業と連携しながら施設の保全に努めてまいります。なお、令和6年度中に大きな事故やトラブル発生致しませんでした。 令和7年度においても貴市と緊密に協議を行いながら定められた業務を確実に遂行して参ります。				
	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
	令和6年度から5年間の新指定管理期間が始まり、指定管理者は前指定管理期間から引き続きタイムズ24株式会社連合体となっている。 初年度となる令和6年度について、時間貸しの利用台数は、180,250台(前年度180,540台、前年度比99.8%)となった。 定期利用の契約台数は、1,698台(前年度1,827台、前年度比92.9%)となった。 総料金収入は、171,436,181円(前年度173,155,783円、前年度比99.0%)となった。 納付金については、基本納付金75,000,000円、超過納付金26,394,709円、合計101,394,709円となった。 (前年度は基本納付金75,000,000円、超過納付金20,425,391円、合計95,425,391円) 収支計画では納付金は、103,053千円とされており、目標金額には達していない。収入は前年度を下回ったが、超過納付金の市への納付割合が変わったため、市への納付金額は前年度より増加している。 全体としては、超過納付金は計画より少なかったものの、基本納付金は協定通り納入している。また、駐車場の営業に支障が出るような大きな事故や苦情はなかった。 緑川駐車場の定期契約の新規募集の停止の影響はあるが、今後も利用者アンケートや、事業計画書に記載されている提案事業を確実に実施していただき、収益向上に努めてほしい。	A	民間駐車場との競合が厳しい状況の中、前年度以上の納付金額が確保されたことは評価できる。 施設内での事故に対しても、迅速かつ適切に対応されている。 事業計画に基づき、概ね適切に管理・運営が行われていると判断しA評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市八ヶ岳山荘	公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社レストラン・ピガール	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市条例、規則、基本協定書等を踏まえ適切に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	ミーティングで職員の教育に努めるとともに、定期的に東京本社の役員が現地に出張して情報を交換することで、設置目的や運営上の注意が共有されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	法令を遵守し、公平・公正な利用が確保されている。	A		
事業の継続性の担保	現地周辺で人材不足の状況であるが、繁忙期や緊急時には東京の店舗の職員を派遣することで、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:365日 開館時間:24時間 職員配置:正社員6名、嘱託3名、パート1名 給与単価:月給22.5万円～47.0万円 パート時給1,590円 適正に事業が実施されている。	A	基本的事項については、実施計画通り実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 9,033人(104.0%) 〔内訳〕 一般利用者 6,172人(110.2%) 学校利用 2,861人(92.8%) 令和6年度は、人数が多く入りきらなかった小学校1校が別の施設で自然教室を行ったため学校利用は減少したが、一般利用者は1割以上の増加となっており、多くの利用者を獲得したことは評価できる。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、コロナ禍以前の水準には戻っていないものの、前年度と比較して一般利用者1割以上増加したことは評価できる。	
運営企画	令和5年度お盆の期間中のみ実施したバーベキューが好評だったため、6年度は期間を広げて実施したことで利用者が増え、引き続き好評であった。また、クレジットカードによる宿泊費の支払いについても、利用者の利便性向上につながった。	A	事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施するとともに、利用者の利便性向上にも取り組んでいる。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:79,130,747円、支出:80,049,316円 事業収支:▲918,569円 ＜収入内訳 指定管理料:63,251,000円 利用料金収入:11,109,500円(施設使用料) その他事業収入:4,770,247円(食事・売店等)＞ 物価の高騰による影響や緊急工事についての指定管理料の補てん等(7,475,000円、上記指定管理料に含む)を行った。	A	事業収支は物価高騰の影響によりマイナスとなっているが、安定した施設運営がされている。なお、光熱費の高騰や施設の緊急工事の影響について、指定管理料の補てんを行っている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	生産物賠償保険 支払限度額:10億円 施設賠償保険に自主的に加入しているほか、協定書に基づき、適正にリスク分担して対応している。	A	適正にリスク分担して対応されている。	
第三者への委託状況	施設保守管理、定期清掃、消防設備保守、定期消毒、自家用電気工作物保守 すべて仕様書にある業務は実行し、申請している以外の業務を第三者に委託はしていない。	A	クレジットカード払いの導入による利用者の利便性向上にも取り組んでいる。	
新たな取り組みの状況	クレジットカードによる宿泊料の支払いができるようにしたことで、これまでは、現金の所持が足りない利用者は麓まで現金を引き出しに行かなければならなかったが、即時に支払いを済ませることができるようになり、利用者やスタッフの利便性が向上した。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に取り組んでおり、利用者アンケートでは「良い」以上の評価が97.9%以上だった。	A	各種マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 接客の取り組みが積極的に行われている。 緊急対応についても所管部署との連絡・連携を密にはかることで、柔軟に対応された。 利用者アンケートでは、利用者からの好評を得ている。	A
マニュアルの整備	衛生管理、災害時対応、消防等の各マニュアルに基づき業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	研修・教育が適切に行われている。	A		
所管部署との連携・連絡	月例報告の他、適宜連絡がされ、自然教室での出来事の共有や施設の破損等による緊急連絡も速やかに行われた。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートが実施され、公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	チラシを配布。ホームページに利用案内や空室情報等を記載し、団体向けに直接の営業活動も行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例等をよく理解し、公平公正な利用に取り組んでいる。	A		
業務の点検	現地職員と十分なコミュニケーションをとりさらなる改善に取り組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書等に基づき、適切に実施されている。 周辺の施設が少なくなり自然教室のハイキング道等も草木が生い茂るため、自然教室前には整備が行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 衛生管理や施設・設備保守は適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。また、緊急性の高い修繕事案についても、市との協議を踏まえて迅速に対応されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。発見した設備の不具合については、市にすぐに報告されるとともに、修理等必要な対応がとられている。	A			
保安・警備	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A			
小規模修繕	亀裂配管修復、暖房機修繕、客室壁紙の張替、体育館浄化槽ブロワの交換、屋外排水桝補修 いずれも的確な修繕が行われている。特に亀裂配管修復は、協定書上は市が対応しなければならぬものの、緊急性の高さや寒冷地での修繕の必要性のため、市による修繕が難しいことから、協議の結果、指定管理者が修繕を実施した。冬場の大雪で凍り付いた大きな岩を移動しつつ、地下の配管を修復する大変な工事であったが、指定管理者と地元事業者で連携することで、迅速な対応がとれている。	A			
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、職員が指揮監督されている。	A	適切に個人情報が管理されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	適正に管理されている。	A			
再委託の禁止	市が承認したもの以外、第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	必要な研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルが整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 マニュアルが整備され、対応体制も確立されている。	A	
事故の予兆に対する対応	故障や事故につながりそうな箇所については適宜市への報告を受けており、指定管理者の責任範囲としては適切に対応されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みが行われ、災害発生時の連絡体制が確立されており、避難訓練などの訓練も行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	適正に実施され、近隣施設が少なくなる中、道路等の整備に貢献されている。	A	地域との関係は良好である。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
無料イベントの実施	大晦日のビンゴ大会や星空観察など、季節に応じたイベントを参加費無料で行い、集客数の増加に取り組まれている。			
アメニティー等の提供	有料の利用者に対して、フェイスタオル・歯ブラシ・バスタオルを提供する			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は指定管理者の手におえる範囲を超えた設備が壊れたのが一番印象に残った一年でした。年度報告書にも記載しましたが現在の契約期間である令和8年度以降も立川市ハケ岳山荘を営業していくのでしたら、大規模な修繕が必要な時期に来ていると考えます。ただ、学校寮地区も多くの施設が廃止になり、また近隣の廃止された施設を引き継がれた会社はこれまで清里学校寮地区では考えられなかった民間娯楽施設として営業されています。今後、新型コロナウイルス感染前の状況までご利用様を清里にお迎えすることは難しいのかもしれませんが。それでも令和6年度も貴市の数々のご高配をいただき、令和5年度より一般ご利用者様数も10%以上も多くお迎えすることもできました。今後も美味しいお料理のご提供とご不快のないサービス、そして衛生的で行き届いた清掃を行い、一人でも多くの方にご利用される施設の運営を目指していきたいと考えます。清里学校寮に自市の施設がある三多摩の市の方にも、「うちより食事が美味しい、きれいなので」とご利用いただけ、令和6年度は他市のみなさまのご利用も大きく増えました。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
・学校寮地区内の他市の施設が次々と廃止になっている中で、立川市ハケ岳山荘は令和5年度より利用客を増やしている。 ・施設の老朽化に伴う故障が増える中、迅速な修繕の手配ができています。現地の事業者から情報収集が適切に実施されており、評価できる。市への報告も迅速で、状況変化を含め適宜報告されている。とりわけ6年度は、大きな岩の下にある地中の排水管が破損していることを発見し、大雪の中、現地事業者と連携して緊急の修復工事を実施したことは大きく評価できる。 ・物価・人件費の高騰が続いたため、市が補てんを実施しつつ、指定管理者の営業努力により、年度当初の目標を上回る利用増となったことは評価できる。 ・利用者アンケートでは、食事について98.2%以上、施設について97.5%以上、サービスについて97.9%以上が「良い」以上となっており、大変評価が高い。指定管理者制度の目的である「公の施設の管理に民間の能力を活用して、その設置目的を効果的に達成すること」が達成されている。4回の公募を経て、平成21年度から当該指定管理者が合計16年間営業してきており、安定的な運営を継続している。		A	エリア全体の集客力が落ち込む中、前年度と比較して一般利用者が1割以上増加したことは高く評価できる。 施設・設備の維持管理に対し、緊急性の高い修繕事案への対応も含めて適切に対応しながら、安定的な運営に努めている。 事業計画書等に基づき、概ね適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市滝ノ上会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市滝ノ上会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に行われている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に行っており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:326日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:75,300～84,913円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 利用件数・利用者数は前年度から増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:991件(112.5%) 利用者数:12,370名(116.8%) 平均施設使用率: 31.8%(94.4%) 中規模改修工事の完了により、前年度から利用件数と利用者数は増加している。	A		
運営企画	利用者懇談会、創立40周年記念誌発行、創立40周年式典、ふれあいコンサートなどを実施されている。 また、中規模改修工事が終了したことで、会館まつりや創立40周年式典、ふれあいコンサートなどが開催された。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,784,947円、支出:4,784,947円 * 指定管理料 4,613,680円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、会館広報において結果が公表されている。 事業計画書・報告書は定期総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	日常点検マニュアルに基づき会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	特になし。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が図れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
令和5年度の中規模改修により、令和6年度については、綺麗で生まれ変わった会館による会館まつりや40周年祝賀会を開催することができた。またWi-Fi設置等により利便性が向上し、とても使いやすくなった。令和7年度はできるだけ新型コロナウイルス感染症による行動制限以前の状況に戻した事業計画を進めていきたい。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
利用者の高齢化による団体の解散や夜間利用者の減少など学習等供用施設全体が抱える課題がある中、多世代の利用促進のため、PTA選出の管理運営委員がPTAの任期が終わった後も、地域協力委員として運営に継続して参加するなど、若い世代を積極的に登用する働きかけをされている。 滝ノ上会館は風水害時の指定避難所にも位置づけられており、台風の際は避難者の受け入れを行なっている。また、地域住民にとって学習や趣味、娯楽といった活動の拠点となっており、開館以来、利用者の方々や地域の各種団体と一体となりながら、富士見町の文化を盛り上げてきた。とりわけ「子どもの居場所づくり」への取り組みは特筆すべきものであり、子どもが参加しやすい企画を数多く実施されている。 令和6年度は中規模改修工事が終了し、会館まつりや40周年記念誌発行、40周年記念祝賀会を開催することができた。また、きれいになった内装やLED化により、新しく生まれ変わった会館に利用者から喜びの声を聞くことができた。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	中規模改修工事が完了したことで、前年度に比べて利用件数・利用者数は増加した。 恒例の会館まつりも開催され、地域交流の機会として多くの事業が実施されている。 地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こびら橋会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こびら会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に行われている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に行っており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:53,900～99,900円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,843件(96.9%) 利用者数:18,998名(96.2%) 平均施設使用率:51.8%(96.1%) 各実績ともに前年度を下回っており、高齢化による利用団体の減少が要因と考えられる。	A	利用件数・利用者数は前年度と比較してやや減少している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(750)、広報発行3回(各4,000部)、賀詞交歓会(64)、地域懇談会(43)、その他定例となっている事業を実施することができた。会館まつり、賀詞交歓会も盛況の中開催され、地域住民のコミュニティ施設としての大きな役割を果たしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,607,153円、支出:4,607,153円 * 指定管理料4,595,435円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A			
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者アンケートを実施し、会館広報において結果が公表されている。 事業計画書・報告書は定期総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検が行われている。	A	
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A			
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A			
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A			
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務を遂行されている。	A			
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	日常点検マニュアルに基づき会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	特になし。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施設のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は「会館まつり」、地域団体との「賀詞交歓会」を開催することができ、多くの地域の皆様にご来場いただき盛況に終える事ができた。また「講演会」や「防災・避難訓練」など地域に根ざした行事も積極的に実施し、「利用者アンケート」や「地域懇談会」など利用者の意見を汲み取る機会を設けることができた。これにより、年間を通して、会館と地域住民や各種団体を繋ぐ役割を十分に果たすことができた。会館利用状況において、前年度から利用件数及び利用者数が減少しており、利用団体の高齢化による解散が主な原因となっている。また、管理運営委員会の成り手不足が年々増加しており、地域の大事な会館まつりの協力者も少なくなっているため、運営のあり方を検討していきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
こんびら橋会館は、地域の住民にとって生涯学習及び地域コミュニティの拠点として、開館以来、利用者の方々や地域の各種団体と一体となりながら、砂川地域の文化を盛り上げてきた。運営側においても、管理人同士で積極的なコミュニケーションをとっているため、円滑に運営を行っている。会館広報では、会館の情報を見やすく掲載する工夫がみられ、地域の情報発信源としても、会館と地域の住民や各種団体を繋ぐ役割を果たしている。 例年、地域の住民団体を指定管理者とすることの利点を生かし地域事業を行っている。令和6年度も会館まつりや賀詞交歓会など例年のイベントを盛大に開催し、大勢の来館者で賑わいをみせることができた。また、「講演会」や「防災・避難訓練」、「地域懇談会」など地域に根ざしたイベントを行い、利用者や地域住民の地域交流の機会づくりに貢献することができている。 施設管理の面では、管理運営委員を中心に、地域のボランティアの力を借りて施設内の整備・清掃を行っているほか、指定管理料の修繕料を活用した軽微な修繕等も積極的に実施し、管理運営委員と利用者団体が協力して施設の維持保全が保たれている。令和6年度は、急な国政選挙で投票所が必要になった際に、すでにイベントで団体に貸し出していた会場について、団体と調整して投票所の設営に協力するなど、地域の拠点施設として大きな役割を果たした。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	前年度に比べて利用 者数は減少した。 恒例の会館まつりも 開催され、地域交流 の機会として多くの事 業が実施されている。 地域の会館として、地 域住民の手で管理・ 運営が行われてい る。 事業計画書に基づ き、適切に管理・運営 が行われてると判断 し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市高松会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:323日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:10,000～85,825円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 前年度に比べて利用件数は同程度の水準となっているが、利用者数は減少している。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,099件(101.0%) 利用者数:12,298名(91.7%) 平均施設使用率:37.0%(102.5%) 利用件数に前年度と同様の水準で推移しているが、利用者数は減少している。	A		
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり、高松町ふれあい健康フェア、利用者懇談会(28名)、広報発行3回(各800部) 例年通り、会館まつりを盛大に開催することができた。また健康フェアなど地域住民に寄り添うイベントも開催しコミュニティ施設としての役割を果たした。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,495,161円、支出:4,495,161円 * 指定管理料4,407,345円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会の代わりにアンケートを実施し、会館広報において結果が公表されている。 事業計画書・報告書は総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務を遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	特になし。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は会館まつりを前年度より規模を拡大して開催することができ、「ピンゴゲーム」や「お楽しみ抽選会」を復活させ、子どもから大人まで多くの地域の皆様にご来場いただき盛況に終える事ができた。広報誌「つどい」では、交通安全や特殊詐欺などの注意喚起を行うなど、地域の情報発信源としての会館の役割をアピールした。管理運営においては、運営委員会委員の高齢化が進み役員の体調不良等で役員人事に苦慮しているため、運営体制の見直しを検討する。今後により良い会館づくりに努めていきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
高松会館は、地域コミュニティの拠点施設として、地域に密着した会館運営や企画づくりを心がけている。そのため地域の諸団体とは様々な面で協力しており、地域の各種団体が実施する行事に積極的に協力・協賛している。定期的に開催している管理運営委員会では、各団体間の情報交換の場としての役割も兼ねており、会館が地域の諸団体と連携し、一体となりながら、高松町の地域活動を盛り上げている。施設の2階は高松児童館となっており、積極的に児童館との連携がされている。令和6年度は前年度から規模を拡大して会館まつりを開催することができ、演芸大会やカラオケ大会のみならず、子どもが楽しめる「ピンゴゲーム」や「お楽しみ抽選会」を実施することで、皆が楽しめる会館まつりをアピールした。 会館広報を年3回発行し、会館の情報のみならず、前述した児童館の情報及び地域で開催される様々な行事を紹介するなど、地域の情報発信源として、会館が各種団体を繋ぐ役割を果たしている。一方で、管理運営委員会においては、常任委員の高齢化が進み後継者探しに苦慮している。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	前年度に比べて利用件数は同程度の水準だったが、利用者数は減少している。 恒例の会館まつりも開催され、地域交流の機会として多くの事業が実施されている。 地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市若葉会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に行われている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に行っており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:329日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時6名 月給:34,080～94,079 円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,333件(95.9%) 利用者数:15,308名(103.1%) 平均施設使用率:36.9%(99.2%) 各実績ともに前年度と同水準にて推移している。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 利用件数・利用者数は、前年度と比較して概ね同程度の水準となっている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(350)、各講座、広報発行3回、会館講座(年3回) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりは工夫を講じながら開催していた。また会館独自の講座を実施し、地域交流を促進されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,583,387円、支出:4,583,387円 * 指定管理料4,581,165円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会の代わりにアンケートを実施し、会館広報において結果が公表されている。 事業計画書・報告書は定期総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務を遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	適切に実施されている。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は運営委員22名、管理人5名で体制でスタートしました。祭り担当・講座担当・広報担当・事務局・会計とそれぞれ担当に別れ活動を行った。若葉会館まつり「若葉祭」では地域の立川第九中学校の学生による開始の演奏や若葉台小学校児童による合唱が行われた。講座では誰でも簡単に出来る、かんたん体操や琵琶の演奏や寄贈されたピアノの演奏などが行われた。広報では年3回の若葉会館だよりの発行を行った。各行事において沢山の参加者や観覧者が若葉会館を訪れて楽しんでいただいた。 今後の課題としては地域の方々の高齢化が進みつつある現状、若葉会館の施設を寄り添った使い方をするために、何が必要かを考えながら運営委員一同努力して参りたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
若葉会館は若葉町のコミュニティの拠点として、会館広報の発行、講座の開催、会館まつりの会館三大事業に取り組んでいる。年3回の広報発行のうち、7月に発行する各種団体との合同広報では、会館のみならず自治会、文化会、体育会、青少健、子ども会など、地域の各団体の情報を掲載し、新たな会館利用者の掘り起こしにもつながっている。令和6年度は、例年通り会館まつりを開催することができ、学生による演奏や合唱・模擬店(地元野菜の販売など)・人形劇などを催し、大いに盛り上がった。また、会館独自で年3回若葉会館講座を開催し、プロによる演奏会や簡単体操教室、琵琶演奏会、お茶会など地域の方々が楽しめるイベントを開催し、地域コミュニティの拠点としての役割を担われている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	利用件数・利用者数は、前年度と比較して概ね同程度の水準となっている。 恒例の会館まつりも開催され、地域交流の機会として多くの事業が実施されている。 地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こぶし会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こぶし会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給:50,867円～88,321円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:2,652件(99.7%) 利用者数:36,255名(100.0%) 平均施設使用率: 45.6 %(102.2%) 各実績ともに前年度と同様に推移している。	A	利用件数・利用者数は、前年度と比較して概ね同程度の水準となっている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(1,530)、教養講座(137)、広報発行2回(4,000部、12,000部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりは模擬店や作品展示など工夫を講じながら開催されている。	A	事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:5,130,720円、支出:5,130,720円 * 指定管理料5,130,720円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、会館広報において結果が公表されている。 事業計画書・報告書は定期総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務を遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	適切に実施されている。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は前年度より規模を拡大して開催することができた。芸能発表や作品展示、多くの模擬店が出店したことで地域の方々で大繁盛となった。また会館事業を広く周知するために、会館広報誌の全戸配布を実施した。管理運営について、利用者は前年同様で推移している。また一斉受付において、特に午後の予約は複数の希望団体による抽選が多くあり、利用団体数も例年通りで推移している。しかし、管理運営委員の高齢化があり、運営委員の不足が懸念されているため、運営体制の見直しを検討していく。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
こぶし会館は、幸町と柏町の二町にまたがる会館であり、それぞれの地域の各種団体から選出された委員により運営されており、この二町の地域活動に様々な形で関わっている。加えて、学習等供用施設11館の中で施設規模が最も大きく、立川駅からモノレールもしくはバスでのアクセスが可能で交通の便が良いことから、市外を含む他地域からの利用や、行政事業のための利用も多い。令和6年度中でも、サークル入会・立ち上げの問合せが多かったことから積極的に利用されていることが伺える。 二町にまたがるという規模の大きさを生かして、令和6年度においても、「こぶし会館ふれあいまつり」、「教養講座」を開催し、大盛況となっている。また会館広報も全戸配布を行い、地域の方に会館事業をアピールすることで、生涯学習の拠点としての役割を果たした。また管理運営において、利用件数が多い中、管理運営委員会・管理人が利用団体と積極的にコミュニケーションを取っており、会館運営においてスムーズな対応を心がけている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	利用件数・利用者数は、前年度と比較して概ね同程度の水準となっている。 恒例の会館まつりも開催され、地域交流の機会として多くの事業が実施されている。 地域住民の手で仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣中央会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市羽衣中央会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:346日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時3名 月給:90,000～110,000円 計画のとおり実施されている。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 利用件数・利用者数は、前年度と比較してやや減少している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,301件(96.3%) 利用者数:18,877名(95.7%) 平均施設使用率: 34.0%(93.4%) 各実績ともに前年度を若干下回ったが、同程度の利用があった。	A		
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(多数)、防犯講習会(25)、教育講演会(多数)、健康フェア(多数)、広報発行3回(各2,500部) 定例となっている上記事業を実施することができた。会館まつりをはじめ賀詞交換会、講演会も盛況に開催され、地域コミュニティ施設としての役割を果たしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,853,652円、支出:4,853,652円 * 指定管理料4,853,472円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 事業計画書・報告書は定期総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	特になし。	—			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 ヒヤリ・ハツとした状況について、指定管理者として適切に対処されている。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	2階湯沸室で利用者の不注意により、まな板が焦げ、異臭が発生する事案があった。利用団体へ厳重注意を行い、会館として然るべき対処をされている。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は前年度に続き、各種団体との共催事業を盛大に実施できた。特に会館まつりでは、羽衣商店街と羽衣児童館が行ったハロウィン事業の参加を得て、地域の子供たちと交流の場となり、演芸の部では六小の児童を中心としたソーラン踊りが披露された。また子どもたち中心の「はごろもハロウィン」の優秀仮装のお披露目も行い、盛況となった。また講演会では「わが街羽衣町の変遷」と題して、羽衣町地域の歴史を学ぶ機会を設けることで、地域の理解を深めた。 管理運営委員会は、これからも羽衣町の各種団体の活動の拠点として、また市民の多種多様なコミュニティ活動の場として、安心して利用できるよう努めて参ります。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
羽衣中央会館は、羽衣町のコミュニティ活動の拠点として、地域内の各種団体と連携しながら、地域に密着した管理運営が行われている。 例年は、地域内の各種団体との共催事業も含め、様々な事業を通じてより多くの地域住民に会館を知ってもらい、また参加してもらえるように創意工夫して取り組んでいる。前年度に引き続き、「会館まつり・文化祭」、「講演会」、「健康フェア」を開催することができ、地域コミュニティの拠点としての役割が担われている。 管理運営の面については、利用者懇談会を通して、地域活動の拠点である会館利用の促進のため、常に利用者の声に耳を傾けながら、管理運営がなされている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。	A	利用件数・利用者数は、前年度と比較してやや減少している。 恒例の会館まつりも開催され、地域交流の機会として多くの事業が実施されている。 地域住民の手で仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。		

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市天王橋会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市天王橋会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:317日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:32,209～99,571円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,044件(103.2%) 利用者数:17,030名(110.7%) 平均施設使用率: 34.6 % (103.0%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 利用件数・利用者数は、前年度と比較して増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(500)、カラオケ団体自主交流会(150)、みんなのコンサート(200)、防災訓練(100) 広報発行2回(各3,000部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつり、みんなのコンサート、防災訓練など計画した事業をすべて行い、地域住民から好評であった。地域住民のコミュニティ施設としての役割を担った。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:3,863,257円、支出:3,863,257円 * 指定管理料3,863,257円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、会館広報において結果が公表されている。 事業計画書・報告書は定期総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	適切に実施されている。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	利用者の転倒による骨折の事案について、適切な対応がとられている。	A	利用者が転倒してけがをする事案があったが、事後の対応は適切にとられている。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
令和6年度は、会館まつり、一番町みんなのコンサートを開催することができ、大盛況であった。会館まつりでは例年通りの模擬店が並び、利用者団体による作品展示や芸能発表も披露され、大盛況となった。一番町みんなのコンサートは、地域の小・中学校生徒の発表の場及びプロの歌手を招いて開催し、音楽を通じた交流を深めることができた。運営面において、役員の高齢化や小学校のPTA廃止等により、協力者が少なくなり、各行事を開催する負担が増えてきている。近隣自治会との共同開催なども増やしていきたい。					
施設担当課評価			2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
天王橋会館は、一番町地域のコミュニティ拠点として、多くの地域住民に親しまれている。管理運営委員会の活動にも地域の住民が自主的に参加・協力している。特に施設管理の面においては、限られた修繕料の中で、個人の特技を活かして軽微な修繕や植木の管理などをボランティアで行っており、会館はこうした善意により支えられている。 例年、世代を超えて多くの来館者で賑わう「会館まつり」をはじめ、「一番町みんなのコンサート」の特色ある自主事業を多く実施しており、会館が様々な場面で地域の住民が集う場となっている。また例年、西砂会館との交流会も行っており、お互いの会館の状況や問題点などを共有することで、より良い会館づくりに取り組んでいる。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	利用件数・利用者数は、前年度と比較して増加している。 恒例の会館まつりも開催され、地域交流の機会として多くの事業が実施されている。 地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市柴崎会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に行われている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に行っており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:329日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給:13,716円～ 126,567円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 利用件数・利用者数は、前年度と比較してやや減少している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:2,131件(93.4%) 利用者数:24,223名(97.4%) 平均施設使用率:52.4%(95.6%) 各実績とも前年度を若干下回ったが、同程度の利用がされている。	A		
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(900)、健康講座(30)、柴崎ふれあいまつり(170)、広報発行2回(各2,500部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりを開催するとともに、柴崎ふれあいまつりも地域住民から好評で盛況であった。地域のコミュニティ施設としての役割を果たしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,970,449円、支出:4,970,449円 * 指定管理料4,970,439円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、会館広報において結果が公表されている。 事業計画書・報告書は定期総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	適切に実施されている。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
令和6年度は、一年を通して各事業を滞りなく実施することができた。「柴崎会館まつり」では演芸発表や模擬店のほか、子供向けの体験教室など子どもから大人まで楽しめる企画を行い、盛況となった。また「柴崎ふれあいまつり」では、恒例のうどん作り体験やカラオケ交流会を地域住民、自治会、各種団体との共催にて開催し、地域が連携して運営を行った。地域のコミュニティセンターとして、楽しく安心して活動できる会館を作っていく。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
柴崎会館の管理運営委員会には柴崎町内すべての自治会の代表が参加しており、地域住民の活動の場として、会館は地域になくてはならない施設として認知されている。したがって、地域内の様々な情報は会館に集約され、会館を軸に地域の情報発信・伝達が行われている。 このように地域団体の強い結束に支えられた柴崎会館は、例年、コミュニティ事業の実施においても、管理運営委員会を中心に各団体の協力のもと、会館まつり等事業を行っている。令和6年度は例年通り、「柴崎会館まつり」、「柴崎ふれあいまつり」を開催し、地域の方々で大盛況となった。また会館独自の「健康講座」を開催し、地域コミュニティにおける会館の役割を果たした。運営面においても、昨年と同様に、利用者懇談会での意見・要望を会館だよりに掲載し、利用者からの意見を積極的に取り組まれている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	前年度に比べて利用件数・利用者数はやや減少している。 恒例の会館まつりも開催され、地域交流の機会として多くの事業が実施されている。 地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市さかえ会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市さかえ会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:65,426円～105,833円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 利用件数・利用者数は、前年度と比較してやや減少している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,760件(97.1%) 利用者数:20,773名(95.3%) 平均施設使用率: 50.9%(96.8%) 各実績ともに前年度を下回っており、利用団体数の減少が伺える。	A		
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(576)、利用者懇談会(37)、栄町音楽祭(150)、賀詞交換会(39)、栄町寄席(86)、広報発行2回(各3,000部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつり、栄町音楽祭、寄席など盛況の中開催することができ、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,860,837円、支出:4,860,837円 * 指定管理料4,860,777円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会の代わりにアンケートを実施し、会館広報において結果が公表されている。 事業計画書・報告書は定期総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的を開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	適切に実施されている。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は、前年度と同様に感染症の予防対策をとって事業を開催した「さかえ会館まつり」の企画の中に子どものコーナーをもうけ栄町子ども会連合会と連携して地域の子どもたちにも楽しめるよう工夫した。会館利用状況では、有料団体の利用が増えてきている。主な団体が、若い世代の方で会館利用者の今後の増加に繋がることを期待している。また、管理運営委員会や各団体の人手不足や高齢化が顕著になっており、会館広報や事業を通して地域の中での会館の役割を知っていただき、担い手を求めている。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
さかえ会館は、栄町のほぼ中心に位置し、また近隣に学習館等のサークル活動ができる施設がないこともあり、栄町における各種活動の拠点として、多くの地域住民に利用されている。運営委員においても、地域内の各種団体や小中学校PTAからの派遣や地域活動経験者で選出されており、各地域団体と協力しながら、地域を盛り上げている。 地域住民の交流及び生涯学習の場としての役割を果たすため、安全対策に十分配慮し、「さかえ会館まつり」、「栄町音楽祭」、「栄町寄席」等を実施した。「さかえ会館まつり」については、子供向けのイベントや模擬店を催し、若年層に会館を知ってもらう取組みが伺える。その他会館独自のイベントを開催し、地域の会館としての役割を担っている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	利用件数・利用者数は、前年度と比較してやや減少している。 恒例の会館まつりも開催され、地域交流の機会として多くの事業が実施されている。 地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市西砂会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:271日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給:31,800円～147,901円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 利用件数・利用者数は、前年度と比較して減少している。 一部中止したイベントもあったが、地域に密着した事業が行われた。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:513件(84.4%) 利用者数:8,531名(83.5%) 平均施設使用率:25.6%(84.8%) 各実績ともに前年度を下回り、高齢化による利用団体、利用者数の減少が伺える。	A		
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(250)、利用者懇談会(28)、うどん作り研修会(25)、繭玉飾り(15)、親子うどん作り大会(62)、天王橋会館との交流会(20)、広報発行2回(各1,800部) 。「会館まつり」、「親子うどん作り大会」、「繭玉飾り」など毎年恒例の会館独自のイベントを開催することができ、地域コミュニティの拠点としての役割が担われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,145,214円、支出:4,145,214円 * 指定管理料3,866,122円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、会館広報において結果が公表されている。 事業計画書・報告書は総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務を遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	適切に実施されている。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	管理運営委員会にて利用者の意見に耳を傾け、対応されている。	A			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。				
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は、「会館まつり」「親子うどん作り大会」「繭玉飾り」等の事業を盛大に開催することができた。会館まつりは、天候に恵まれ、地元野菜の販売や子ども向けの模擬店を行い、子供が楽しめる会館まつりをアピールした。また西砂川地域の伝統祭事である「繭玉飾り」では、正面ロビーに展示し、多くの利用者に鑑賞いただいた。会館利用状況について、利用人数が前年度を下回り、利用団体の高齢化に伴い代表者の交代が難しく、解散等により利用停止する傾向にある。地域の担い手が減少しているなかで、会館事業をどのように継続していくか検討していく必要がある。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
西砂会館は、その立地条件から他地域の利用者は少ない反面、地元利用団体の作品等が常設的に展示されているなど、西砂地域に密着した会館として親しまれている。管理運営委員会も西砂の地域色を活かし、広報誌への歴史コラムの掲載や会館事業としての伝統文化体験事業の開催などを通じて、地域の各種団体とも協力しながら西砂地域の文化の継承に重点的に取り組んでいる。 とりわけ伝統文化体験事業については他館には見られない西砂の特色と言え、繭玉飾り、手打ちうどん作り等をそれぞれ開催している。令和6年度は、例年通り会館まつりの開催や親子手打ちうどん作り大会を盛大に行うことができた。地域の子どもたちから高齢者まで多くの人が楽しめるイベントを企画し、地域の会館としての役割が担われている。また天王橋会館と会館運営について意見交換や利用者からの意見を取り入れるなど、外部との交流も積極的に行われている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	利用件数・利用者数は、前年度と比較して減少している。 伝統文化体験事業を実施するなど地域コミュニティの核としての取り組みが行われている。 十分な感染症対策を講じながら地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂会館	非公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市上砂会館管理運営委員会	令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に行われている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に行っており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:335日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:78,718円～97,381円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:2,189件(95.7%) 利用者数:26,551名(98.4%) 平均施設使用率:39.2%(96.3%) 各実績ともに例年通りである。少しずつではあるが、減少傾向にあり、利用団体の減少等が窺える。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 利用件数・利用者数は、前年度と比較してやや減少している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(470)、大掃除・自衛消防訓練(35)、クリスマス工作教室(24)、講演会(120)、上砂会館新年交流会(24)、広報発行3回(各6,000部) 定例となっている上記事業を盛大に実施することができた。また会館独自の自主事業も盛況に開催され、地域コミュニティの拠点としての役割が担われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:5,001,288円、支出:5,001,288円 * 指定管理料4,999,596円 【うち、520,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	指定管理料により、適正に施設運営がされている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A			
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切に行われている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 事業計画書・報告書は総会で利用者団体代表等に公表されている。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検が行われている。	A	
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	定期的に行う学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A			
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報の掲載に取り組まれている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A			
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A			
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務が遂行されている。	A			
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検が行われている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	規模にかかわらず修繕が必要な場合は、運営委員会より随時連絡を受け、対応することができている。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
会館まつりを例年通り、開催することができ、地域の方々で大いに盛り上げることができた。上砂会館独自の子ども向け自主事業であるクリスマス工作教室を開催し、子どもたちの嬉しそうな顔を見ることができた。また自治連砂川支部との講演会を開催し、医療系講演会を行い、医師を招いて、地域の人々の健康促進を図る取組を行った。会館利用状況において、高齢化の影響により、各団体利用者の減少や夜間帯の利用が減少している。会館及び管理運営委員会の運営はスムーズに企画実行できた。				
施設担当課評価				
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価 評価理由等	2次評価
上砂会館はその特徴として、学習等供用施設で唯一の音楽室(防音設備完備)や広いホール(集会室)を備えていることもあり、近隣地域以外からの利用や有料団体による利用も比較的多く、また、図書館(2階)・児童館(1階)・学童保育所(1階)・地域福祉サービスセンター(1階)・一般住居(3階以上)との複合施設であり、会館の出入口を図書館と共有していることから、会館利用者以外の来館者が会館窓口を訪れることも多い。 また、地域にある団地住民を中心に地域活動への関心が強く、会館まつりをはじめ各種事業についても地域住民の誰もが参加しやすいよう企画されており、世代を超えた地域住民の交流及び生涯学習の拠点としての役割を果たしている。令和6年度は例年通りに会館まつりを開催することができ、子供向けの模擬店、サークルの展示や国立音楽大学の演奏会など、様々なイベントを展開されている。子どもを対象としたクリスマス工作教室も開催し、子どもたちが楽しめる会館をアピールされている。 会館だよりにおいては、年3回発行しており、各回ともに学校・自治会・保育園など地域の多くの団体の情報や管理人の声、地域の新しい情報なども多数盛り込まれており、地域の情報発信源となっている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	利用件数・利用者数は、前年度と比較してやや減少している。 恒例の会館まつりも開催され、地域交流の機会として多くの事業が実施されている。 地域住民の手で仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内研修等を通して、職員間の共通認識や設置目的の理解の共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員7名(内有資格者7名・100.0%) 非常勤賃金:時給1,170円以上(有資格者1,200円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】39,118人(102.1%) 【貸出冊数】101,943人(99.5%) 【レファレンス数】252件(93.3%) レファレンス数は前年度を下回ったが、利用者数・貸出冊数は同程度の実績となっている。	A	前年度と比較してレファレンス数が下回ったものの、利用者数・貸出冊数は同程度の実績を維持している。 ニーズに合わせた展示や小学校を利用する企画事業を行い、図書館利用の促進に努めている。	
運営企画	学校や地域連携による利用案内や学級文庫等の団体貸出、読書活動が推進できている。主に地域対象の学習館まつりへの参加や地域の著者による地域発見講演会を実施したほか、たちかわ読書ウィークなどにあわせたりサイクル本の提供を企画して、地域との交流を推進した。また、図書館俳句ポストを継続して設置することで、学びの結果を活用する機会が提供されている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:29,584,380円 支出:29,239,540円 (うち指定管理料:29,556,060円) 事業収支:344,840円 人件費比率実績:77.1% 利用者数の増加に伴い、利用者当たりのコストは減少した。TRC5館合計では計画どおりの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	指定管理5館全体で計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A			
第三者への委託状況	特になし。	—			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者アンケートの結果では、満足の割合が94.1%と高く、接遇研修や利用者のニーズに合った事業により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的に行っており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A	
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A			
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとれている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートの内容を分析・検討し、図書館サービス向上に寄与されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A			
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A			
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守は対象外である。 その他は事業計画により適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持が適切に実施されている。	A			
小規模修繕	特になし。	—			
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A			
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A			
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	こぶし会館や読み聞かせボランティアとの情報共有などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組まれている。また、リサイクル図書の提供を通して地域へ貢献されている。	A	近隣施設や自治会を中心に、業務上必要な連携体制が構築されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。		A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—		—	—	—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
令和6年度の夏季に記録的な猛暑が続き、7月に空調も故障(7月22日に交換工事)するなど、安全な利用環境の提供・確保が大きな課題となった。高齢者・子どもの利用者も多いことから、館内巡回などを的確に実施し、また、経口補水液を常備して熱中症の応急処置についても手順を確認するなど、全スタッフで準備を行い、同時に、スタッフ自身の健康管理にも留意した。利用者満足度調査では、満足度94.1%との数字が出たように、地域の図書館として、日々、利用者との信頼関係構築や情報交換などにも注力した。こぶし会館とは協力関係を維持し、「こぶし会館ふれあいまつり」にも参加した。地域包括支援センターとも連携を行い、認知症に関する展示なども行った。 年間を通して、全スタッフで、あるいは、各自で、それぞれ適した諸研修を受講し、公立図書館を取り巻く新しい状況を把握するとともに、業務に関するスキルの向上に努めた。 7年度には中規模改修工事が控えており、早い段階から、中央図書館と相談の上、館内の書架移動や撤去・配置換え、また、資料の除籍などについて検討・準備を始めた。引き続き、中規模改修工事に向けて、館内整備や、利用者サービス・告知の準備・対応など、準備していきたい。					
施設担当課評価			2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
・施設が令和7年度に中規模改修工事を控えている中で、夏場の空調の不具合対応も利用者の声や館内点検のほか、熱中症の応急処置を職員間で知識を共有するなど利用者への市民サービスを低下させない対策が施されている。 ・学校連携による学級文庫の貸出やたちかわ読書ウィークなどに合わせたリサイクル本の提供、地域と連携した図書館サービス、会館まつりへの参加、地域団体への事業連携を行うことで、利用者回復に向けた取り組みが積極的に実施されている。 ・職員の教育・育成については、充実した研修制度に参加され、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。 ・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。			A	利用実績は、前年度と比較してレファレンス数が下回ったものの、利用者数・貸出冊数は同程度の実績を維持している。 事業計画に基づき様々な企画や展示を適正に実施し、来館と資料貸出に繋げ、図書活動の推進に取り組まれている。 接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価につながった。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解されているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員9名(内有資格者8名・88.9%) 非常勤賃金:時給1,170円以上(有資格者1,200円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】42,063人(114.7%) 【貸出冊数】124,782冊(111.3%) 【レファレンス数】215件(103.9%) 令和5年度は中規模改修工事による休館期間があったが、令和6年度は開館日数が例年の水準に戻ったことで利用実績はいずれも増加している。	A	前年度の中規模改修工事が完了したことで、利用者数・貸出冊数・レファレンス数のいずれも増加している。 ニーズに合わせた展示やオンラインでの参加も可能な講座の開催、俳句ポストの設置等を行い、図書館利用を促進されている。	
運営企画	・学校や地域連携による、利用案内や学級文庫等の団体貸出など例年通りに実施ができています。 ・地域対象の学習館まつりへの参加や地域の著者による地域発見講演会などを実施したほか、たちかわ読書ウィークなどにあわせたりサイクル本の提供等を企画して、地域との交流を推進した。 ・また、図書館俳句ポストを継続して設置することで、学びの結果を活用する機会が提供されている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:35,335,916円 支出:35,425,202円 (うち指定管理料:35,308,432円) 事業収支:▲89,286円 人件費比率実績:77.5% 近年の最低賃金上昇の影響による人件費の増加よりも利用者が計画比で増加回復したため、一人当たりの管理コストが減少した。TRC5館合計では計画どおりの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支がマイナスとなっているが、指定管理5館全体では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	特になし。	—		
新たな取り組みの状況	地元のゆかりのある方を講師に招き、地域発見講演会を実施するなど、地域連携に寄与されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果では、満足の割合が92.3%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的実施しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとれている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートの内容を分析・検討し、図書館サービス向上に寄与されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。	A	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持が適切に実施されている。	A			
小規模修繕	特になし。	—			
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A			
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A			
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	返却された図書に汚れがあったことを利用者に確認したところ、説明の仕方について苦情を受ける事案があったが、確認や説明は危機管理マニュアル等に沿って適切に対応されている。また、接遇研修等の実施にも取り組まれている。	A	窓口対応で苦情を受ける事案があったが、適切に対応されている。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットとした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	学習館の行事参加や読み聞かせボランティアとの意見交換などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組まれている。リサイクル図書の提供を通して地域への貢献されている。	A	近隣施設や自治会を中心に、業務上必要な連携体制が構築されており、地域に密着した図書館運営ができています。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
利用者懇談会の開催	令和7年2月2日に西砂図書館利用者を対象に懇談会を開催し、広く意見を求めている。利用者のニーズを把握することで、図書館運営に生かすことができている。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
提案書・年間計画書に基づき、西砂学習館運営協議会地域活性化事業「西砂サマーイベント」に小学生向けの簡単工作体験のイベントで協力参加した。一般サービスでは季刊郷土誌「多摩のあゆみ」に記事を連載されている立川市出身の方に講師を依頼し、玉川上水と旧砂川村に関する講座を実施した。講座には地元に関心を持つ多くの方が参加した。児童サービスでは夏休み中に一般財団法人 日本鯨類研究所と連携した講座開催、令和7年1月にはTRCが教材用として社内で揃えているプログラミングロボットを実際に使用しプログラミングに親しんでもらうワークショップを開催した。西砂学習館まつりへの参加、リサイクル本の提供を通して地域との交流を継続するとともに、利用者の期待に応えることができた。 今後も学習館や児童館、地域包括センターなど地域の関連施設・団体との連携に努め、地域に貢献する図書館として、図書館サービスを向上させていきたい。令和7年度も丁寧な接遇をベースに、おはなし会の定例開催をはじめ、積極的な展示の提供、児童、一般ともに利用者のニーズをつかんだ講座・イベントの開催に取り組み、地域に貢献する地区館としての負託に応えていく。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
・年間を通して業務仕様書で求める司書率を上回る職員が配置され、専門性が高く、安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。 ・職員の教育・育成については、充実した研修制度に参加され、またそこで得た知識等を館内研修で還元をするなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。 ・中規模改修工事による前々年度の利用者数の減少に対し、学校連携による学級文庫の貸出やたちかわ読書ウィークなどに合わせたリサイクル本の提供、地域と連携した図書館サービスのほか、学習館まつりへの参加や地域の著者による地域発見講演会を行い、積極的に利用者数の回復に取り組まれている。 ・個人情報の取り扱いや危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。	A	前年度の中規模改修工事の完了ことで、利用者数・貸出冊数・レファレンス数のいずれも増加している。 多様な連携事業により、図書館サービスの向上の取り組みが行われている。 接遇やサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでは高い評価を得ている。 地域との連携・交流に力を入れており、事業が実施されている。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解されているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員8名(内有資格者5名・62.5%) 非常勤賃金:時給1,170円以上(有資格者1,200円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】31,842人(98.7%) 【貸出冊数】95,498冊(93.7%) 【レファレンス数】216件(93.1%) 利用実績はいずれも減少しているが、利用者の増加に向けた新規企画の取組等は適切に実施されている。	A	前年度と比較して、利用者数・貸出冊数・レファレンス数のいずれも減少している。 ニーズに合わせた展示やさまざまな講座等を行い、図書館利用を促進されている。	
運営企画	学校連携による学級文庫の貸出のほか、自主事業を開催する等、子どもの読書活動の推進に向けた取り組みが適切に実施されている。また、事業を通して、学校や地域連携に取り組み、図書館サービスの向上のための提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画することで、利用者数と貸出冊数の増加に繋げている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:30,625,081円 支出:32,396,137円 (うち指定管理料:30,596,177円) 事業収支:▲1,771,056円 人件費比率実績:78.0% 支出については、計画時より先行して職員を雇用したことから、人件費が増加した。また、他館と調整する管理費が増加したため、管理コストが増加した。 TRC5館合計では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支がマイナスとなっているが、指定管理5館全体では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入されている。	A	適正にリスク分担して対応されている。	
第三者への委託状況	特になし。	—	俳句の入門講座の開催をきっかけとして、利用者によるサークル結成につながる等、市民の生涯学習活動へ貢献されたことは高く評価できる。	
新たな取り組みの状況	図書館活動の新たな企画である俳句講座をきっかけに講座参加者への働きかけを含め、サークル団体が結成された。指定管理者としての取り組みが市民の生涯学習活動に寄与している。	S		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果では、満足の割合が89.7%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的実施しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとれている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートの内容を分析・検討し、図書館サービス向上に寄与されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持が適切に実施されている。	A			
小規模修繕	日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕が適正に実施されている。	A			
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A			
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A			
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	業務仕様書及び危機管理マニュアルのほか、接遇の研修により、事故等の利用者への適切な対応ができています。				
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	学習館の行事参加や読み聞かせボランティアとの意見交換などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組まれている。リサイクル図書の提供を通して地域へ貢献されている。	A	近隣施設と連携し、事業を実施されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は大きな事故等もなく安定した運営ができた。利用者数もほぼ横ばいであるが、貸出冊数に少し減少がみられる。これはコロナによる臨時休館が続いた後の全館を通じた傾向であり、高松図書館における原因と考えるより、近年の利用動向としてとらえ、今後の対応に生かしていきたい。 新たな取り組みとして全3回の俳句の連続講座を開催した。弊社の事業「図書館俳句ポスト」の参加を促すとともに、続けて図書館に来館することで利用の定着を図る目的で実施し、十分に目的を果たすことができた。さらに講座終了後、参加者たちが俳句サークルを結成し、高松学習館で活動を始めるなど市民の生涯学習活動にも貢献できたのは大きな成果だったと考えている。今後も図書館利用の促進と市民生活や活動の向上につながる事業を展開していきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員が配置され、専門性が高く、安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。 ・職員の教育・育成については、充実した研修制度に参加し、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。 ・個人情報の取り扱いや危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 ・図書館活動の新たな企画から、サークル団体が作られ、生涯学習活動に貢献した。 以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。	A	前年度と比較して、利用者数・貸出冊数・レファレンス数のいずれも減少している。 接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでは高い評価を得ている。 新たな取組による講座の開催が利用者によるサークル結成につながる等、市民の生涯学習活動へ貢献されたことは高く評価できる。 地域との連携・交流が適正にとられている。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達されている
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解されているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員10名(内有資格者8名・80%) 非常勤賃金:時給1,170円以上(有資格者1,200円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】55,690人(101.1%) 【貸出冊数】159,937冊(98.7%) 【レファレンス数】229件(112.3%) 令和6年度は利用者数は微増となったものの、貸出冊数が減少した。	A	利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも前年度と同程度の実績を維持している。 学校との連携による子どもの読書活動の推進、様々なテーマ展示や館内イベントの企画による図書館利用の向上が行われている。	
運営企画	学校連携による学級文庫の貸出等のほか、自主事業を開催する等、子どもの読書活動が推進されている。また、事業を通して、学校や地域連携に取り組み、図書館サービスの向上のための提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画することで利用者数の増加と貸出冊数の増加に繋げている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:39,967,138円 支出:39,851,752円 (うち指定管理料:39,854,918円) 事業収支:115,386円 人件費比率実績:75.6% 利用者が増加したため、利用者あたりのコストが減少した。 TRC5館合計では計画どおりの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	指定管理5館全体で計画通りの事業収支であり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入されている。	A		
第三者への委託状況	業務仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施されている。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が95.3%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的に行っており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとれている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートの内容を分析・検討し、図書館サービス向上に寄与されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守(一部を除く)は対象外である。 業務仕様書に従い、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施されている。	A		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持を適切に実施されている。	A		
小規模修繕	日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕が適正に行われている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	女子トイレ内で図書館職員と不審者が遭遇した事案について、併設する学習館職員とともに巡回監視し、学習館の主管課である生涯学習推進センター及び中央図書館に報告する等、適切に対応されている。また、利用者への情報周知も適切に実施されている。	A	不審者に関する事案について、事後の情報周知も含めて適切に対応されている。 「TRC危機管理マニュアル」に基づき、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	学習館の行事参加や読み聞かせボランティアとの意見交換などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組まれている。リサイクル図書の提供を通して地域へ貢献されている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んでいる。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
令和6年度は前年度に続き利用者数の増加こそあったものの、貸出冊数やリクエスト件数が落ち込んでしまった。現在行われている館内表示等の更新作業を継続して進めるなど、対策を検討したい。 前年度と比べると、おはなし会の参加者が大幅に増加していた。特に乳幼児向け定例おはなし会の参加者が増加されている点や、新規登録者の件数が微増されている点から、利用者層に変化があったのではないかと想定されている。 学校連携では、今回も小学校、中学校にご協力いただき、本の紹介ポップをお借りして連携展示を実施することができた。展示された児童・生徒やその家族が来館するきっかけにもなるので、次年度以降も継続していきたい。 今後も利用者の動向を見極めつつ、来館者の増える取組を進めていきたい。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
・学校連携による学級文庫の貸出やたちかわ読書ウィークなどに合わせたリサイクル本の提供、地域と連携した図書館サービスのほか、錦学習館まつりへの参加や地域団体への事業連携を行い、積極的に地域連携に努めている。 ・職員の教育・育成については、充実した研修制度に参加され、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。 ・個人情報の取り扱いや危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。		A	利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも前年度と同程度の実績を維持している。 様々な企画や展示を提案に基づき適正に実施しており、図書活動の推進に取り組んでいる。 安全管理に関しては、不審者の事案が発生したが事後の情報周知も含めて適切に対応されている。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達されている
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解されているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 点検休館日1日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員8名(内有資格者5名・62.5%) 非常勤賃金:時給1,170円以上 (有資格者1,200円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】62,365人(103.4%) 【貸出冊数】171,286冊(99.2%) 【レファレンス数】314件(105.7%) 令和6年度は利用者数の増加に向けて、業務の見直しをすることで、利用者数とレファレンス数が前年度を上回り、利用環境やその他各種改善がされている。	A	利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも前年度と同程度の実績を維持している。 事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	
運営企画	学校連携による学級文庫の貸出等のほか、自主事業を開催する等、子どもの読書活動が推進されている。また、事業を通して、学校や地域連携に取り組み、図書館サービスの向上のための提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画することで利用者数の増加と貸出冊数の増加に繋がっている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:48,707,633円 支出:47,307,517円 (うち指定管理料:48,684,413円) 事業収支:1,400,116円 人件費比率実績:66.2% 職員の産休や異動による欠員期間があったため、 人件費が計画より少なかった。利用者が増加した ため、一人当たりの管理コストが減少した。 TRC5館合計では計画どおりの事業収支であり、 安定した指定管理運営ができています。	A	指定管理5館全体で 計画通りの事業収支 であり、安定した指定 管理運営が行われて いる。 適正にリスク分担して 対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険 を含む損害賠償保険に加入されている。	A			
第三者への委託状況	業務仕様書で定める業務を専門業者により適切に 実施されている。	A			
新たな取り組みの状況	地域の飲食店の協力を得て、お話し会を開催する ことができ、地域への図書館周知に貢献している。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が91.3%と 高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応にお ける利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	館内整理日を活用し た情報共有や職員研 修を定期的を実施し ており、利用者アン ケートからも職員の接 客対応等についての 評価は高い。 マニュアルに沿って業 務を実施している。 市と毎月、連絡調整 会議を行い、業務が 遂行されている。	A	
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正 に業務が実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、 専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A			
所管部署との連携・連 絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備に より中央図書館と連携がとれている。	A			
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートの内容を分析・検討し、図書館 サービス向上に寄与されている。	A			
広報・PR等の利用情報 の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、 地域への情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公 表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表 されている。	A			
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利 用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供 されている。	A			
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り 組まれている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	専門業者による施設清掃により、施設維持が適正にされている。	A	業務仕様書に従い、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設等の保守管理については、業務仕様書に従い、専門業者による定期管理を適切に実施し、不具合が発生した時は、個別に専門業者に依頼して、適切な処理が実施されている。	A			
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持が適切に実施されている。	A			
小規模修繕	業務仕様書に従い、日常点検や施設維持管理業務で発見した不具合箇所については、個別に専門業者に依頼して、適切な処理が実施されている。	A			
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A			
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A			
再委託の禁止	第三者への再委託は、行われていない。	A			
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	学習館の行事参加、読み聞かせボランティアとの意見交換などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組まれている。リサイクル図書の提供を通して地域に貢献されている。	A	様々な事業を通じて、地域住民や近隣施設との連携が進んでいる。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和6年度は、地域の特性と利用者のニーズをふまえ、環境整備やサービス提供に、より取り組んだ一年となった。子育て世代や高齢者を中心とした安定的な利用に加えて、子どもたちが館内で過ごす様子も多く見られるようになった。来館者数は前年比103.4%と増加し、展示や掲示の工夫を通じて「気軽に立ち寄れる」「安心して滞在できる」空間づくりを意識した取り組みが、利用の広がりにつながったと感じている。 一方で、貸出冊数は前年比99.2%とわずかに減少したが、レファレンス対応件数は前年比105.7%と大きく伸びた。図書館が単に本を借りる場所としてだけでなく、調べる・学ぶ・過ごす場として多様に使われている傾向がうかがえる。中でも、立川市民科事業の成果を展示する、近隣小学校との展示企画は、今年度で3回目を迎えた。児童の調べ学習の成果を図書館内で紹介することで、子どもたちの学びの成果を地域の方々と分かち合う機会となり、図書館が子どもたちの成長を地域全体で見守る場の一つとして役立てたのではないかと感じている。 また、今年度は市の道路課による若葉図書館東側の道路工事、施設課による電気設備工事への対応もあったが、館内掲示に加えて葉形式での周知を行うなど、利用者が自然に目を通しやすい方法を工夫した。 その結果、期間中は、目立った混乱やクレーム、トラブル等はなく、利用者の安心と安全に十分配慮した対応ができたと考えている。今後も引き続き、地域の方々にとって使いやすく、親しみやすい図書館であり続けられるよう努めていきたいと考えている。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
・児童や子育て世代、高齢者の利用頻度が高い地域特性を活かし、学校連携による学級文庫の貸出やたちかわ読書ウィークなどに合わせたりサイクル本の提供、地域と連携した図書館サービスのほか、若葉会館まつりへの参加や地域団体への事業連携を行い、積極的に地域連携に取り組まれている。 ・職員の教育・育成については、充実した研修制度に参加され、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。 ・個人情報の取り扱いや危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 ・複合施設でもあり、施設管理は、経年が進む建物の不具合を専門業者への委託や不具合箇所の速やかな報告、修繕が適正に実施されている。 以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。		A	利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも前年度と同程度の実績を維持している。 地域施設への図書館情報の発信や利用者ニーズの把握に努め、利用者の拡大に向けて取り組みが行われている。 地域のニーズに応えながら、事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達されている
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社ヴィアックス	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修等を通して、施設の設置目的を十分理解し、適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解されているか	研修を通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	業務仕様書等を遵守し、有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性を確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員10名(内有資格者8名:80.0%) 非常勤賃金:時給1,170円以上(有資格者1,170円以上) 業務仕様書のと通りの運営にあたり、窓口業務に支障のない体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも前年度と比較しての増加している。 時節のテーマ展示や学校連携による学級文庫の貸出等、年間を通して、図書館利用の促進・学習機会の提供などが行われている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】36,866人(104.4%) 【貸出冊数】98,523冊(104.1%) 【レファレンス数】158件(103.3%) 令和6年度は利用者数の増加に向け、業務を見直し、利用者数や貸出冊数、レファレンス数がともに前年度を上回り、各種改善がされている。	A		
運営企画	・定例おはなし会を土曜日に日程変更し、看板作成やチラシ配布の強化を行い、取り組み、前年度を大幅に上回る参加者数の増加につなげている。 ・柴崎町の歴史を学ぶ講座は参加者が多く、地区図書館として、地元によりあるイベント開催の継続に寄与されている。 ・子ども読書ウィークに行った福袋イベントや、折り紙作品を通じて参加してもらうアニマルパークは、利用者に「図書館に来館すること」への印象を与え、利用数の増加に寄与されている。 ・プチ図書館員体験は、会場や時間等、内容を工夫し、見学者から参加希望者が出るなど、次回につながる形となっている。 ・立川第一中学校生徒のPOP展示は、学校の事情で一時的開催が危ぶまれたが、学校との連携協力により、継続維持できるようを進められている。 ・「たちかわ電子図書館・ナクスス体験講座」は人気があり、定期開催することで初めての方への利用促進に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:26,636,030円 支出:26,636,030円 (うち指定管理料:26,573,000円) 事業収支:0円 人件費比率実績:82.5% ほぼ計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支は、概ね収支計画書のとおりであり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入されている。	A		
第三者への委託状況	仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施されている。	A		
新たな取り組みの状況	・多摩動物公園による講演の派遣先は、これまで学校関連のみが派遣先の対象であったが、6年度新たに図書館も派遣先の対象となったことから、「動物園と図書館」ならではの取組が実施されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で接客満足度の割合が93.9%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	充実した研修体制を構築しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正な業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとれている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持が適切に実施されている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理がされている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができている。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	プライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	・館外路上で倒れていた高齢者を発見する事案があったが、業務仕様書及び危機管理マニュアル等に沿って、迅速かつ適切に対応されている。研修等を通して急病人対応など職員間の情報共有や業務が行われている。	A	急病人対応は迅速かつ適切に対応されている。 利用カード再交付時の利用者データの書き込み誤りは、適切に事後対応がとられている。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・利用カード再交付時に利用者データの書き込み誤りをする事案が発生したが、交付前に気づき中央図書館と連携して即時対応したため、利用者に影響を与えるような事故にはならなかった。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域連携として、 ・第一小学校での図書館利活用、中学校と連携したPOP展示、柴崎学習館との連携(「すわっ祭実行委員会」への参加)、包括支援センター・愛恵会乳児院との連携展示などにより、円滑な事業実施に取り組まれている。 ・リサイクル図書の提供を通しての地域への貢献も継続して実施されている。	A	近隣施設や自治会を中心に図書館の利用促進に向けた連携体制が構築されている。		A
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
令和6年度は、利用実績の回復を意識して業務に取り組んだ。児童書架については、「本が埋もれている」とご指摘をいただいた絵本を中心に除架を進め、小見出しの追加や、児童フロアの詳細書架案内図の掲示等を行った。一般書架についても、文学賞受賞作へのラベル貼付を行いご意見を反映させたほか、CDの面見せとブックエンドの設置などを実施し、「見やすく・探しやすく」することで、利用しやすい図書館を心掛けた改善を行った。 また、新たな取り組みとして、利用者として作り上げる参加型展示「しばさきアニマルパーク」を実施した。来館するたびに賑やかに、そして一つの大きな作品に成長していく過程を、夏休み期間中に多くの来館者に楽しんでいただくことができた。 その他、おはなし会の参加者増加に向けた取り組みにも注力した。ボランティアとしてご協力いただいている立川地域文庫連絡会と協議の上、開催日を土曜日に変更し、おはなし会開催時に館内が賑やかになることを周知する看板を作成して、おはなし会の環境作りに努めた。POPの新調やチラシ配布の強化など、周知に努めたことも功を奏し、昨年度に比べ多くの方にご参加いただくことができた。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置が行われ、専門性の高い職員による安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。 ・アンケートの実施では、利用者からの意見を参考に、除架による書架の整理、文学賞受賞作のラベル添付、書架案内図の更新や職員間の意見を受け、窓口業務の向上を図り、利用環境・その他各種業務改善が図られた結果、利用者数・利用冊数ともに前年度実績より微増したことは、業務改善として評価できると思われる。 ・職員の教育・育成については、充実した研修制度に参加され、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。 ・個人情報の取り扱いや危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 ・新たな取り組みの状況にある多摩動物公園との連携企画については、市の了解のもとではあるが他の組織と調整し、新たな図書館の活動領域が見られたことは評価できる。また、6年度実施内容は「動物園と図書館」ならではのイベントとして企画運営に取り組まれている。		A	利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも前年度と比較しての増加している。 学校や近隣施設との連携した取り組みにより、地域に根差した図書館運営が行われている。 安全管理に関する事案が発生しているが、いずれも迅速かつ適切に対応されている。 充実した研修体制の結果、職員の接客対応等についての一定の評価を得ている。 事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。		A
以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。					

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達されている
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社ヴィアックス	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修等を通して、施設の設置目的を十分理解し、適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解されているか	研修を通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	業務仕様書等を遵守し、有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性を確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員15名(内有資格者10名:66.7%) 非常勤賃金:時給1,170円以上(有資格者1,170円以上) 業務仕様書のと通りの運営にあたり、窓口業務に支障のない体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数・貸出冊数・レファレンス数は、いずれも前年度と比較しての僅かに減少している。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】59,426人(99.4%) 【貸出冊数】172,209冊(96.3%) 【レファレンス数】283件(94.0%) 令和5年度は近隣図書館の工事の影響で一時的に利用が増加したが、令和6年度は前年度と比較して微減となった。 令和6年度は利用者数の増加に向け、新規イベントへの実施や各種改善に取り組まれている。	A		
運営企画	・おはなし会については、乳幼児向けの参加人数が増加した一方、定例おはなし会の参加人数は減少した。開催曜日よりPRの変更を行い、参加人数の増加に向けて取り組まれている。 ・読み聞かせボランティアの2団体の協力を得て、乳幼児向けおはなし会と工作会、クリスマスお楽しみ会を実施されている。ボランティア団体からも高い評価をうけ、今後も継続を検討している。 ・「砂川の歴史を探ろう」開催に合わせて、『砂川めぐり』(小坂克信著・上砂図書館発行)がたちかわ電子図書館で公開されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:48,202,670円 支出:48,202,670円 (うち指定管理料:48,078,530円) 事業収支:0円 人件費比率実績:60.2% ほぼ計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支は、概ね収支計画書のとおりであり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入されている。	A		
第三者への委託状況	仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施されているが、経年劣化に伴う建物の不具合が多く、日常管理で対応できない部分が発生されている。	A		
新たな取り組みの状況	事業計画にある「関係機関・地域との連携事業」に向けて具体的に取り組まれている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で接客満足度の割合が90.6%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	充実した研修体制を構築しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正な業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修を実施し、職員の専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館及び各地区館の連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	専門業者による施設清掃により、施設維持が適正にされている。	A	業務仕様書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設等の保守管理については、業務仕様書に基づき、専門業者による定期管理が適切に実施され、不具合が発生した時は、個別に専門業者が対応し、適切な処理が実施されている。	A		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持が適切に実施されている。	A		
小規模修繕	業務仕様書に従い、日常点検や施設維持管理業務で発見した不具合箇所について、日常管理とは別に専門業者により適切に処理がされている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを整備し、定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	近隣の小中学校と連携した作品展示や地域包括支援センター等、地域の関連施設との連携による企画行事を開催し、円滑な事業実施に取り組まれている。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制が構築されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
・おはなし会の実施やPR、さまざまな年齢層に向けてのイベントに取り組んだ。乳幼児向けのおはなし会の参加者数が増加されている。イベントは、ジャズコンサート、クリスマスおはなし会をはじめ、多くの参加があった。「たちむにいフェスタ・環境フェスタ」への参加、上砂図書館紹介動画作成など、利用者増に向けての新しい取り組みも実施した。 ・読書環境については、利用者アンケートを参考にしつつ改善をはかり、本が取り出しやすいような書架高さの調整、読み継がれる図書の買い替えを行った。 ・貸出数は昨年度と比較して微減という結果になった。10代～30代で利用者が減少しており、小学生やその保護者世代へのPRが必要である。 ・レファレンスや地域理解の研修を、各自問題を解く形式で実施することにより、職員の理解を深めることができた。 ・駐車場の不法駐車対策の看板設置、エレベーターの長期故障、施設共用部の修繕など施設の課題に、中央図書館や近隣施設と連携を取りつつ取り組んだ。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置が行われ、専門性の高い職員による安定した図書館運営とサービスの提供に努めている。 ・職員の教育・育成については、充実した研修制度に参加され、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。 ・個人情報の取り扱いや危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 ・「たちむにい」のほか、近隣の小中学校と連携した作品展示や地域包括支援センター等、地域の関連施設との連携による企画行事を開催し、円滑な事業実施に取り組まれている。 ・施設管理においては、複合施設であり、経年が進む建物の不具合について、専門業者への委託や不具合箇所の速やかな報告、修繕が適正に実施されている。 以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。		A	利用者数・貸出冊数・レファレンス数は、いずれも前年度と比較しての僅かに減少している。 多様な連携事業により、図書館サービスの向上の取り組みが行われている。 充実した研修体制の結果、職員の接客対応等についての一定の評価を得ている。 事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和6年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市多摩川図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社ヴィアックス	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営を適切に行われている。	A	研修等を通して、施設の設置目的を十分理解し、適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修を通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスを提供されている。	A		
事業の継続性の担保	業務仕様書等を遵守し、有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性を確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員10名(内有資格者7名:70.0%) 非常勤賃金:時給1,170円以上(有資格者1,170円以上) 業務仕様書のと通りの運営にあたり、窓口業務に支障のない体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数・貸出冊数・レファレンス数は、いずれも前年度と比較して減少している。 ニーズに合わせた展示やさまざまな講座等を行い、図書館利用を促進されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】23,261人(94.9%) 【貸出冊数】60,679冊(90.7%) 【レファレンス数】112件(90.3%) 利用者数・貸出数・レファレンス数は前年度を下回り、世代別の相対的な利用減が見られ、創意工夫によりシルバー世代向けイベント開催、PR配布地域の拡大等、利用者減少の抑止に向け取り組まれている。	A		
運営企画	・多摩川図書館の和室やテラスといった特色ある空間を有効活用するため、イベント開催や和室の常時開放などが行われている。 ・多摩川に関連した「講座・講演会」は、地域のシルバー層だけでなく、市内各地からの参加があり、図書館活動のPRが実施されている。 ・おはなしサークルによる「おはなし会とえほんの古本市」と「出張ほーかつ【介護相談会】」を実施し、地域施設・団体との地域との連携がとれている。 ・「作品をつくって図書館に展示しよう!」では、図書館ロビーをコミュニケーションエリアとして活用されている。 ・「はじめてのChatGPT」講座を専門講師に依頼し実施されている。 ・「講座・講演会」では、本づくり講座や大人向けの語りのイベントなどを実施し、地域のシルバー層の利用だけでなく、各地からの参加があった。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:33,346,810円 支出:33,346,810円 (うち指定管理料:32,990,000円) 事業収支:0円 人件費比率 実績:69.48% 周辺地域の急激な世代別の地域人口の減少による相対的な利用数減少の影響により、利用者あたりの管理コストや市負担コストが増加しているが、ほぼ計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支は、概ね収支計画書のとおりであり、安定した管理運営が行われている。		A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A	適正にリスク分担して対応されている。		
第三者への委託状況	業務仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施されている。	A	令和6年度の新たな取り組みは、新規利用者の開拓につながる取り組みであり、評価できる。		
新たな取り組みの状況	年間事業計画にある「関係機関・地域との連携事業」に向けて地域の特徴を取り込み、具体的に取り組まれている。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者アンケートの結果で接客満足度の割合が88%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	充実した研修体制を構築しており、利用者アンケートからも職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。		A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上の向上に取り組まれている。	A			
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館及び他館と連携がとれている。	A			
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のために利用者アンケートが実施・分析されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信ができています。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A			
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A			
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	専門業者による施設清掃により、施設維持が適正にされている。	A	業務仕様書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。	A		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持が適切に実施されている。	A		
小規模修繕	業務仕様書により施設の不具合部分については、専門業者に修繕を委託して適切に実施されている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解し、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	マニュアルを作成し、個人情報が適正に管理されている。	A		
再委託の禁止	第三者への再委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	プライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事故・苦情等は、特になかった。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応に取り組まれている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	・近隣の地域包括支援センター等、地域の関連施設との連携による企画行事を開催し、円滑な事業実施に取り組まれている。 ・シルバー世代が多い地域特性を生かし、市民サービスの向上に取り組まれている。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制が構築されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
・地区特有の要因として、地区人口の長期スパンでの減少(特に児童数)や、立地上の課題はあるものの、令和6年度もテラスを活用した児童向けイベントや、和室でのシルバー世代及び一般のご利用者向けのイベントで楽しんで頂けるよう取り組みを行った。 ・地域包括支援センターによる「介護についての相談会」や、「おはなし会とえほんの古本市」には非常に多くの参加者があった。このようなイベントを今後も開催し、多摩川図書館の利用促進につなげていきたい。 ・ロビーに特設書架『多摩川コーナー』を開設した。保存書庫の資料もいかしつつ、市民に利用頂ける書架となるよう充実させ、多摩川に近い地域性を生かして多様な角度から地域の魅力を発信していく。 今後も多摩川図書館の落ち着いた雰囲気を生かしつつ、快適に過ごして頂ける図書館となるよう努めていきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
・大型集合住宅(富士見町団地)を含んだ周辺地域の急激な世代別の地域人口の減少(対象地域の小学生の大幅な減少)による相対的な利用減が見られるが、創意工夫し、主な利用者層であるシルバー世代向けイベントの実施やPR配布地域の拡大等、利用減少傾向の抑止に向け取り組まれている。 ・多摩川という地理的条件を活用したイベントの開催や特設書架の設置を行うなど、利用促進に向けた企画運営が行われている。 ・スタッフの教育・育成については、様々な研修へ参加し、そこで得た知識等を業務に還元し、図書館員としての専門能力と資質の向上に取り組まれている。 ・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。	A	利用者数・貸出冊数・レファレンス数は、いずれも前年度と比較して減少している。 充実した研修体制の結果、職員の接客応対等についての評価は高い。 事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。		A

令和7年度(令和6年度実施分)指定管理者管理運営状況評価表

令和7(2025)年9月発行

発行 立川市公の施設指定管理者評価委員会

編集 立川市市長公室改革推進課

〒190-8666 立川市泉町1156-9

電話 042-523-2111(代表)